

令和6年度

事業報告書  
収支決算書

(自 令和6年4月1日)  
(至 令和7年3月31日)

小田原箱根商工会議所



## 小田原箱根商工会議所の基本理念

- 小田原・箱根地域を世界に誇れる地域にします。
- 小田原箱根商工会議所は、この地域の活力を高めるために諸活動を通じて貢献する名誉を担います。
- 小田原箱根商工会議所は、すべての活動を通して、街づくり、人づくりに果敢に挑戦します。
- 会員と職員は、最善を尽くし、地域貢献することを喜び、誇りとします。



# 目 次

I	総括的概要	1
II	事項別状況	2
1.	定款及び規約等	2
(1)	小田原箱根商工会議所 給与規則	2
(2)	小田原箱根商工会議所 育児・介護休業規程	3
(3)	小田原箱根商工会議所 定款	7
2.	組 織	10
(1)	会 員	10
(2)	特 定 商 工 業 者	13
(3)	役 員	13
(4)	議 員	15
(5)	箱 根 支 部	18
(6)	部 会 長 等	18
(7)	委 員 長 等	19
3.	事 務 局	21
(1)	事務局の構成	21
(2)	事務局職員	22
4.	庶 務	23
(1)	文 書	23
(2)	表 彰	23
(3)	受 彰	26
(4)	慶 弔 その他	27
5.	会 議	28
(1)	議 員 総 会	28
(2)	正 副 会 頭 会 議	34
(3)	常 議 員 会	41
(4)	監 事 会	45
(5)	箱 根 支 部 会 議	45
(6)	部 会 会 議	46
(7)	そ の 他 の 会 議	51
(8)	委 員 会	53
(9)	創業・事業承継に関する会議・事業	54
(10)	リカレントスクール	55
(11)	タスクフォース	55
(12)	省エネお助け隊に関する会議・事業	58

(13) 副業人材（人財）活用事業	59
(14) 教育旅行に関する会議・事業	61
6. 事業	61
(1) 各種事業活動	61
(2) 意見活動	73
(3) 調査・研究	88
(4) 広報	88
(5) 証明・鑑定・検査	89
(6) 信用調査	89
(7) 各種行事	90
(8) 技術・技能の普及検定	93
(9) 取引紹介（照会を含む）あっせん	94
(10) 取引紛争のあっせん	94
(11) 相談・指導・あっせん等	94
(12) 会員の増強対策	94
(13) 経営改善普及事業（経営支援部）	94
7. 登録	102
(1) 法定台帳	102
(2) 任意台帳	102
8. 会館・事務所等	103
(1) 会館	103
(2) 旧会館	103
9. 関係団体への加入及び連携	103
(1) 日本商工会議所	103
(2) 関東商工会議所連合会	104
(3) 神奈川県商工会議所連合会	104
10. 研修	105
(1) 経営指導員・補助員研修	105
(2) 職員研修等	106
11. 関係団体	107
令和6年度収支決算書	109

令和 6 年度

事業報告書



## I 総括的概要

世界各地に広がる紛争と不安定な国際情勢、円安によるエネルギーコストや原材料価格の高騰、人手不足などが、地域の中小企業の安定的な事業運営の支障に、またPOSTコロナの時代における事業の再構築と新規事業への挑戦という積極的な事業展開の足かせとなる厳しい経営環境が続いている。

加えて、1月以降のアメリカの新政権の民主主義と自由主義経済を否定するかのような理解不能な政策が世界を混乱に陥れている。我が国の経済と個々の企業の経営は今後どのような影響を受けるのか、予測は難しい。

経済活動の大前提は平和な暮らしであるという当たり前の事実と、そして、好む好まざるに関係なく、全ての企業は規模の大小や業種業態を超えて取り込まれているグローバルな世界のサプライチェーンが、今、大きく変化するかも知れないという可能性を認識し、地域の中小企業がしかるべき対策を打てるよう当所の支援体制の拡充を図っていく。

一方、地球規模で経済活動に大きな影響を及ぼす気候変動は進行し続け、一部の国々による緩和と適応に逆行するような政策に拘わらず、その脅威が去ったわけではない。環境と経済が一体化する時代において、脱炭素への取り組みは、当所の会員の多くを占める地域の中小企業、小規模事業者にとっても避けて通ることができない大きな課題であり、同時にビジネスチャンスでもある。

地域経済循環を旗印に、様々な具体的取り組みを引き続き展開している。「小田原箱根起業スクール」による創業支援、事業承継支援として新たなオープンネームによる仕組みを加えたマッチングプラットフォーム「襷をつなぐ」の展開拡充、会員企業への副業人財の導入支援、会員企業の脱炭素の取り組みを啓発、支援すべく「第3回小田原箱根気候変動アワード」の開催と省エネ診断の実施。スポーツを通じたまちづくりの一環としての人材育成事業と地域課題解決への取り組み、海を活かすまちづくり「相模湾からの経済活性化会議」への参画、加速化するデジタル化社会への対応の促進、当所の運営面では、職員による会員企業への個別支援がより成果を上げられるよう、業務改革、新人事制度の運用定着、広報活動の拡充を進めてきた。

今後とも地域の中小企業は経済活動を通じて地域の暮らしを下支えしているという自負を持ちつつ、地域での経済循環を基本姿勢として、地域経済の課題と個々の企業の課題の解決に全力で取り組んでいく。

経済という仕組み、道具を使って持続可能で豊かな地域を作っていくのが、地域の総合経済団体としての使命と認識し、関係する全てのステークホルダーの皆さんの知恵を集め、力を合せ、お互いを活かしあう、そんな「つながり」を大切にする小田原箱根商工会議所を目指し、今後も「議論して 行動して 結果を問う」姿勢で活動を展開していく所存である。

小田原箱根商工会議所  
会頭 鈴木 悌介

## II 事項別状況

### 1. 定款及び規約等

令和6年度において下記のとおり諸規定等の変更を行った。

#### (1) 小田原箱根商工会議所 給与規則

(令和6年4月25日 常議員会決議)

1. 変更の理由 人事制度刷新により管理職を新設したため。

2. 変更箇所 アンダーラインは変更部分

現 行		
(諸手当)		
第6条 諸手当は、扶養手当、調整手当、管理職手当、職務手当、通勤手当及び時間外勤務手当とし、別表第1に定める区分により支給する。ただし職務手当〔会計主任、勤務地手当（箱根）は除く〕は、管理職手当内に含むものとする。 以下略		
別表第1		
管理職手当	1 事務局長	60,000円
	2 部長	50,000円
	3 次長	40,000～ 44,000円
	4 課長	30,000～ 36,000円

改 訂 後		
(諸手当)		
第6条 諸手当は、扶養手当、調整手当、管理職手当、職務手当、通勤手当及び時間外勤務手当とし、別表第1に定める区分により支給する。ただし職務手当〔会計主任、勤務地手当（箱根）は除く〕は、管理職手当内に含むものとする。 以下略		
別表第1		
管理職手当	1 事務局長	60,000円
	2 部長	50,000円
	3 次長	40,000～ 44,000円
	4 課長	30,000～ <u>40,000円</u>
	5 <u>担当課長</u>	<u>20,000～</u> <u>30,000円</u>

附 則  
(実施の時期)  
第6条（諸手当）別表第1の改正規定は令和6年4月25日から実施する。

(2) 小田原箱根商工会議所 育児・介護休業規程

(令和7年3月25日 常議員会決議)

1. 変更の理由 子の年齢に応じた柔軟な働き方を実現するための措置の拡充、介護離職防止のための仕事と介護の両立支援制度の強化等、育児介護休業法の改正が行われるため。
2. 変更箇所 アンダーラインは変更部分

現 行	改 正
<p>(目的)</p> <p>第1条 この規則は、小田原箱根商工会議所（以下「商工会議所」という。）の育児・介護休業、子の看護休暇、介護休暇、育児・介護のための所定外労働の制限、育児・介護のための時間外労働および深夜業の制限ならびに育児・介護短時間勤務等に関する取扱いについて定めるものとする。</p>	<p>(目的)</p> <p>第1条 この規則は、小田原箱根商工会議所（以下「商工会議所」という。）の育児・介護休業、子の看護等休暇、介護休暇、育児・介護のための所定外労働の制限、育児・介護のための時間外労働および深夜業の制限ならびに育児・介護短時間勤務等に関する取扱いについて定めるものとする。</p>
<p>新設</p>	<p><u>(柔軟な働き方を実現するための措置)</u></p> <p><u>第12条-2 3歳から小学校就学の始期に達するまでの子を養育する職員（対象職員）は、柔軟な働き方を実現するために申し出ることにより、次のいずれか1つの措置を選択して受けることができる。</u></p> <p><u>(1) フレックスタイム制度</u></p> <p><u>(2) 短時間勤務制度</u></p> <p><u>2 同条第1項にかかわらず、日雇従業員からの申出は拒むことができる。</u></p> <p><u>3 同条第1項第1号に定めるフレックスタイム制度は、就業規則第12条第2項に定めるとおりとする。</u></p> <p><u>4 同条第1項第2号に定める短時間勤務制度の措置内容及び申出については、次のとおりとする。</u></p> <p><u>(1) 1日の所定労働時間を1時間短縮する。</u></p> <p><u>(2) 同項第1号の定めにかかわらず、商工会議所は、1日の所定労働時間が6時間以下である職員からの育児短時間勤務の申出を拒むことができるものとする。</u></p> <p><u>(3) 同項第1号の申出をしようとする者は、所定労働時間の短縮を開始しようとする日および短縮を終了しようとする日を明らかにして、原則として、短縮開始予定日の1ヵ月前までに、所定の手続により、商工会議所に申し出なければならない。</u></p> <p><u>(4) 職員が同項第1号の制度の適用を受ける間の給与については、別途定める給与規則に基づき、短縮した労働時間に相当</u></p>

現 行	改 正
	<p><u>する額を控除した額を支給する。</u></p> <p><u>(5) 賞与については、その算定対象期間に同項第1号の適用を受ける期間がある場合においては、短縮した労働時間に対応する賞与は支給しない。</u></p> <p><u>(6) 定期昇給および退職金の算定に当たっては、同項第1号の制度の適用を受ける期間は通常の勤務をしているものとみなす。</u></p>
<p>第2章 介護休業 (介護休業の対象者)</p> <p>第13条 要介護状態にある家族を介護する職員(日雇職員を除く)は、この規則に定めるところにより介護を必要とする家族1人につき、のべ93日間までの範囲内で3回を限度として介護休業をすることができる。ただし、有期契約職員にあっては、申出時点において、介護休業を開始しようとする日(以下、「介護休業開始予定日」という)から93日を経過する日から6か月を経過する日までに、その労働契約期間が満了し、更新されないことが明らかでない者に限り、介護休業をすることができる。</p> <p>2 第1項にかかわらず、労使協定により除外された次の職員からの休業の申出は拒むことができる。</p> <p>(1) 入社1年未満の職員</p> <p>(2) 申出の日から93日以内に雇用関係が終了することが明らかな職員</p> <p>(3) 1週間の所定労働日数が2日以下の職員</p> <p>3 略</p>	<p>第2章 介護休業 (介護休業の対象者)</p> <p>第13条 略</p> <p>2 第1項にかかわらず、労使協定により除外された<u>1週間の所定労働日数2日以下の職員</u>からの休業の申出は拒むことができる。</p> <p>3 略</p>
<p>第3章 子の看護休暇 (子の看護休暇)</p> <p>第18条 小学校就学の始期に達するまでの子を養育する職員(日雇職員を除く)は、負傷し、若しくは疾病にかかった当該子の世話をするために、または当該子に予防接種や健康診断を受けさせるために、年次有給休暇とは別に、当該子が1人の場合は1年間につき5日、2人以上の場合は1年間につき10日を限度として、子の看護休暇を取得することができる。この場合の1年間とは、4月1日から翌年3月31日までの期間とする。</p>	<p>第3章 子の看護<u>等</u>休暇 (子の看護<u>等</u>休暇)</p> <p>第18条 小学校第<u>3</u>学年終了までの子を養育する職員(日雇職員を除く)は、次に定める<u>当該子の世話等のために、年次有給休暇とは別に、当該子が1人の場合は1年間につき5日、2人以上の場合は1年間につき10日を限度として、子の看護等休暇を取得することができる。この場合の1年間とは、4月1日から翌年3月31日までの期間とする。</u></p> <p><u>(1) 負傷し、又は疾病にかかった子の世話</u></p> <p><u>(2) 当該子に予防接種や健康診断を受けさせること</u></p>

現 行	改 正
	<p>(3) <u>感染症に伴う学級閉鎖等になった子の世話</u></p> <p>(4) <u>当該子の入園（入学）式、卒園式への参加</u></p>
<p>2 前項にかかわらず、労使協定によって除外された次の職員からの子の看護休暇の申出は拒むことができる。</p> <p>(1) 入社6か月未満の職員</p> <p>(2) 1週間の所定労働日数が2日以下の職員</p> <p>3 略</p> <p>4 略</p> <p>5 略</p> <p>6 略</p>	<p>2 前項にかかわらず、労使協定によって除外された<u>1週間の所定労働日数2日以下の職員</u>からの子の看護等休暇の申出は拒むことができる。</p> <p>3 略</p> <p>4 略</p> <p>5 略</p> <p>6 略</p>
<p>第5章 所定外労働の制限 (育児・介護のための所定外労働の制限)</p> <p>第20条 3歳に満たない子を養育する職員（日雇職員を除く）が当該子を養育するためまたは、要介護状態にある家族を介護する職員が当該家族を介護するために申出た場合には、事業の正常な運営に支障がある場合を除き、所定労働時間を超えて労働をさせることはない。</p> <p>2 略</p> <p>3 略</p> <p>4 略</p> <p>5 略</p> <p>6 略</p> <p>7 次の各号に掲げるいずれかの事由が生じた場合には、制限期間は終了するものとし、当該制限期間の終了日は当該各号に掲げる日とする。</p> <p>(1) 子または家族の死亡等制限に係る子を養育または家族を介護しないこととなった場合 当該事由が発生した日</p> <p>(2) 制限に係る子が3歳に達した場合 当該3歳に達した日</p> <p>(3) 申出者について、産前産後休業、育児休業、出生時育児休業または介護休業が始まった場合 産前産後休業、育児休業、出生時育児休業または介護休業の開始日の前日</p> <p>8 略</p>	<p>第5章 所定外労働の制限 (育児・介護のための所定外労働の制限)</p> <p>第20条 <u>小学校就学の始期に達するまでの</u>子を養育する職員（日雇職員を除く）が当該子を養育するためまたは、要介護状態にある家族を介護する職員が当該家族を介護するために申出た場合には、事業の正常な運営に支障がある場合を除き、所定労働時間を超えて労働をさせることはない。</p> <p>2 略</p> <p>3 略</p> <p>4 略</p> <p>5 略</p> <p>6 略</p> <p>7 次の各号に掲げるいずれかの事由が生じた場合には、制限期間は終了するものとし、当該制限期間の終了日は当該各号に掲げる日とする。</p> <p>(1) 子または家族の死亡等制限に係る子を養育または家族を介護しないこととなった場合 当該事由が発生した日</p> <p>(2) 制限に係る子が<u>小学校就学の始期に達した場合</u> <u>子が6歳に達する日の属する年度の3月31日</u></p> <p>(3) 申出者について、産前産後休業、育児休業、出生時育児休業または介護休業が始まった場合 産前産後休業、育児休業、出生時育児休業または介護休業の開始日の前日</p> <p>8 略</p>

現 行	改 正
<p>第9章 育児・介護休業中の取扱い等 (円滑な取得および職場復帰支援)</p> <p>第25条 商工会議所は、職員から本人または配偶者が妊娠・出産等したことまたは本人が対象家族を介護していることの申出があった場合は、当該職員に対して、円滑な休業取得及び職場復帰を支援するために、以下(1)の措置を実施する。また、育児休業の申出が円滑に行われるようにするため、(2)の措置を実施する。</p> <p>(1) 当該職員に個別に育児休業に関する制度等(育児休業、パパ・ママ育休プラス、その他の両立支援制度、育児休業等の申出先、育児・介護休業給付に関すること、休業期間中の社会保険料の取扱いなど)の周知及び制度利用の意向確認を実施する。</p> <p>(2) 育児休業に関する相談体制を整備する。</p>	<p>第9章 育児・介護休業中の取扱い等 (円滑な取得および職場復帰支援)</p> <p>第25条 商工会議所は、職員から本人または配偶者が妊娠・出産等したことまたは本人が対象家族を介護していることの申出があった場合は、当該職員に対して、円滑な休業取得及び職場復帰を支援するために、以下(1)、<u>(2)及び(3)の措置を実施する。また、育児休業及び介護休暇の申出が円滑に行われるようにするため、(4)の措置を実施する。</u></p> <p>(1) 当該職員に個別に育児休業に関する制度等(育児休業、パパ・ママ育休プラス、その他の両立支援制度、育児休業等の申出先、育児・介護休業給付に関すること、休業期間中の社会保険料の取扱いなど)の周知及び制度利用の意向確認を実施する。</p> <p><u>(2) 介護に直面した旨を申し出た職員に対し、会議所は介護休業制度及び介護両立支援制度等に関する説明と、休業の取得以降の確認を行うものとする。</u></p> <p><u>(3) 40歳に達した職員に対し、会議所は、介護休業制度及び介護両立制度等に関する説明を行うものとする。</u></p> <p><u>(4) 育児休業(出生時育児休業含む)及び介護休暇に関する相談体制を整備する。</u></p>
	<p>附則</p> <p><u>(実施の時期)</u></p> <p><u>1 第1条(目的)、第13条(介護休業の対象者)、第18条(子の看護等休暇)、第20条(育児・介護のための所定外労働の制限)、第25条(円滑な取得および職場復帰支援)の改正は令和7年4月1日から実施する。</u></p> <p><u>2 第12条-2(柔軟な働き方を実現するための措置)の改正は令和7年10月1日から実施する。</u></p>

(3) 小田原箱根商工会議所 定款

(令和7年3月25日 通常議員総会決議)

1. 変更の理由 令和7年6月1日に、刑罰の「懲役」と「禁錮」を一本化し、「拘禁刑」を創設する改正刑法が施行されることに伴い、「刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整理等に関する法律（令和4年6月17日法律第68号）」第310条により、商工会議所法においても同旨の改正が行われるため。  
司法書士法・行政書士法・弁理士法の改正、中間法人法の廃止に基づいた会員の追記・変更を行うため。

2. 変更箇所 アンダーラインは変更部分

現 行	改 正
第2章 会員	第2章 会員
(会員の資格)	(会員の資格)
第10条 本商工会議所の地区内に引き続き6月以上営業所、事務所、工場又は事業場（以下「営業所等」という。）を有する商工業者は、本商工会議所の会員となることができる。ただし、次に掲げるものであって、常議員会の承認を得た場合は、本商工会議所の会員となることができる。	第10条 本商工会議所の地区内に引き続き6月以上営業所、事務所、工場又は事業場（以下「営業所等」という。）を有する商工業者は、本商工会議所の会員となることができる。ただし、次に掲げるものであって、常議員会の承認を得た場合は、本商工会議所の会員となることができる。
(1) 本商工会議所の地区内で事業活動を行う次に掲げる団体	(1) 本商工会議所の地区内で事業活動を行う次に掲げる団体
ア 協同組合	ア 協同組合
イ 信用金庫	イ 信用金庫
ウ 労働金庫	ウ 労働金庫
エ 公社	エ 公社
オ 経済関係団体	オ 経済関係団体
カ 医療法人	カ 医療法人
キ 社会福祉法人	キ 社会福祉法人
ク 弁護士法人	ク 弁護士法人
ケ 監査法人	ケ 監査法人
コ 税理士法人	<u>コ 司法書士法人</u>
サ 特許業務法人	<u>サ 税理士法人</u>
シ 産学連携、商工会議所事業等に関わる学校法人	<u>シ 行政書士法人</u>
ス 地域経済の発展、教育・文化・学術の振興、医療・福祉の増進等に資する財団法人	<u>ス 弁理士法人</u>
セ 地域経済の発展、教育・文化・学術の振興、医療・福祉の増進等に資する財団法人	<u>セ 産学連携、商工会議所事業等に関わる学校法人</u>
ソ 地域経済の振興等に資する中間法人	<u>ソ 地域経済の発展、教育・文化・学術の振興、医療・福祉の増進等に資する一般社団法人および公益社団法人</u>
タ まちづくり、教育・文化、医療・福祉等の活動を行う特定非営利活動法人	<u>タ 地域経済の発展、教育・文化・学術の振興、医療・福祉の増進等に資する一般財団法人および公益財団法人</u>
チ 観光資源等として地域経済の発展に貢献する宗教法人	<u>チ 地域経済の振興等に資する中間法人</u>
	<u>チ まちづくり、教育・文化、医療・福祉等の活動を行う特定非営利活動法人</u>

現 行	改 正
<p>(2) 本商工会議所の地区内で自己の名をもって事業活動を行う次に掲げる個人</p> <p>ア 医師 イ 歯科医師 ウ 助産師 エ 弁護士 オ 公認会計士 カ 司法書士 キ 税理士 ク 行政書士 ケ 弁理士</p> <p>(3) 略</p> <p>2 略</p> <p>3 次の各号の一に該当する者は、会員となることができない。</p> <p>(1) 略 (2) 略 (3) 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまでの者又はその執行を受けることがなくなるまでの者。</p> <p>(4) 略</p>	<p><u>ツ</u> 観光資源等として地域経済の発展に貢献する宗教法人</p> <p>(2) 本商工会議所の地区内で自己の名をもって事業活動を行う次に掲げる個人</p> <p>ア 医師 イ 歯科医師 ウ 助産師 エ 弁護士 オ 公認会計士 カ 司法書士 キ 税理士 ク 行政書士 ケ 弁理士</p> <p>(3) 略</p> <p>2 略</p> <p>3 次の各号の<u>いずれか</u>に該当する者は、会員となることができない。</p> <p>(1) 略 (2) 略 (3) <u>拘禁刑</u>以上の刑に処せられ、その執行を終わるまでの者又はその執行を受けることがなくなるまでの者。</p> <p>(4) 略</p>
<p style="text-align: center;">第4章 役員</p> <p>(役員の任免)</p> <p>第33条 会頭は、議員総会において、会員（会員が法人その他の団体である場合は、会員の権利を行使する1人の者。以下本条において同じ）のうちから選任し、又は解任する。</p> <p>2 略 3 略 4 略 5 略 6 略 7 略 8 略</p> <p>9 次の各号の一に該当する者は、役員になることができない。</p> <p>(1) 略 (2) 略 (3) 禁錮以上の刑に処せられ、その刑の執行を終わった日又は執行を受けることがなくなった日から5年を経過するまでの者。</p> <p>(4) 略</p> <p>10 略</p>	<p style="text-align: center;">第4章 役員</p> <p>(役員の任免)</p> <p>第33条 会頭は、議員総会において、会員（会員が法人その他の団体である場合は、会員の権利を行使する1人の者。以下<u>この条</u>において同じ）のうちから選任し、又は解任する。</p> <p>2 略 3 略 4 略 5 略 6 略 7 略 8 略</p> <p>9 次の各号の<u>いずれか</u>に該当する者は、役員になることができない。</p> <p>(1) 略 (2) 略 (3) <u>拘禁刑</u>以上の刑に処せられ、その刑の執行を終わった日又は執行を受けることがなくなった日から5年を経過するまでの者。</p> <p>(4) 略</p> <p>10 略</p>

現 行	改 正
	<u>附則</u> <u>(実施の時期)</u> 1 第10条（会員の資格）、第33条（役員 の任免）の改正は令和7年6月1日から実施する。

## 2. 組織

### (1) 会 員

ア 会員数（令和7年3月31日現在）

（ア）会員数

区 分	前年度末現在 会 員 数	新規加入者数	脱 退 者 数	年 度 末 現 在 会 員 数
個 人	620	58	36	642
法 人	2,357	81	68	2,370
団 体	54	1	4	51
計	3,031	140	108	3,063

### 年 度 別 会 員 入 退 会 者 明 細

年 度 (4/1~3/31)	前年度末現在 会 員 数	新規加入者数	脱 退 者 数	年 度 末 現 在 会 員 数
平成 17	3,344	226	142	3,428
18	3,428	122	150	3,400
19	3,400	143	172	3,371
20	3,371	135	170	3,336
21	3,336	108	163	3,281
22	3,281	138	122	3,297
23	3,297	143	152	3,288
24	3,288	157	139	3,306
25	3,306	122	185	3,243
26	3,243	116	221	3,138
27	3,138	108	141	3,105
28	3,105	135	132	3,108
29	3,108	132	141	3,099
30	3,099	190	127	3,162
令和 元	3,162	125	170	3,117
2	3,117	116	115	3,118
3	3,118	171	97	3,192
4	3,192	129	331	2,990
5	2,990	158	117	3,031
6	3,031	140	108	3,063

## (イ) 業種別会員数

業 種 別	会員数	業 種 別	会員数	業 種 別	会員数
<b>商 業</b>		<b>観光飲食</b>		信用組合	1
小 売	401	ホテル・旅館	113	質 屋	2
卸	181	土 産 品 店	36	貸 金 業	1
新聞販売	0	飲 食 店	280	証 券 業	6
木材建材	14	寿 司	12	生 命 保 険	8
カメラ店	4	喫 茶	22	損 害 保 険	5
理 容	8	弁 当 製 造	5	保 険 代 理 業	29
美 容	51	団 体	17	事 業 組 合	7
遊 技 場	9	そ の 他	77	税 務 事 務 所	42
浴 場	0	計	562	法 律 事 務 所	20
貸 ビ ル	21	<b>建設・不動産</b>		医 師	41
クリーニング	13	土 木 ・ 建 築	221	団 体 ・ そ の 他	24
警 備 会 社	3	電 気 工 事	69	そ の 他	238
そ の 他	102	水 道 管 工 事	62	計	472
計	807	室 内 装 飾	16	<b>交通運輸</b>	
<b>工業ものづくり</b>		左 官	4	旅 客 輸 送	18
機械製・加工	49	鉄 工 建 設	8	貨 物 運 輸 倉 庫	58
写真関連	1	冷 暖 房 工 事	17	自 動 車 整 備	33
自動車部品製造	18	瓦 ・ タ イ ル	2	事 業 団 体	2
食 品	46	造 園 業	22	ガソリンスタンド	2
印刷・製本	16	塗 装 業	35	自 動 車 販 売	34
電気・電子	14	不 動 産 業	91	そ の 他	18
製紙・紙器	12	測 量 ・ 設 計	28	計	165
鉄工・鋼材	13	建 具	33	<b>合 計</b>	<b>3,063</b>
化学・光学	8	石 材	16		
薬品・化粧品	10	ビ ル ・ 清 掃	23		
精密機械	21	団 体 ・ そ の 他	66		
繊維・寝具	0	計	713		
公共事業	8	<b>金融庶業</b>			
木製品・加工	43	普 通 銀 行	18		
そ の 他	85	信 託 銀 行	1		
計	344	信 用 金 庫	29		

## (ウ) 地域別・部会別会員

地区	部会	商 業	工 業 ものづくり	観 光 飲 食	建 設 不動産	金 融 庶 業	交 通 運 輸	合 計
栄	町	171	14	102	40	84	6	417
浜	町	19	11	8	8	6	11	63
本	町	41	19	33	15	37	0	145
南	町	17	3	5	4	7	0	36
川 東 地 区		156	74	37	180	68	43	558
川 西 地 区		264	159	99	325	142	77	1,066
箱	根	79	12	261	76	23	8	459
湯 河 原		14	3	7	10	8	0	42
足 柄 上		17	23	3	26	16	11	96
南 足 柄 市		10	22	2	20	12	6	72
そ の 他		19	4	5	9	69	3	109
計		807	344	562	713	472	165	3,063

## イ 委員会・協議会等（令和7年3月31日現在）

## (ア) 委員会

委 員 会 名	委員数	活 動 内 容
会 員 増 強	21名	会員増強に関する事項並びに会員サービスの検討
D X 推 進	19名	会員事業所のデジタル化、DXの推進による生産性の向上、事業再構築の機会をはかる
地 域 経 済 循 環	25名	地域経済を好循環させ地域資源を最大限に活かし、さまざまな角度から検証していく
防 災	24名	行政・自治体との連携した取組、BCPの啓発

## (2) 特定商工業者

令和6年度特定商工業者（令和6年4月1日、基準日現在において6月以上引き続き当所管内である小田原市・箱根町に営業所等を有する商工業者のうち、地区内の営業所等で常時使用する従業員の数が20人〔商業又はサービス業に属する事業を主たる事業として営む者については5人〕以上であるか、資本金額又は払込済出資総額が300万円以上の事業所）の数は次の通り。

区 分	特定商工業者数	内 訳	
		会 員 数	非 会 員 数
個 人	16	16	0
法 人	1,872	1,778	94
計	1,888	1,794	94

## (3) 役 員

ア 各役員の数及び実数（令和7年3月31日現在）

区 分	定 数	実 数
会 頭	1名	1名
副 会 頭	4名	4名
専 務 理 事	1名	1名
常 議 員	30名	30名
監 事	3名	2名

イ 役員氏名、企業の名称、企業上の地位（令和7年3月31日現在）

役 名	議員種類	氏 名	事 業 所 名	役 職 名	所 在 地
会 頭	2号	鈴木 悌介	(株) 鈴 廣 蒲 鉾 本 店	取締役相談役	小田原市風祭245
副 会 頭	3号	鈴木 茂男	箱根温泉旅館ホテル協同組合	理 事 長	箱根町湯本211-1
副 会 頭	3号	遠藤 康弘	さ が み 信 用 金 庫	理 事 長	小田原市本町2-9-25
副 会 頭	2号	岩瀬 忠司	岩 瀬 不 動 産 (有)	代 表 取 締 役	小田原市鴨宮692
副 会 頭	3号	生田 久貴	(株) ミ ク ニ	代表取締役社長	小田原市久野2480
専務理事		山本 博文	小田原箱根商工会議所	専 務 理 事	小田原市本町4-2-39
常 議 員	2号	米山 典行	(株) 小 田 原 魚 市 場	代表取締役社長	小田原市早川1-10-1
常 議 員	2号	原 正樹	小 田 原 ガ ス (株)	代表取締役社長	小田原市扇町1-30-13
常 議 員	3号	飯沼 寛雄	(株) 東 華 軒	会 長	小田原市西酒匂1-3-54
常 議 員	3号	瀬戸 良幸	瀬 戸 建 設 (株)	代 表 取 締 役	小田原市久野2267
常 議 員	2号	佐藤 祐一	(株) 横 浜 銀 行 小 田 原 支 店	支 店 長	小田原市栄町2-7-36
常 議 員	3号	水上 秀博	(株) 小 田 急 箱 根	取 締 役 社 長	小田原市城山1-15-1
常 議 員	3号	神戸 洋一	(株) 小 田 原 百 貨 店	代表取締役社長	小田原市栄町2-7-8
常 議 員	2号	丸田 茂晴	小田原市商店街連合会	会 長	小田原市本町4-2-39
常 議 員	2号	小西 正宏	(株) 中 村 屋	取 締 役 会 長	小田原市栄町1-5-22
常 議 員	2号	船水 宣邦	(株) ダ イ ド ー フ ォ ワ ー ド	代表取締役副社長	小田原市中里208

役名	議員種類	氏名	事業所名	役職名	所在地
常議員	2号	高橋台一	(株) 菜の花	取締役会長	小田原市南町1-5-22
常議員	2号	清康夫	(株) フジミ	会長	小田原市鬼柳184-5
常議員	2号	鈴木大介	ゼロワゴン(株)	代表取締役	小田原市寿町1-1-12
常議員	1号	田嶋政嗣	ヤオマサ(株)	代表取締役社長	小田原市前川183-13
常議員	1号	高橋眞己	万葉倶楽部(株)	取締役副社長	小田原市栄町1-14-48
常議員	3号	石川健児	富士フィルム(株)神奈川事業場	神奈川事業場長	小田原市扇町2-12-1
常議員	3号	古川剛士	(株) 古川	代表取締役社長	小田原市寿町1-2-32
常議員	3号	宮崎美孝	花王(株)小田原事業場	事業場代表・小田原工場長	小田原市寿町5-3-28
常議員	2号	内田治光	相洋産業(株)	代表取締役	小田原市堀之内31
常議員	2号	市川聡	サンネット(株)	代表取締役社長	小田原市栄町1-6-1
常議員	2号	江島賢	(株) 丸江	代表取締役	小田原市栄町2-13-6
常議員	1号	川村豊彦	Meiji Seika ファルマテック(株)	代表取締役社長	小田原市鴨宮1056
常議員	3号	安藤昭	富士屋ホテル(株)	代表取締役社長	箱根町宮ノ下359
常議員	3号	椎野雅之	(株) しいの食品	代表取締役	小田原市成田939
常議員	2号	譲原彰	譲原建設(株)	代表取締役	小田原市小八幡3-12-23
常議員	2号	倉田雅史	(株) 東海ビルメンテナンス	代表取締役	小田原市本町1-13-6
常議員	2号	藤井香大	(有) 小田原不動産	代表取締役	小田原市栄町2-11-8
常議員	2号	芝京子	(株) アーキテクトホンダ	代表取締役	箱根町宮ノ下111-5
常議員	2号	相原金太郎	相原興業(株)	取締役会長	小田原市扇町4-7-30
常議員	1号	奥山恵子	(株) まるだい運輸倉庫	代表取締役会長	小田原市成田480-5
監事		大田和俊彦	大田和俊彦事務所	公認会計士・税理士	小田原市本町2-3-24
監事		高田喜好	(有) 小田原保険サービス	代表取締役	小田原市南鴨宮3-4-12
顧問		秋葉勝彦			
顧問		久津間康允			
相談役		山岡弘			

#### (4) 議 員

ア 各号議員の定数および実数（令和7年3月31日現在）

区 分	定 数	実 数
1 号 議 員	46	44
2 号 議 員	31	31
3 号 議 員	13	13
計	90	88

イ 各号議員の氏名、企業の名称、企業上の地位（令和7年3月31日現在）

議員	氏 名	企 業 の 名 称	地 位	所 在 地
1号	田 嶋 政 嗣	ヤ オ マ サ (株)	代表取締役社長	小田原市前川183-13
1号	高 橋 眞 己	万 葉 倶 楽 部 (株)	取 締 役 副 社 長	小田原市栄町1-14-48
1号	川 村 豊 彦	Meiji Seika ファルマテック(株)	代表取締役社長	小田原市鴨宮1056
1号	奥 山 恵 子	(株) ま る だ い 運 輸 倉 庫	代表取締役会長	小田原市成田480-5
1号	野 村 尚 廣	箱 根 登 山 バ ス (株)	取 締 役 社 長	小田原市東町5-33-1
1号	瀬 戸 互	(株) 小 田 原 ジ ム キ	代 表 取 締 役	小田原市浜町1-2-5
1号	井 島 章 博	(有) 井 島 商 店	代 表 取 締 役	箱根町湯本637
1号	保 科 真 史	平 安 レ イ サ ー ビ ス (株)	冠 婚 統 括 次 長	小田原市扇町4-8-28
1号	久 津 間 裕 行	久 津 間 製 粉 (株)	代 表 取 締 役	小田原市久野2358
1号	柴 田 直 明	(株) ア ー ル ワ ン ロ ジ	代 表 取 締 役	小田原市浜町1-1-42
1号	鈴 木 志 卓	(有) 小 田 原 タ ウ ン サ ー ビ ス	代 表 取 締 役	小田原市早川1-6-1
1号	田 村 洋 一	(株) 田 む ら 銀 か つ 亭	代 表 取 締 役	箱根町強羅1300-573
1号	原 眞 示	(株) 小 田 急 リ ゾ ー ツ	代表取締役社長	小田原市栄町2-7-25
1号	川 田 俊 介	(有) 川 田 製 作 所	代 表 取 締 役	小田原市中新田294-1
1号	杉 崎 尚 人	(有) お む ろ ・ ア カ デ ミ ー	代 表 取 締 役	小田原市蓮正寺124-2
1号	杉 崎 勝 成	(株) 杉 崎 工 務 店	代 表 取 締 役	小田原市寿町4-9-26
1号	太 田 忠	(株) 太 田 機 械	代表取締役会長	小田原市寿町4-2-24
1号	三 宅 常 公	(株) ア ベ ス ト ミ ヤ ケ	代表取締役会長	小田原市本町1-4-4
1号	小 川 正 文	(有) ケ ー オ ー ハ ウ ジ ン グ	取 締 役	小田原市南鴨宮1-11-13
1号	櫻 井 泰 行	(有) タ イ コ ー	代 表 取 締 役	小田原市中町1-15-13
1号	加 藤 雅 巳	文 化 堂 印 刷 (株)	取締役経営企画室本部長	小田原市寿町1-10-20
1号	山 口 徹	日本新薬(株)小田原総合製剤工場	工 場 長	小田原市桑原676-1
1号	石 塚 順 一	(株) 相 州 不 動 産	代 表 取 締 役	小田原市栄町2-4-5
1号	石 黒 太 郎	小 田 原 蒲 鉾 協 同 組 合	理 事 長	小田原市本町3-4-17
1号	高 橋 康 徳	小 田 原 紙 器 工 業 (株)	代表取締役社長	小田原市南町4-1-48
1号	里 見 昌 宏	(株) 稲 妻 屋	代表取締役社長	小田原市寿町2-5-20
1号	中 村 正 実	(株) ダ イ ト ー 建 設 不 動 産	取 締 役 社 長	小田原市栢山506-1

議員	氏名	企業の名称	地位	所在地
1号	岩崎明博	西湘ビルメンテナンス協同組合	副理事長	小田原市南鴨宮3-19-8
1号	阿部正弘	(株)阿部製作所	取締役会長	小田原市成田941
1号	山岸功治	山岸(株)	代表取締役	小田原市鬼柳203-18
1号	藪田直秀	ヤブタ塗料(株)	代表取締役	小田原市本町2-4-18
1号	青山恵美	(株)ハイ・テック	代表取締役	小田原市西酒匂2-7-17
1号	飯塚章洋	富士フイルムビジネスイノベーション(株) 竹松事業所	竹松事業所長	南足柄市竹松1600
1号	平林達樹	(株)ジェイコム湘南・神奈川西湘局	局長	小田原市栄町1-5-17
1号	秋山隆一郎	(株)秋山設計	代表取締役	小田原市下新田220-3
1号	吉村耕太郎	ライオン(株)小田原工場	工場長	小田原市田島100
1号	白仁隆文	(有)レントオール小田原	代表取締役	小田原市鬼柳172-14
1号	浅野達也	(有)浅野商店	専務取締役	小田原市東町1-13-33
1号	露木清勝	(株)露木木工所	代表取締役	小田原市早川2-2-15
1号	牧野澄世	アヴイ(株)	代表取締役	小田原市早川1-15-4
1号	鈴木達之	司建設(株)	代表取締役	小田原市北ノ窪452
1号	樋口敦士	H a m e e (株)	代表取締役会長	小田原市栄町2-12-10
1号	金宮弘文	カナミヤ食品(株)	代表取締役	小田原市鬼柳184-6
1号	高井哲也	(株)マールク	代表取締役	開成町牛島59-1

以上、1号議員44名

議員	氏名	企業の名称	地位	所在地
2号	鈴木悌介	(株)鈴廣蒲鉾本店	取締役相談役	小田原市風祭245
2号	岩瀬忠司	岩瀬不動産(有)	代表取締役	小田原市鴨宮692
2号	米山典行	(株)小田原魚市場	代表取締役社長	小田原市早川1-10-1
2号	丸田茂晴	小田原市商店街連合会	会長	小田原市本町4-2-39
2号	小西正宏	(株)中村屋	取締役会長	小田原市栄町1-5-22
2号	船水宣邦	(株)ダイドーフォワード	代表取締役副社長	小田原市中里208
2号	高橋台一	(株)菜の花	取締役会長	小田原市南町1-5-22
2号	清康夫	(株)フジミ	会長	小田原市鬼柳184-5
2号	鈴木大介	ゼロワン(株)	代表取締役	小田原市寿町1-1-12
2号	中戸川洋	(株)中戸川	代表取締役	小田原市栄町1-16-5
2号	兼山淳	(株)イトーヨーカ堂小田原店	店長	小田原市中里296-1
2号	原正樹	小田原ガス(株)	代表取締役社長	小田原市扇町1-30-13
2号	内田治光	相洋産業(株)	代表取締役	小田原市堀之内31
2号	市川聡	サンネット(株)	代表取締役社長	小田原市栄町1-6-1
2号	江島賢	(株)丸江	代表取締役	小田原市栄町2-13-6

議員	氏名	企業の名称	地位	所在地
2号	峠 千秋	(株) 峠 製 作 所	取 締 役 会 長	小田原市寿町4-2-2
2号	高 橋 健 一	三 菱 ガ ス 化 学 (株) 山 北 工 場	工 場 長	山北町岸950
2号	川 口 龍 一	東京電力パワーグリッド(株)小田原支社	小 田 原 支 社 長	小田原市本町1-9-25
2号	宮 地 博 篤	(株)西武・プリンスホテルズワールドワイド	箱根地区総支配人	箱根町元箱根144
2号	石 村 隆 生	奥 箱 根 観 光 (株)	代表取締役社長	箱根町仙石原1251
2号	新 田 栄 一	(有) だ る ま 料 理 店	特 別 顧 問	小田原市本町2-1-30
2号	譲 原 彰	譲 原 建 設 (株)	代 表 取 締 役	小田原市小八幡3-12-23
2号	倉 田 雅 史	(株) 東 海 ビ ル メ ン テ ナ ス	代 表 取 締 役	小田原市本町1-13-6
2号	藤 井 香 大	(有) 小 田 原 不 動 産	代 表 取 締 役	小田原市栄町2-11-8
2号	芝 京 子	(株) ア ー キ テ ク ト ホ ン ダ	代 表 取 締 役	箱根町宮ノ下111-5
2号	勝 俣 徳 彦	(株) 勝 俣 組	代 表 取 締 役	箱根町宮城野913
2号	三 上 誠 司	(株) 三 上 工 業	取 締 役 会 長	小田原市寿町1-14-16
2号	佐 藤 祐 一	(株) 横 浜 銀 行 小 田 原 支 店	支 店 長	小田原市栄町2-7-36
2号	江 成 健 一	税 理 士 法 人 エ ナ リ	代 表 社 員	小田原市城山3-25-23
2号	相 原 金 太 朗	相 原 興 業 (株)	取 締 役 会 長	小田原市扇町4-7-30
2号	川 口 洋	伊豆箱根鉄道(株)大雄山線管理所	管 区 長	小田原市栄町1-1-5

以上、2号議員31名

議員	氏名	企業の名称	地位	所在地
3号	鈴 木 茂 男	箱根温泉旅館ホテル協同組合	理 事 長	箱根町湯本211-1
3号	遠 藤 康 弘	さ が み 信 用 金 庫	理 事 長	小田原市本町2-9-25
3号	生 田 久 貴	(株) ミ ク ニ	代表取締役社長	小田原市久野2480
3号	神 戸 洋 一	(株) 小 田 原 百 貨 店	代表取締役社長	小田原市栄町2-7-8
3号	石 川 健 児	富士フィルム(株)神奈川事業場	神奈川事業場長	小田原市扇町2-12-1
3号	古 川 剛 士	(株) 古 川	代表取締役社長	小田原市寿町1-2-32
3号	宮 崎 美 孝	花 王 (株) 小 田 原 事 業 場	事 業 場 代 表 ・ 小 田 原 工 場 長	小田原市寿町5-3-28
3号	飯 沼 寛 雄	(株) 東 華 軒	会 長	小田原市西酒匂1-3-54
3号	安 藤 昭	富 士 屋 ホ テ ル (株)	代表取締役社長	箱根町宮ノ下359
3号	椎 野 雅 之	(株) し い の 食 品	代 表 取 締 役	小田原市成田939
3号	瀬 戸 良 幸	瀬 戸 建 設 (株)	代 表 取 締 役	小田原市久野2267
3号	水 上 秀 博	(株) 小 田 急 箱 根	取 締 役 社 長	小田原市城山1-15-1
3号	前 田 豊	学 校 法 人 国 際 学 園	理 事 長	箱根町仙石原817-255

以上、3号議員13名

ウ その他参考事項 年度内における異動（職務執行者変更）

役職名	企業の名称	新役員・議員	旧役員・議員	変更月日
常議員	(株)横浜銀行小田原支店	佐藤祐一	横山佳右	4月1日
議員	学校法人国際学園	前田豊	土屋了介	5月11日
常議員	富士屋ホテル(株)	安藤昭	勝俣伸	6月27日
常議員	富士ファイルム(株)神奈川事業場	石川健児	植松健二	6月27日
議員	小田原蒲鉾協同組合	石黒太郎	杉山雅明	6月27日
議員	伊豆箱根鉄道(株)大雄山線管理所	川口洋	杉本功	10月1日
議員	ライオン(株)小田原工場	吉村耕太郎	赤松卓	1月1日
議員	西湘ビルメンテナンス協同組合	岩崎明博	杉崎正章	2月5日
議員	(株)イトーヨーカ堂小田原店	兼山淳	足立和壇	3月1日

エ 新任役員

(監事) 高田 喜好 (有)小田原保険サービス 代表取締役

オ 退任役員

(監事) 故 田中 秀明 (有)新玉製作所 会長

(監事) 故 古川 武法 (株)栄弘 代表取締役会長

(名誉会頭) 故 原 義明

カ 退任議員

(議員) 丹治 淳子 (株)NTT東日本-南関東 神奈川事業部神奈川西支店 支店長

(議員) 南波 剛 日本通運(株)神奈川西支店 支店長

(5) 箱根支部 (令和7年3月31日現在)

役名	氏名	企業の名称	地位
支部長	鈴木茂男	箱根温泉旅館ホテル協同組合	理事長
副支部長	井島章博	(有)井島商店	代表取締役
副支部長	田村洋一	(株)田むら銀かつ亭	代表取締役

(6) 部会長等 (令和7年3月31日現在)

部会	役名	氏名	企業の名称	地位
商業部会	部会長	米山典行	(株)小田原魚市場	代表取締役社長
	副部会長	神戸洋一	(株)小田原百貨店	代表取締役社長
	〃	丸田茂晴	小田原市商店街連合会	会長
	〃	中戸川洋	(株)中戸川	代表取締役
工業 ものづくり部会	部会長	原正樹	小田原ガス(株)	代表取締役社長
	副部会長	石川健児	富士ファイルム(株)神奈川事業場	神奈川事業場長
	〃	川村豊彦	Meiji Seikaファルマテック(株)	代表取締役社長
	〃	内田治光	相洋産業(株)	代表取締役

部 会	役 名	氏 名	企 業 の 名 称	地 位
観光飲食部会	部 会 長	飯 沼 寛 雄	(株) 東 華 軒	会 長
	副 部 会 長	安 藤 昭	富 士 屋 ホ テ ル (株)	代 表 取 締 役 社 長
	〃	椎 野 雅 之	(株) し い の 食 品	代 表 取 締 役
	〃	宮 地 博 篤	(株) 西 武 ・ プ リ ン ス ホ テ ル ズ ワ ー ル ド ワ イ ド	箱 根 地 区 総 支 配 人
	〃	石 村 隆 生	奥 箱 根 観 光 (株)	代 表 取 締 役 社 長
	〃	新 田 栄 一	(有) だ る ま 料 理 店	特 別 顧 問
建 設 ・ 不 動 産 部 会	部 会 長	瀬 戸 良 幸	瀬 戸 建 設 (株)	代 表 取 締 役
	副 部 会 長	讓 原 彰	讓 原 建 設 (株)	代 表 取 締 役
	〃	倉 田 雅 史	(株) 東 海 ビ ル メ ン テ ナ ス	代 表 取 締 役
	〃	藤 井 香 大	(有) 小 田 原 不 動 産	代 表 取 締 役
	〃	芝 京 子	(株) ア ー キ テ ク ト ホ ン ダ	代 表 取 締 役
金 融 庶 業 部 会	部 会 長	佐 藤 祐 一	(株) 横 浜 銀 行 小 田 原 支 店	支 店 長
	副 部 会 長	前 田 豊	学 校 法 人 国 際 学 園	理 事 長
	〃	江 成 健 一	税 理 士 法 人 エ ナ リ	代 表 社 員
	〃	平 林 達 樹	(株) ジェイコム湘南・神奈川西湘局	局 長
	〃	松 崎 英 一	さ が み 信 用 金 庫	常 務 理 事
交 通 運 輸 部 会	部 会 長	水 上 秀 博	(株) 小 田 急 箱 根	取 締 役 社 長
	副 部 会 長	相 原 金 太 朗	相 原 興 業 (株)	取 締 役 会 長
	〃	川 口 洋	伊 豆 箱 根 鉄 道 (株) 大 雄 山 線 管 理 所	管 区 長
	〃	奥 山 恵 子	(株) ま る だ い 運 輸 倉 庫	代 表 取 締 役 会 長
	〃	柴 田 直 明	(株) ア ー ル ワ ン ロ ジ	代 表 取 締 役
	〃	野 村 尚 廣	箱 根 登 山 バ ス (株)	取 締 役 社 長

## (7) 委員長等

ア 委員会（令和7年3月31日現在）

委 員 会 名	委 員 長 名	企 業 の 名 称	地 位
会 員 増 強	柴 田 直 明	(株) ア ー ル ワ ン ロ ジ	代 表 取 締 役
防 災	鈴 木 達 之	司 建 設 (株)	代 表 取 締 役
地 域 経 済 循 環	佐 藤 祐 一	(株) 横 浜 銀 行 小 田 原 支 店	支 店 長
D X 推 進	市 川 聡	サ ン ネ ッ ト (株)	代 表 取 締 役 社 長

イ 小規模事業者経営改善資金融資審査会（委員5名）

役 名	氏 名	役 職 名
委 員 長	岩 瀬 忠 司	小 田 原 箱 根 商 工 会 議 所 副 会 頭
委 員	飯 沼 寛 雄	小 田 原 箱 根 商 工 会 議 所 常 議 員
〃	江 成 健 一	小 田 原 箱 根 商 工 会 議 所 議 員
〃	川 口 將 明	箱 根 温 泉 旅 館 ホ テ ル 協 同 組 合 事 務 局 長
〃	山 本 博 文	小 田 原 箱 根 商 工 会 議 所 専 務 理 事

ウ 青年部（令和7年3月31日現在）

役名	氏名	企業の名 称	住 所
会 長	菊川 鉄也	菊 川 運 送 (有)	箱根町湯本706
専務理事	石綿 秀規	小 田 原 電 機 (株)	小田原市栄町2-13-57
副 会 長	稲葉 潤	(株) ア ク ア サ ー ビ ス	箱根町宮城野1324-74
〃	川瀬 豊州	(株) カ ワ セ	小田原市扇町2-7-11
〃	後藤健太郎	(有) 判 田 屋	小田原市田島734-11
〃	澤田 勇太	小 田 原 フ ラ ワ ー	小田原市城山1-4-19
〃	椎野 託実	(株) E D E N	小田原市桑原194

エ 女性会（令和7年3月31日現在）

役名	氏名	企業の名 称	住 所
会 長	鈴木智恵子	鈴 廣 か ま ぼ こ (株)	小田原市風祭245
副 会 長	鈴木まがね	フ ロ ン テ ィ ア 1 (株)	小田原市寿町1-1-12

オ タスクフォース（令和7年3月31日現在）

委 員 会 名	委員長名	企業の名 称	地 位
気 候 変 動	秋元 美里	(株)まるだい運輸倉庫	代表取締役社長
スポーツによるまちづくり	鈴木 聖	シ グ マ 精 器 (株)	代 表 取 締 役
E C H O	原 正樹	小 田 原 ガ ス (株)	代表取締役社長

### 3. 事務局

#### (1) 事務局の構成

部課名	所掌事務の概要	職員数
総務課	<p>○庶務、経理、管理、共済事業及び他の所掌に属さない業務</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国・県・市・町等に対する意見具申、建議要望に関する事</li> <li>2. 定款・規約・組織等に関する事</li> <li>3. 庶務・人事・文書の收受発送、儀典事務</li> <li>4. 会員の加入脱退、議員の選挙に関する事</li> <li>5. 会員表彰式等の開催に関する事</li> <li>6. 会員大会の開催に関する事</li> <li>7. 会計並びに物品発注に関する事</li> <li>8. 会館の運営管理に関する事</li> <li>9. 法定台帳の作成運用に関する事</li> <li>10. 共済事業・労働保険事務組合の管理運営</li> <li>11. 広報の編集・刊行</li> <li>12. 貿易関係証明に関する事</li> </ol> <p>○議員総会、常議員会、委員会等の運営</p> <p>○商工技術検定業務に関する事</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 検定試験の実施</li> <li>2. 日本珠算連盟小田原支部の運営</li> </ol> <p>○県西地域経済懇話会に関する事</p> <p>○電算業務に関する事</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 所内システムの管理運用</li> <li>2. ホームページの管理運用に関する事</li> <li>3. 業務の企画、調整、報告に関する事</li> </ol>	10人
経営支援部	<p>○経営改善普及事業の推進</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 経営改善に関する講習会、研修会、講演会等の開催</li> <li>2. 労働・福祉共済事業の運営</li> <li>3. 経営革新支援・補助金申請支援</li> <li>4. 原産地証明発給</li> </ol> <p>○小規模事業者経営改善資金融資に関する事</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小規模事業者経営改善資金融資推薦</li> <li>2. 各種制度融資の斡旋</li> </ol> <p>○窓口相談・巡回指導</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 経営相談員、専門相談員による相談指導</li> <li>2. 窓口相談・巡回指導</li> </ol> <p>○商工業及び中小企業の振興対策、流通対策、調査研究</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 商業、工業ものづくり、観光飲食、建設・不動産、金融庶業、交通運輸部会の運営</li> <li>2. 中心市街地活性化推進事業</li> <li>3. 景気動向調査・流動客調査</li> <li>4. 創業支援・事業承継事業</li> <li>5. 雇用促進事業</li> <li>6. 青年部・女性会の運営に関する事</li> </ol>	13人

(2) 事務局職員

ア 令和7年3月31日現在における事務局職員23名 (含む経営相談員7名)

役 職 名	氏 名	役 職 名	氏 名
事 務 局 長	古 川 正 治	経 営 支 援 部 部 長 ( 経 営 相 談 員 )	井 上 経
総 務 課 課 長	松 下 智 子	経 営 支 援 一 課 課 長 ( 経 営 相 談 員 )	飯 田 順 彦
総 務 課 係 長	山 口 圭	経 営 支 援 一 課 ( 経 営 相 談 員 )	藤 田 遥
総 務 課	大 川 修 平	経 営 支 援 一 課 ( 副 経 営 相 談 員 )	東 佑 典
総 務 課	門 松 優 瑚	経 営 支 援 一 課 ( 副 経 営 相 談 員 )	岡 部 龍 一 郎
総 務 課 ( 契 約 )	池 谷 正 美	経 営 支 援 一 課 ( パ ー ト )	平 井 喜 代
総 務 課 ( 嘱 託 )	長 田 圭 司	経 営 支 援 一 課 ( パ ー ト )	國 原 亮 子
総 務 課 ( パ ー ト )	山 田 陽 子	経 営 支 援 二 課 課 長 ( 経 営 相 談 員 )	樋 口 裕 紀
総 務 課 ( パ ー ト )	酒 井 宏 美	経 営 支 援 二 課 係 長 ( 経 営 相 談 員 )	小 林 大 悟
総 務 課 ( パ ー ト )	岩 佐 ほ の か	経 営 支 援 二 課 ( 副 経 営 相 談 員 )	田 中 裕 之
		経 営 支 援 二 課 ( 副 経 営 相 談 員 )	佐 々 木 大 友
		経 営 支 援 三 課 長 ( 経 営 相 談 員 )	内 田 信 也
		経 営 支 援 三 課 ( 経 営 相 談 員 )	高 橋 進

イ 職員数

区 分	専 任 職 員	経 営 相 談 員	副 経 営 相 談 員	計
男	6	6	4	16
女	6	1	0	7
計	12	7	4	23

ウ 非常勤嘱託

職 名	氏 名
弁 護 士	杉 崎 茂
弁 理 士	穂 坂 道 子

#### 4. 庶務

##### (1) 文書

令和6年度の取扱いは次の通り

発信文書数 197件

受信文書数 1,076件

##### (2) 表彰 (順不同・敬称略)

ア 第72回神奈川県優良産業人表彰

表彰者 神奈川県知事、神奈川県商工会議所連合会会頭

表彰日 令和7年2月3日

神奈川県優良産業人被表彰者

氏名	事業所名
伊達 寛	(有) ナカザト 電器商会
佐宗 栄一	(株) 稲妻屋
福永 憲司	極東 精機 (株)
杉崎 泰一	(有) すぎ
西久保 英山	(株) 東華軒
池田 武	(株) 東海ビルメンテナス
山田 泰廣	山田 針灸院
関 智之	(株) まるだ い運輸倉庫

イ 小田原市優良産業勤労者表彰

表彰者 小田原市長

表彰日 令和6年10月28日

小田原市優良産業勤労者被表彰者

No.	部会	氏名	事業所名
1	商業	菊地 都	(株) 小田原百貨店
2	商業	山口 真知子	(株) 小田原百貨店
3	商業	青木 繁	(株) 小田原百貨店
4	商業	戸田 隆	(株) ハシモト
5	商業	小澤 澄生	(有) 三星小澤商店
6	商業	村上 さゆり	(有) 小田原肉の宝屋
7	商業	楳田 崇晴	小田原中央青果 (株)
8	商業	長 由貴代	山岸 (株)
9	工業ものづくり	浅野 義春	(株) 鈴廣蒲鉾本店
10	工業ものづくり	鶴井 玲子	ライオン (株) 小田原工場
11	工業ものづくり	川口 隆久	極東 精機 (株)
12	工業ものづくり	小林 岳晴	極東 精機 (株)

No.	部 会	氏 名	事 業 所 名
13	工業ものづくり	花 田 静 香	花 王 (株) 小 田 原 事 業 場
14	工業ものづくり	山 岸 智	第一三共ケミカルファーマ(株)小田原工場
15	工業ものづくり	山 本 正 秀	(株) 山 安
16	工業ものづくり	船 津 陽 一 郎	小 田 原 ガ ス (株)
17	工業ものづくり	野 原 達 也	(株) 古 川
18	工業ものづくり	清 水 信 二 郎	(株) 太 田 機 械
19	工業ものづくり	細 川 歩	Meiji Seikaファルマテック(株)
20	工業ものづくり	宮 下 一 明	相 日 防 災 (株)
21	工業ものづくり	露 木 清 高	(株) 露 木 木 工 所
22	観光飲食	石 川 信 子	(有) 寿 庵
23	観光飲食	飯 塚 直 也	(株) し い の 食 品
24	観光飲食	廣 田 覚	鈴 廣 か ま ぼ こ (株)
25	観光飲食	小 蔦 祐 介	(株) 東 華 軒
26	建設・不動産	遠 藤 ゆ み 子	(株) ヤマトトータルサービス
27	建設・不動産	酒 井 信 彦	(株) 東 海 ビ ル メ ン テ ナ ス
28	建設・不動産	高 橋 純 一	ア ソ ー 熱 工 業 (株)
29	金融庶業	奈 良 賢 次	奈 良 治 療 院
30	金融庶業	横 堀 裕 士	税 理 士 法 人 エ ナ リ
31	金融庶業	石 川 た ま 子	医療法人社団渡邊内科クリニック
32	交通運輸	遠 藤 守	(株) 小 田 急 箱 根
33	交通運輸	加 藤 雅 範	(株) 小 田 急 箱 根
34	交通運輸	岸 部 悟	相 原 興 業 (株)
35	交通運輸	深 澤 昌 也	(株) ま る だ い 運 輸 倉 庫

ウ 会員事業所優良従業員表彰

表 彰 者 小田原箱根商工会議所会頭

表 彰 日 令和6年10月25日

被表彰者 54事業所の従業員224名

優良従業員被表彰者勤続年数別一覧表

年 数	5年以上	10年以上	15年以上	20年以上	25年以上	30年以上	合計
人 数	44	75	21	29	20	35	224

エ 小田原箱根商工会議所優良産業人表彰

表彰者 小田原箱根商工会議所会頭

表彰日 令和6年10月25日

No.	氏名	事業所名並び所在地	業種	営業年数
1	嶋 幸 嗣	嶋写真店 箱根町宮ノ下372	写真業	42
2	三 上 司	(株)三上工業 小田原市寿町1-14-16	左官工事業	34
3	澤 田 光 弘	ヘアースalonサワダ 小田原市久野148-24	理美容業	20

オ 小田原箱根商工会議所優良小売店舗表彰

表彰者 小田原箱根商工会議所会頭

表彰日 令和6年10月25日

No.	店 舗 名	所在地・電話	業 種
1	B i s t r o R e p a s	小田原市南鴨宮3-37-24 天勇ビル2階 0465-42-9298	フランス料理店
2	ベジフルダイニングさかい	小田原市城山1-6-29 0465-20-7775	洋食店
3	鮮魚 うおよし	小田原市早川186-1 0465-22-2037	鮮魚店
4	小田原 すぎせい	小田原市本町3-13-54 0465-22-5613	かまぼこ小売店
5	山川屋	箱根町仙石原74 0460-84-8566	酒店
6	あやばん	箱根町湯本203 湯本マンション104 0460-83-9141	パン小売店

カ 会員増強功労者表彰

表彰者 小田原箱根商工会議所会頭

表彰日 令和6年10月25日

No.	事業所名
1	(株)小田原ジムキ
2	さがみ信用金庫
3	湯山 隆
4	小田原フラワー
5	(株)田むら銀かつ亭
6	(株)日本政策金融公庫 小田原支店
7	弁理士法人 白坂
8	Qマンション管理士事務所

キ 功労役員・議員特別表彰（事業所名及び役職名は退任時）

表彰者 小田原箱根商工会議所会頭

表彰日 令和6年10月25日

No.	役名	氏名	事業所名・役職名
1	常議員	勝俣 伸	富士屋ホテル(株) 代表取締役社長
2	議員	杉山 雅明	小田原蒲鉾協同組合 理事長
3	議員	長谷川 豊	小田急箱根ホールディングス(株) 専務取締役
4	監事	故 古川 武法	(株)栄弘 代表取締役
5	監事	故 田中秀明	(有)新玉製作所 会長

ク 第3回小田原箱根気候変動アワード表彰

表彰者 小田原箱根商工会議所会頭

表彰日 令和6年10月25日

賞	事業所名
大賞	(株)まるだい運輸倉庫
特別賞	(株)ミクニ 小田原事業所
特別賞	(株)TWINGO
特別賞	パナック工業(株) 足柄工場

(3) 受 彰

ア 関東商工会議所連合会長表彰

表彰者 箱根宮ノ下商店会

会長 嶋 幸嗣

表彰日 令和6年5月30日

イ 日本商工会議所会頭感謝状（事業所名及び役職名は退任時）

表彰者 故 古川 武法

(株)栄弘 代表取締役

勝俣 伸

富士屋ホテル(株) 代表取締役社長

表彰日 令和6年10月25日付（小田原箱根商工会議所鈴木会頭伝達）

ウ 日本商工会議所（商工会議所検定試験周年記念事業）検定試験委員表彰

表彰者 山本 達雄

及川 正巳

表彰日 令和6年12月3日

#### (4) 慶弔 その他

月 日	慶 弔 等 の 名 称
4 / 8	監事 田中秀明氏 葬儀
4 / 9	監事 古川武法氏 叙勲受賞祝賀会
4 / 19	神奈川県労働安全衛生協会 総会
4 / 23	三浦商工会議所会頭 鈴木金太郎氏 葬儀
4 / 27	神奈川県産業労働局長 川島剛氏 葬儀
5 / 12	元議員 芦川充洋氏 葬儀
5 / 20	(株)豊栄荘 災害見舞
5 / 21	小田原食品衛生協会 総会
6 / 5	大和商工会議所 創立30周年記念式典
6 / 11	東京地方税理士会小田原支部 総会
6 / 15	箱根をどり
6 / 19	小田原法人会 総会
6 / 25	小田原青色申告会 総会
6 / 25	万葉倶楽部(株) レーベン小田原 THE TOWER 完成祝賀会
6 / 28	小田原市観光協会 総会
7 / 18	名誉会頭 原義明氏 葬儀
7 / 25	監事 古川武法氏 葬儀
7 / 31	箱根神社湖水祭・例大祭
8 / 1	議員 太田忠氏 傷病見舞
8 / 2	(株)ミクニ小田原事業所 納涼祭
8 / 3	太閤ひょうたん祭り
8 / 5	芦ノ湖鳥居焼まつり
8 / 16	箱根強羅大文字焼き
9 / 8	湯河原町商工会 ふれあい広場産業祭
9 / 16	箱根町仙石原観光協会 箱根仙石原すすき祭り
9 / 20	税理士法人エナリ 開業70周年記念式典
10 / 14	小田原ロータリークラブ 創立70周年記念式典
10 / 14	箱根湖畔開発(株) 60周年記念式典
10 / 18	元議員 秋山隆氏 葬儀
11 / 3	箱根大名行列
11 / 9	あしがら青年会議所 40周年式典
11 / 11	小田原紙器工業(株) 社屋移転
11 / 11	相洋産業(株) 新社屋落成移転
11 / 30	おだわらえっさホイ
12 / 4	(株)ラ・ルース 災害見舞
1 / 8	箱根湯本芸能組合 新年祝賀会
1 / 9	東京地方税理士会小田原支部 創立70周年記念式典
1 / 16	小田原市観光協会 新年賀詞交歓会
1 / 17	箱根物産連合会 新年会
1 / 17	箱根湯本芸能組合 芸者カフェバー開店

月 日	慶 弔 等 の 名 称
1 / 20	小田原青色申告会 賀詞交歓会
1 / 20	小田原市土木建設協同組合 賀詞交歓会
1 / 22	小田原法人会 賀詞交歓会
1 / 23	小田原蒲鉾協同組合 新年会
2 / 3	湯河原町経済三団体 新年合同賀詞交歓会
2 / 5	足柄上商工会 賀詞交歓会
3 / 1	新明学園旭丘高等学校 卒業式
3 / 7	小田原ガイド協会 入会式
3 / 25	錦通り商店街協同組合 60周年記念式典
3 / 31	監事 大田和俊彦氏 ご母堂様 葬儀

## 5. 会 議

### (1) 議員総会

#### ア 通常議員総会

##### 1. 議員総会が開催された日時

令和6年6月27日（木） 15：45～17：00

##### 2. 開催場所 ホテル南風荘

オンライン会議

##### 3. 出席者数（または出席者名）

###### (1) 議員

実出席者数 36名

委任状行使者数 38名

合 計 74名

議員定数 89名

###### (2) 議員総会の議長が存するときは、議長の氏名

鈴木悌介

###### (3) 議員総会に出席した会頭・副会頭又は専務理事

会 頭 鈴木悌介

副会頭 鈴木茂男、遠藤康弘、岩瀬忠司

専務理事 山本博文

###### (4) 議事録の作成に係る職務を行なった役員の氏名

鈴木悌介

###### (5) 法第33条に定める会計監査結果に関する報告の概要

令和6年6月4日、小田原箱根商工会議所において監事が山本専務理事、古川事務局長及び担当者立会いの上、令和5年度小田原箱根商工会議所事業報告並びに一般会計、特別会計、貸借対照表及び財産目録を綿密に監査し、その内容が適正であることを認めた。

4. 議 題
- 第1号議案 常議員選任の件
  - 第2号議案 監事選任の件
  - 第3号議案 令和5年度補正予算（案）の件
  - 第4号議案 令和5年度事業報告承認の件
  - 第5号議案 令和5年度収支決算承認の件
    - (1) 一般会計収支決算
    - (2) 会館管理特別会計収支決算
    - (3) 共済事業特別会計収支決算
    - (4) 特定退職金共済事業特別会計収支決算
    - (5) 運営資金積立金特別会計収支決算
    - (6) 退職給与資金特別会計収支決算
    - (7) 会館建設資金特別会計収支決算

5. 議事の概要

定刻（15：45）通り、山本専務理事の司会で定款第41条に基づいて、現在、出席者36名、委任状行使者38名、計74名で定款により定められている議員総会成立の定足数である総議員の3分の1を満たしていることを説明した。

鈴木会頭の挨拶後、山本専務理事から、定款第40条の規程により、議長は会頭が務めることが説明され、鈴木会頭が議長となった。

<議長、第1号議案を上程>

古川事務局長より、常議員の㈱横浜銀行小田原支店 支店長の横山佳右氏から常議員辞任届の提出があった。後任については同社支店長の佐藤祐一氏が職務執行者となる。

議長は第1号議案について出席者に諮りたるところ、異議なく賛成多数で承認された。

新任にあたり佐藤氏より、挨拶があった。

<議長、第2号議案を上程>

古川事務局長より、監事選任の件について、ご逝去された(有)新玉製作所 会長の田中秀明氏の後任として、(有)小田原保険サービス 代表取締役の高田喜好氏にしたい旨を説明した。

議長は第2号議案について出席者に諮りたるところ、異議なく賛成多数で承認された。

新任にあたり高田氏より、挨拶があった。

<議長、第3号議案を上程>

古川事務局長より、一般会計の補正予算（案）について神奈川県商工会議所連合会の補助金の増額交付があったこと、事業環境変化と制度改正について当初補助金として計上していたものを、税理士の指摘を踏まえ委託金に振り替えたことを報告した。また、一般会計全体で生じた繰越金のうち1,500万円を運営資金会計へ繰出す補正を行いたい旨を説明した。

議長は第3号議案について、出席者に諮りたるところ、賛成多数により異議無く承認された。

<議長、第4号議案を上程>

冒頭、山本専務理事より令和5年度事業報告について事業報告書に基づき説明をした。その後、映像にて令和5年度の事業を振り返った。

議長は第4号議案について出席者に諮りたるところ、異議なく賛成多数で承認された。

<議長、第5号議案を上程>

古川事務局長より、令和5年度収支決算について、一般会計・会館管理特別会計・共済事業特別会計・特定退職金共済事業特別会計・運営資金積立金特別会計・退職給与資金特別会計・会館建設資金特別会計について、別紙収支決算書に基づき説明した。

続いて、監事を代表して、大田和監事から令和6年6月4日、小田原箱根商工会議所において行われた監事会について報告。

大田和監事、古川監事の2名の監事が山本専務理事、古川事務局長及び担当者立会いのもと監査を行ない、令和5年度小田原箱根商工会議所事業報告並びに一般会計、特別会計、貸借対照表及び財産目録を綿密に監査し、その内容が適正であったことを報告した。

議長は5号議案について出席者に諮りたるところ、異議なく賛成多数で承認された。

以上、本日の議案は全て原案通り承認された。

イ 臨時議員総会（書面決議）

1. 議員総会が開催された日時

令和6年8月23日（金） 9：00

2. 開催場所 小田原箱根商工会議所

3. 出席者数（または出席者名）

(1) 議員

実出席者数	88名
委任状行使者数	0名
合計	88名
議員定数	88名

(2) 議員総会の議長が存するときは、議長の氏名

鈴木悌介

(3) 議員総会に出席した会頭・副会頭又は専務理事

会頭 鈴木悌介

副会頭 鈴木茂男、遠藤康弘、岩瀬忠司、生田久貴

専務理事 山本博文

(4) 議事録の作成に係る職務を行なった役員の氏名

鈴木悌介

(5) 法第33条に定める監事の監査結果について報告内容の概要

報告事項なし

4. 議題 第1号議案 常議員選任の件

5. 議事の概要

第1号議案を出席者に諮りたるところ、異議なく満場一致で承認された。

## ウ 臨時議員総会

### 1. 議員総会が開催された日時

令和7年1月23日（木） 15:45～16:00

### 2. 開催場所 小田原箱根商工会議所 大会議室

オンライン会議

### 3. 出席者数（または出席者名）

#### (1) 議員

実出席者数 47名

委任状行使者数 26名

合計 73名

議員定数 88名

#### (2) 議員総会の議長が存するときは、議長の氏名

鈴木悌介

#### (3) 議員総会に出席した会頭・副会頭又は専務理事

会頭 鈴木悌介

副会頭 岩瀬忠司

専務理事 山本博文

#### (4) 議事録の作成に係る職務を行なった役員の氏名

鈴木悌介

#### (5) 法第33条に定める監事の監査結果に関する報告の概要

報告事項なし

### 4. 議題 第1号議案 令和6年度補正予算（案）承認の件

### 5. 議事の概要

定刻（15:45）通り、山本専務理事の司会で定款第41条に基づいて、現在、出席者47名、委任状行使者26名、計73名で定款により定められている議員総会成立の定足数である総議員の3分の1を満たしていることを説明した。

鈴木会頭の挨拶後、山本専務理事から、定款第40条の規程により、議長は会頭が務めることが説明され、鈴木会頭が議長となった。

<議長、第1号議案を上程>

古川事務局長より令和6年度一般会計の補正について説明された。

内容は、事業収入と交付金収入の補正で、事業収入は青年部収入の補正、日本商工会議所からの指導により青年部の会計を本体会計に組み入れすることが提唱されており、令和6年度より青年部収入を本体に組み入れた。

一般会計予算決議時において、青年部令和6年度予算が未確定であったため、令和6年度は、令和5年度と同額の予算を計上し、今回補正により予算額の変更を上程したとの説明があった。

青年部収入の仮予算から本予算に補正3,313,000円、補正後予算額16,778,000円となった。

本体予算の補正は、交付金（委託金9,200,000円制度改正・事業環境変化、その他補助金853,000円省エネ事業）合計10,053,000円、補正後予算額92,985,000円となり、補正後の総体の収入合計は、231,443,000円となる。

青年部収入と交付金収入合わせて合計13,366,000円の収入増加に伴い、支出項目は一般事業費商工振興費（省エネ・制度改正・事業環境）と青年部事業費に振り分けたものであります。

よって、支出の補正後総予算も231,443,000円となることが提案された。

議長は、質問、意見を求めたが特になく、第2号議案を出席者に諮りたる所、反対、白票なく全会一致で異議なく承認された。

以上、本日の議案は全て原案通り承認された。

## エ 通常議員総会

### 1. 議員総会が開催された日時

令和7年3月25日（火） 15:45～17:00

### 2. 開催場所 小田原箱根商工会議所 大会議室

オンライン会議

### 3. 出席者数（または出席者名）

#### （1）議員

実出席者数	34名
委任状行使者数	41名
合計	75名
議員定数	88名

#### （2）議員総会の議長が存するときは、議長の氏名

鈴木悌介

#### （3）議員総会に出席した会頭・副会頭又は専務理事

会頭 鈴木悌介

副会頭 岩瀬忠司、生田久貴

専務理事 山本博文

#### （4）議事録の作成に係る職務を行なった役員の氏名

鈴木悌介

#### （5）法第33条に定める監事の監査結果に関する報告の概要

報告事項なし

4. 議題	第1号議案	令和7年度事業計画（案）承認の件
	第2号議案	令和7年度収支予算（案）承認の件
	第3号議案	令和7年度借入限度額（案）承認の件

## 第4号議案 定款変更の件

### 5. 議事の概要

定刻（15：45）通りに開会し、山本専務理事の司会で定款第41条に基づいて、現在、出席者34名、委任状行使者41名、計75名で定款により定められている議員総会成立の定足数である総議員の3分の1を満たしていると報告した。

鈴木会頭の挨拶後、山本専務理事から、定款第40条の規程により、議長は会頭が務めることが説明され、鈴木会頭が議長となった。

議長は関連があるとして第1号議案、第2号議案を続けて説明し、一括で承認をかけるとした。

<議長、第1号議案 令和7年度事業計画（案）承認の件、第2号議案 令和7年度収支予算（案）承認の件を一括上程>

鈴木会頭は会頭所信を、井上部長から重点施策、活動計画等を説明し、続いて箱根支部の田村副支部長、交通運輸部会の水上部会長、商業部会の米山部会長、工業ものづくり部会の原部会長、観光飲食部会の飯沼部会長、建設・不動産部会の瀬戸部会長、金融庶業部会の佐藤部会長、の順に各部会の事業計画を説明した。

また、井上部長より4つの委員会（会員増強、防災、地域経済循環、DX推進）・3つのタスクフォース（気候変動、スポーツによるまちづくり、ECHO）を引き続き設置すると説明した。

古川事務局長から一般会計、会館管理特別会計等6会計についてそれぞれ説明した。その後、人件費抜粋について、職員が増えたことによる人件費の増加を補足した。また、山本専務理事からはベースアップを行うことを報告した。

議長は第1号議案と第2号議案について、出席者に諮りたるところ、反対、白票無く、賛成多数で承認された。

<議長、第3号議案 令和7年度借入限度額（案）承認の件を上程>

松下課長から、令和7年度の借入限度額を例年通り2000万円に設定させていただきたいと説明した。また、過去に借入れをしたことはないと補足した。

議長は第3号議案について、出席者に諮りたるところ、反対、白票無く、賛成多数で承認された。

<議長、第4号議案 定款変更の件を上程>

松下課長から、令和7年6月1日に、刑罰の「懲役」と「禁錮」を一本化し、「拘禁刑」を創設する改正刑法が施行されることに伴い、「刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整理等に関する法律」により、商工会議所法においても同旨の改正が行われるためと、司法書士法・行政書士法・弁理士法の改正、および中間法人法の廃止にもとづいた会員の追記・変更を行うとともに商工会議所法との不一致部分を修正するためと変更の理由を説明した。

変更は、会員の資格の第10条第1項、同条第3項、役員任免の第33条第1項、同条第9項で、いずれも令和7年6月1日から実施する。

議長は第4号議案について、出席者に諮りたるところ、反対、白票無く、賛成多数で承認された。

以上、本日の議案は全て原案通り承認された。

(2) 正副会頭会議

月 日	開催場所	出席者数	内 容
第1回 4月11日	商工会議所	6	<p>I. 議 案 (審議事項)</p> <p>第1号議案 新会員承認の件 第2号議案 委員委嘱推薦の件  (1) 小田原市環境審議会 委員  (2) (公財) 小田原市体育協会 理事  (3) 小田原市都市計画審議会 委員  (4) 小田原地区保護司候補者検討協議会 委員  (5) 小田原地区高等学校定時制教育振興会 委員  (6) 湘南地域雇用対策推進協議会 構成員</p> <p>第3号議案 給与規則改訂の件 第4号議案 第51回景況調査結果(令和6年2月実施)の件 (協議事項) 第5号議案 令和6年度会員大会の件 第6号議案 議員提案制度の件</p> <p>II. 報告事項</p> <p>1. 職務執行者変更等について 2. 小田原箱根大博覧会2023報告について 3. 2024年度合同入社式報告について 4. その他</p>
第2回 4月25日	商工会議所	6	<p>I. 議 案 (審議事項)</p> <p>第1号議案 新会員承認の件 第2号議案 常議員選任の件 第3号議案 委員委嘱推薦の件  (1) (公社) 小田原市シルバー人材センター理事</p> <p>第4号議案 (仮称) 中高生みらいDESINGワークショップの件 (協議事項) 第5号議案 議員提案制度の件 第6号議案 今後のスケジュールの件</p> <p>II. 報告事項</p> <p>1. 神奈川県令和6年度予算・政策に関する要望(回答)について 2. 令和5年度会議所事業計画に対する自己評価について 3. その他</p>

月 日	開催場所	出席者数	内 容
第3回 5月9日	商工会議所	4	<p>I. 議 案 (審議事項)</p> <p>第1号議案 小田原管内青少年交通安全連絡協議会の件 (協議事項)</p> <p>第2号議案 議員提案制度の件</p> <p>第3号議案 令和6年度会員大会の件</p> <p>II. 報告事項</p> <p>1. 中小企業支援施策について</p> <p>2. 小田原箱根大博覧会2024について</p> <p>3. その他</p>
第4回 5月23日	商工会議所	5	<p>I. 議 案 (審議事項)</p> <p>第1号議案 新会員承認の件</p> <p>第2号議案 委員委嘱推薦の件 (1) 令和6年度城下町おだわらツーデーマーチ 実行委員会委員 (2) 小田原市総合計画審議会委員</p> <p>第3号議案 小田原市優良産業勤労者表彰割当の件</p> <p>第4号議案 神奈川県優良産業人表彰割当の件 (協議事項)</p> <p>第5号議案 令和6年度通常議員総会の件</p> <p>II. 報告事項</p> <p>1. 令和6年度会員大会について</p> <p>2. その他</p>
第5回 6月13日	商工会議所	4	<p>I. 議 案 (審議事項)</p> <p>第1号議案 監事選任の件</p> <p>第2号議案 令和5年度補正予算(案)の件</p> <p>第3号議案 令和5年度事業報告承認の件</p> <p>第4号議案 令和5年度収支決算承認の件</p> <p>第5号議案 委員委嘱推薦の件 (1) 小田原市上下水道事業運営審議会 委員 (2) おだわらっ子見守りサービス推進協議会 構成員</p> <p>II. 報告事項</p> <p>1. 合同企業説明会について</p> <p>2. 公的融資相談会について</p> <p>3. その他</p>
第6回 6月27日	ホテル南風荘	4	<p>I. 議 案 (審議事項)</p>

月 日	開催場所	出席者数	内 容
			第1号議案 新会員承認の件 第2号議案 委員委嘱推薦の件 (1) おだわらっ子見守りサービス推進協議会 構成員 (2) 箱根町男女共同参画推進委員会 委員 (3) 神奈川県立吉田島高等学校 学校運営協議 会委員 第3号議案 小田原市長・副市長との懇談会の件 (協議事項) 第4号議案 令和7年度神奈川県予算・政策に関する要望(個 別要望)の件 第5号議案 令和7年度小田原市予算・政策に関する要望の件 第6号議案 令和7年度箱根町予算・政策に関する要望の件
第7回 7月11日	商工会議所	4	I. 議 案 (審議事項) 第1号議案 委員委嘱推薦の件 (1) 小田原市総合計画審議会 委員(追認) (2) 小田原市文化財保存活用地域計画策定に かかる懇話会 委員 (協議事項) 第2号議案 令和7年度神奈川県予算・政策に関する要望 (個別要望)の件 第3号議案 令和7年度小田原市予算・政策に関する要望の件 第4号議案 令和7年度箱根町予算・政策に関する要望の件 II. 報告事項 1. 職務執行者変更について 2. 会員満足度調査結果について 3. その他
第8回 7月24日	商工会議所	5	I. 議 案 (審議事項) 第1号議案 新会員承認の件 第2号議案 常議員選任の件 第3号議案 臨時議員総会収集の件 第4号議案 小田原市優良産業勤労者表彰推薦の件 第5号議案 令和7年度神奈川県予算・政策に関する要望 (個別要望)の件 第6号議案 令和7年度小田原市予算・政策に関する要望の件 第7号議案 令和7年度箱根町予算・政策に関する要望の件

月 日	開催場所	出席者数	内 容
			II. 報告事項 1. 議員職務執行者変更について 2. その他
7月24日	商工会議所	16	小田原市長・副市長と小田原箱根商工会議所正副会頭との懇談会
8月26日	商工会議所	20	小田原市議会 正副議長と常任委員会正副委員長と 小田原箱根商工会議所 正副会頭・部会長との懇談会
第9回 9月12日	商工会議所	5	I. 議 案 (審議事項) 第1号議案 神奈川県優良産業人表彰推薦の件 (協議事項) 第2号議案 議員提案制度の件 第3号議案 会員表彰式の件 第4号議案 箱根町長・副町長との懇談会の件 II. 報告事項 1. 海外展開／国際化支援について 2. 今後のスケジュールについて 3. 旧会館寄贈に関する要望の回答について 4. その他
第10回 9月26日	商工会議所	5	I. 議 案 (審議事項) 第1号議案 新会員承認の件 第2号議案 委員委嘱推薦の件 (1) 小田原市健康増進計画推進委員会 委員 (2) エリアブランディング構想制定事業に係る 研究会 メンバー (3) 小田原市文化振興審議会 委員 第3号議案 会員表彰式被表彰者選考の件 第4号議案 箱根町長・副町長との懇談会の件
9月26日	大 清 水	14	正副会頭と3号議員との懇談会
10月10日	箱根町役場	7	箱根町長・副町長と小田原箱根商工会議所正副会頭との懇談会
第11回 10月10日	商工会議所	4	I. 議 案 (審議事項) 第1号議案 委員委嘱推薦の件 (1) エリアブランディング構想制定事業に係る 研究会 メンバー (2) 全国街道交流会第14回全国大会 「(仮称) 三島大会」実行委員会 委員・幹 事 (追認)

月 日	開催場所	出席者数	内 容
			(協議事項) 第2号議案 賀詞交歓会の件 II. 報告事項 1. 会員親睦チャリティゴルフ大会について 2. 会員表彰式について 3. その他
第12回 10月24日	商工会議所	4	I. 議 案 (審議事項) 第1号議案 新会員承認の件 第2号議員 第52回景況調査結果(令和6年8月実施)の件 II. 報告事項 1. 議員職務執行者変更について 2. 小田原箱根大博覧会2024「箱根ゴルフフェスティバル」について 3. 特定非営利活動法人箱根町・ゴルフジュニアアカデミー入会について 4. その他
第13回 11月13日	商工会議所	5	I. 議 案 (審議事項) 第1号議案 小田原市長・副市長との懇談会の件 第2号議案 臨時議員総会・議員例会の件 第3号議案 (仮称) 地域若手MVPの件 II. 報告事項 1. 日本商工会議所への意見書について 2. 小田原Lエール(小田原市女性活躍推進優良企業)認定について 3. 相模湾テストクルージング結果について 4. 令和6年度(上期)商工会議所事業計画に対する自己評価について 5. その他
第14回 11月28日	商工会議所	4	I. 議 案 (審議事項) 第1号議案 新会員承認の件 第2号議案 地元選出の与党国会議員への税制改正に関する陳情の件(追認) 第3号議案 委員委嘱推薦の件 (1) 旧箱根観光物産会館等跡地検討協議会委員(追認) 第4号議案 小田原市長・副市長との懇談会の件 II. 報告事項

月 日	開催場所	出席者数	内 容
			1. 公的融資相談会報告について 2. 小田原市 令和7年度予算・政策要望の回答について 3. その他
第15回 12月12日	商工会議所	4	I. 議 案 (審議事項) 第1号議案 令和7年度事業計画(案)策定スケジュールの件 第2号議案 令和7年度年間スケジュールの件 II. 報告事項 1. 小田原箱根大博覧会2024について 2. その他
12月23日	商工会議所	16	小田原市長・副市長と小田原箱根商工会議所正副会頭との懇談会
第16回 1月9日	商工会議所	3	I. 議 案 (審議事項) 第1号議案 委員委嘱推薦の件 (1)「小田原城あじさい花菖蒲まつり」 実行委員会 委員 第2号議案 関東経済産業局長表彰推薦の件 第3号議案 (仮称)地域でがんばる若手顕彰事業の件 (協議事項) 第4号議案 令和7年度会頭所信の件 第5号議案 令和7年度会員大会の件 II. 報告事項 1. 第80回小田原市主要商店街流動客調査結果(速報)について 2. 小田原政労使フォーラム開催について 3. 旧会館について 4. その他
第17回 1月23日	商工会議所	3	I. 議 案 (審議事項) 第1号議案 新会員承認の件 第2号議案 令和6年度補正予算(案)承認の件 第3号議案 令和7年度会頭所信の件 (協議事項) 第4号議案 令和7年度重点施策の件 第5号議案 小田原箱根大博覧会2025実行委員会の件 II. 報告事項 1. 議員職務執行者変更について 2. 第80回小田原市主要商店街流動客調査結果について 3. その他

月 日	開催場所	出席者数	内 容
第18回 2月13日	商工会議所	6	<p>I. 議 案 (審議事項)</p> <p>第1号議案 委員委嘱推薦の件 (1) 箱根町廃棄物減量等推進審議会 委員</p> <p>第2号議案 小田原市、小田原箱根商工会議所及び独立行政法人国立印刷局小田原工場との包括連携協定の件</p> <p>第3号議案 事業構想大学院大学との連携協定の件</p> <p>(協議事項)</p> <p>第4号議案 令和7年度事業計画(案)の件</p> <p>第5号議案 令和7年度会員大会の件</p> <p>第6号議案 小田原市長・副市長と正副会頭・部会長との懇談会の件</p> <p>第7号議案 箱根町長・副町長と正副会頭との懇談会の件</p> <p>II. 報告事項</p> <p>1. 議員職務執行者変更について</p> <p>2. その他</p>
第19回 2月27日	商工会議所	5	<p>I. 議 案 (審議事項)</p> <p>第1号議案 新会員承認の件</p> <p>第2号議案 小田原市長・副市長と正副会頭・部会長との懇談会の件</p> <p>第3号議案 箱根町長・副町長と正副会頭との懇談会の件</p> <p>第4号議案 令和7年度部会予算配分の件</p> <p>(協議事項)</p> <p>第5号議案 令和7年度事業計画(案)の件</p> <p>第6号議案 令和7年度スケジュールの件</p> <p>II. 報告事項</p> <p>1. 旧会館について</p> <p>2. FMヨコハマ「箱根町観光展 in みなとみらい」について</p> <p>3. 「箱根スイーツコレクション 2025」について</p> <p>4. その他</p>
第20回 3月13日	商工会議所	6	<p>I. 議 案 (審議事項)</p> <p>第1号議案 令和7年度事業計画(案)承認の件</p> <p>第2号議案 令和7年度収支予算(案)承認の件</p> <p>第3号議案 令和7年度借入限度額(案)承認の件</p> <p>II. 報告事項</p> <p>1. 旧会館について</p> <p>2. 令和7年度 箱根町予算・政策に関する要望の回答について</p>

月 日	開催場所	出席者数	内 容
			3. 事業構想大学院大学研究員募集説明会について 4. その他
3月24日	報徳会館	22	小田原市長・副市長と小田原箱根商工会議所正副会頭・部会長との懇談会
第21回 3月25日	商工会議所	4	<p>I. 議 案 (審議事項)</p> <p>I. 議 案 (審議事項)</p> <p>第1号議案 新会員承認の件</p> <p>第2号議案 委員委嘱推薦の件 (1) 公益財団法人小田原市体育協会 理事 (2) 小田原市生活交通ネットワーク協議会 会員</p> <p>第3号議案 定款変更の件</p> <p>第4号議案 育児・介護休業規程改訂の件</p> <p>第5号議案 職員永年勤続表彰の件</p> <p>II. 報告事項</p> <p>1. 職務執行者変更について</p> <p>2. マル経融資 (小規模事業者経営改善資金) 審査員委嘱について</p> <p>3. 地域で頑張る若手顕彰事業募集について</p> <p>4. 小田原・箱根合同企業説明会について</p> <p>5. 令和7年度事務局体制について</p> <p>6. その他</p>
3月28日	箱根町役場	10	箱根町長・副町長と小田原箱根商工会議所正副会頭との懇談会

### (3) 常議員会

#### ▽第1回常議員会

1. 開催日時 令和6年4月25日(木) 14:00～15:30
2. 開催場所 小田原箱根商工会議所・オンライン
3. 出席者数 役員・議員 20名
4. 議 案 **【審議事項】**  
 第1号議案 新会員承認の件  
 第2号議案 常議員選任の件  
 第3号議案 給与規則改訂の件
5. 議事の概要 議案第1号～第3号は原案どおり承認された。

▽第2回常議員会

1. 開催日時 令和6年5月23日(木) 14:00~15:00
2. 開催場所 小田原箱根商工会議所・オンライン
3. 出席者数 役員・議員 15名
4. 議案 **【審議事項】**  
第1号議案 新会員承認の件  
第2号議案 小田原市優良産業勤労者表彰割当の件  
第3号議案 神奈川県優良産業人表彰割当の件
5. 議事の概要 議案第1号~第3号は原案どおり承認された。

▽第3回常議員会

1. 開催日時 令和6年6月13日(木) 14:00~15:00
2. 開催場所 小田原箱根商工会議所・オンライン
3. 出席者数 役員・議員 17名
4. 議案 **【審議事項】**  
第1号議案 監事選任の件  
第2号議案 令和5年度補正予算(案)の件  
第3号議案 令和5年度事業報告承認の件  
第4号議案 令和5年度収支決算承認の件
5. 議事の概要 議案第1号~第4号は原案どおり承認された。

▽第4回常議員会

1. 開催日時 令和6年6月27日(木) 14:30~15:00
2. 開催場所 ホテル南風荘・オンライン
3. 出席者数 役員・議員 20名
4. 議案 **【審議事項】**  
第1号議案 新会員承認の件
5. 議事の概要 議案第1号は原案どおり承認された。

▽第5回常議員会

1. 開催日時 令和6年7月24日(水) 14:00~15:30
2. 開催場所 小田原箱根商工会議所・オンライン
3. 出席者数 役員・議員 15名
4. 議案 **【審議事項】**  
第1号議案 新会員承認の件  
第2号議案 常議員選任の件  
第3号議案 臨時議員総会招集の件  
第4号議案 小田原市優良産業勤労者表彰推薦の件  
第5号議案 令和7年度神奈川県予算・政策に関する要望(個別要望)の件

第6号議案 令和7年度小田原市予算・政策に関する要望の件

第7号議案 令和7年度箱根町予算・政策に関する要望の件

5. 議事の概要

議案第1号～第7号は原案どおり承認された。

▽第6回常議員会

1. 開催日時

令和6年9月26日(木) 15:00～15:30

2. 開催場所

小田原箱根商工会議所・オンライン

3. 出席者数

役員・議員 18名

4. 議案

【審議事項】

第1号議案 新会員承認の件

第2号議案 神奈川県優良産業人表彰推薦の件

第3号議案 会員表彰式被表彰者選考の件

5. 議事の概要

議案第1号～第3号は原案どおり承認された。

▽第7回常議員会

1. 開催日時

令和6年10月24日(木) 14:00～15:30

2. 開催場所

小田原箱根商工会議所・オンライン

3. 出席者数

役員・議員 14名

4. 議案

【審議事項】

第1号議案 新会員承認の件

5. 議事の概要

議案第1号は原案どおり承認された。

▽第8回常議員会

1. 開催日時

令和6年11月28日(木) 14:00～15:30

2. 開催場所

小田原箱根商工会議所・オンライン

3. 出席者数

役員・議員 18名

4. 議案

【審議事項】

第1号議案 新会員承認の件

第2号議案 地元選出の与党国会議員への税制改正に関する陳情の件  
(追認)

第3号議案 臨時議員総会招集の件

5. 議事の概要

議案第1号～第3号は原案どおり承認された。

▽第9回常議員会

1. 開催日時

令和7年1月23日(木) 14:45～15:30

2. 開催場所

小田原箱根商工会議所・オンライン

3. 出席者数

役員・議員 22名

4. 議案

【審議事項】

第1号議案 新会員承認の件

第2号議案 令和6年度補正予算(案)承認の件

- 第3号議案 令和7年度会頭所信の件  
第4号議案 (仮称) 地域でがんばる若手の件  
第5号議案 小田原箱根大博覧会2025実行委員会の件
5. 議事の概要 議案第1号～第5号は原案どおり承認された。

▽第10回常議員会

1. 開催日時 令和7年2月27日(木) 14:00～15:30  
2. 開催場所 小田原箱根商工会議所・オンライン  
3. 出席者数 役員・議員 25名  
4. 議案 **【審議事項】**  
第1号議案 新会員承認の件  
第2号議案 小田原市、小田原箱根商工会議所及び独立行政法人国立印刷局小田原工場との包括連携協定の件  
第3号議案 事業構想大学院大学との連携協定の件  
第4号議案 令和7年度部会予算配分の件  
**【協議事項】**  
第5号議案 令和7年度事業計画(案)の件
5. 議事の概要 議案第1号～第4号は原案どおり承認された。

▽第11回常議員会

1. 開催日時 令和7年3月13日(木) 14:00～15:30  
2. 開催場所 小田原箱根商工会議所・オンライン  
3. 出席者数 役員・議員 16名  
4. 議案 **【審議事項】**  
第1号議案 令和7年度事業計画(案)の件  
第2号議案 令和7年度収支予算(案)の件  
第3号議案 令和7年度借入限度額(案)の件
5. 議事の概要 議案第1号～第3号は原案どおり承認された。

▽第12回常議員会

1. 開催日時 令和7年3月25日(木) 15:00～15:30  
2. 開催場所 小田原箱根商工会議所・オンライン  
3. 出席者数 役員・議員 21名  
4. 議案 **【審議事項】**  
第1号議案 新会員承認の件  
第2号議案 育児・介護休業規程改訂の件  
第3号議案 職員永年勤続表彰の件
5. 議事の概要 議案第1号～第3号は原案どおり承認された。

#### (4) 監事会

1. 開催日時 令和6年6月4日(火) 15:25~17:10
2. 開催場所 小田原箱根商工会議所 特別会議室
3. 議題 (1) 令和5年度一般会計及び特別会計監査執行の件  
監事2名により令和5年度小田原箱根商工会議所事業報告並びに一般会計及び諸特別会計について、諸帳簿、諸証拠書類に対照して精密に審査が進められ、正当と認められた。

#### (5) 箱根支部会議

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
5/9	小田原箱根商工会議所 箱根支部活性化 プロジェクト会議	箱根支部	5	1. 本プロジェクトについて 2. 箱根町子育て支援課からの情報提供 3. その他
5/10	箱根町商店 連絡協議会 正副会長会議	箱根支部	3	1. 総会開催について 2. 副会長選任について 3. その他
6/6	小田原箱根商工会議所 箱根支部活性化 プロジェクト会議	箱根支部	8	1. 箱根町子育てシェアタウンについて 2. プロモーションイベントについて 3. その他
6/10	箱根町商店 連絡協議会 定時総会	太 原	13	1. 令和5年度事業報告並びに収支決算承認の件 2. 役員改選の件 3. 令和6年度事業計画(案)並びに収支予算(案)審議の件 4. その他
7/5	小田原箱根商工会議所 箱根支部活性化 プロジェクト会議	星槎大学 箱根キャンパス	6	1. プロモーションイベントについて 2. その他
9/5	小田原箱根商工会議所 箱根支部活性化 プロジェクト会議	星槎大学 箱根キャンパス	5	1. プロモーションイベントについて 2. その他
10/10	小田原箱根商工会議所 箱根支部活性化 プロジェクト会議	星槎大学 箱根キャンパス	4	1. プロモーションイベントについて 2. その他
11/5	箱根町商店 連絡協議会 正副会長会議	箱根支部	4	1. 視察会について 2. 役員会開催について 3. その他
12/10	箱根町商店 連絡協議会 役員会	G O R A BREWERY	8	1. 視察会について 2. その他

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
12/26	箱根支部役員会	ホテル 南風荘	13	1. 箱根支部会員状況について 2. 箱根支部プロジェクトチームについて 3. 旧箱根物産会館等跡地検討協議会 委員推薦について 4. その他
2/10	小田原箱根商工会議所 箱根支部活性化 プロジェクト会議	箱根支部	4	1. FMヨコハマ箱根観光展について 2. その他

## (6) 部会会議

### ア 商業部会

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
5/7	役 員 会	商工会議所 オンライン	17	1. 令和5年度会議・事業報告について 2. 令和5年度決算報告について 3. 令和6年度収支予算（案）について 4. 神奈川県・小田原市・箱根町への予算・ 政策に関する要望事項について 5. その他
5/22	定 時 総 会	商工会議所	18	1. 令和5年度会議・事業報告並びに収支 決算報告の件 (監査報告) 2. 令和6年度事業計画（案）並びに収支 予算（案）承認の件 3. その他
7/1	会 員 委 員 会	商工会議所	3	1. 優良小売店舗表彰候補店について 2. 部会員親睦旅行会について 3. その他
7/1	役 員 会	商工会議所	11	1. 小田原市優良産業勤労者表彰について 2. 神奈川県優良産業人表彰について 3. 委員会の今後について 4. 役員特別会費について 5. その他
7/22	優良小売店舗表彰 審 査 会	商工会議所	4	以下6店舗の表彰を決定 ・B i s t r o R e p a s ・ベジフルダイニングさかい ・鮮魚 うおよし ・小田原 すぎせい ・山川屋 ・あやぱん

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
10/21	役員会	商工会議所	13	1. 役員忘年会について 2. 部会員新年会について 3. 役員特別会計について 4. その他
12/5	事業委員会	だるま料理店	4	1. 令和7年度事業委員会事業計画（案）について 2. 視察会日程について 3. 定時総会講師選定について 4. 小田原箱根大博覧会について 5. その他
12/5	役員会	だるま料理店	12	1. 部会員新年懇親会について 2. その他
2/7	まちづくり委員会	商工会議所	4	1. 令和7年度事業委員会事業計画（案）について 2. その他
2/12	会員委員会	とろゝ屋	5	1. 部会員新年懇親会の振り返りについて 2. 令和7年度会員委員会事業計画（案）について 3. その他
2/18	事業委員会	商工会議所	6	1. 令和7年度事業委員会事業計画（案）について 2. 視察会日程について 3. 定時総会講師選定について 4. 小田原箱根大博覧会について 5. その他
2/26	役員会	商工会議所 オンライン	13	1. 令和6年度会議・事業報告について 2. 令和7年度事業計画（案）について 3. 令和7年度定時総会・講演会の開催について 4. その他

イ 工業ものづくり部会

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
4/18	役員会	商工会議所	15	1. 令和6年度定時総会について 2. 県・市・町への要望について 3. その他
5/16	定時総会	商工会議所	36	1. 令和5年度事業報告並びに収支決算承認の件（監査報告） 2. 令和6年度事業計画（案）並びに収支予算（案）承認の件

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
				3. 部会運営規定改正の件 4. その他
7/17	役 員 会	商工会議所	15	1. 常議員選任について 2. 小田原市優良産業勤労者表彰推薦の件 3. 神奈川県優良産業人表彰推薦の件 4. 管内工場視察会について 5. 忘年パーティーについて 6. ものづくりガイドブック改訂・発行について 7. テクニカルショウヨコハマ2025 出展について 8. 木工業PR事業について 9. その他
11/19	テクニカルショウ ヨコハマ2025 共同出展事前 打ち合わせ	商工会議所	3	1. テクニカルショウヨコハマ2025 概要について 2. 出展者展示レイアウトについて 3. その他
2/19	役 員 会	商工会議所	13	1. 令和6年度事業進捗の件 2. 令和7年度事業計画（案）並びに事業 予算（案）について 3. 小田原箱根大博覧会2025実行委員 の選任について 4. 県・市・町への要望について 5. その他（確認事項）

ウ 観光飲食部会

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
5/22	役 員 会	千客万来	12	1. 令和5年度事業報告・決算について 2. 令和6年度事業計画（案）について 3. 定時総会について 4. 神奈川県・小田原市・箱根町への予算・ 政策に関する要望事項について 5. 令和6年度小田原箱根商工会議所優良 小売店舗表彰推薦について 6. 小田原市・神奈川県従業員表彰について 7. 小田原箱根大博覧会2024について
6/17	定 時 総 会	だるま料理店	24	1. 令和5年度事業報告・収支決算について 2. 令和6年度事業計画（案）・収支予算 （案）について

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
				3. 小田原箱根大博覧会2024について
7/22	優良小売店舗表彰 審 査 会	商工会議所	4	以下6店舗の表彰を決定 ・Bistro Repas ・ベジフルダイニングさかい ・鮮魚 うおよし ・小田原 すぎせい ・山川屋 ・あやぱん
8/30	役 員 会	書 面 決 議	—	1. 副部会長選任について
11/6	役 員 会	ばあくえりあ やまもと	17	1. 常議員選任・副部会長選任について 2. その他
2/27	役 員 会	湯本富士屋 ホ テ ル	17	1. 令和6年度事業遂行状況について 2. 令和7年度事業計画(案)検討について 3. その他

エ 建設・不動産部会

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
6/10	役 員 会	商工会議所	8	1. 令和6年度定時総会について 2. 県・市・町への要望について 3. 小田原箱根大博覧会2024について 4. 部会員親睦事業について 5. その他
6/10	定 時 総 会	だるま料理店	31	1. 令和5年度事業報告並びに収支決算 承認の件 2. 令和6年度事業計画並びに収支予算 (案) 承認の件 3. その他
7/18	役 員 会	商工会議所	6	1. 小田原市優良産業勤労者表彰について 2. 神奈川県優良産業人表彰について 3. 役員の追加について 4. 県・市・町への要望について (追認) 5. 小田原箱根大博覧会2024 まちづくり おしごとフェアについて 6. その他
12/5	役 員 会	商工会議所	8	1. 建設・不動産部会新春懇親会について 2. PPP・PFI勉強会について 3. 親睦ゴルフ大会について 4. 県・市・町への要望について 5. その他

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
2/28	役員会	商工会議所	9	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和6年度事業進捗と令和7年度事業計画（案）について</li> <li>2. 旧会館について</li> <li>3. 行政への要望について</li> <li>4. 小田原箱根大博覧会2025実行委員推薦について</li> <li>5. 次年度役員会・定時総会について</li> <li>6. その他</li> </ol>

オ 金融庶業部会

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
4/4	役員会	書面決議	11	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 部会長選任の件</li> <li>2. 常議員推薦の件</li> </ol>
5/9	役員会	商工会議所 オンライン	10	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和6年度事業について</li> <li>2. 神奈川県・小田原市・箱根町への予算・政策に関する要望事項について</li> <li>3. 小田原箱根大博覧会2024について</li> </ol>
6/19	定時総会	商工会議所	41	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和5年度事業報告承認の件</li> <li>2. 令和6年度事業計画の件</li> <li>3. その他</li> </ol>
7/11	役員会	商工会議所 オンライン	11	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小田原市優良産業勤労者表彰推薦について</li> <li>2. 神奈川県優良産業人表彰推薦について</li> <li>3. 小田原箱根大博覧会2024について</li> <li>4. その他</li> </ol>
12/3	役員会	田むら 銀かつ亭	8	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新年懇談（新会員歓迎）会について</li> <li>2. その他</li> </ol>
2/14	役員会	商工会議所	10	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和6年度 会議・事業報告（案）について</li> <li>2. 令和7年度 会議・事業計画（案）について</li> <li>3. 小田原箱根大博覧会2025実行委員推薦について</li> <li>4. その他</li> </ol>

カ 交通運輸部会

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
5/14	役員会	商工会議所	9	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和6年度事業スケジュールについて</li> <li>2. 定時総会（令和5年度事業報告、令和</li> </ol>

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
				6年度事業計画) について 3. 小田原箱根大博覧会事業について 4. 視察研修会について 5. 行政（県・市・町）への要望について 6. その他
6/18	定 時 総 会 (はんだるクラブ合同)	だるま料理店	16	(部会議案) 1. 令和5年度会議・事業報告承認の件 2. 令和6年度事業計画の件 3. その他 (はんだるクラブ議案) 1. 令和5年度事業報告並びに収支決算承認の件 2. 令和6年度事業計画（案）並びに収支予算（案）承認の件 3. その他
7/9	役 員 会	商工会議所	10	1. 視察研修会について 2. 小田原市優良産業勤労者表彰について 3. 神奈川県優良産業人表彰について 4. その他
2/21	正 副 会 長 会 議	幸 繁	6	1. 令和6年度 交通運輸部会 会議・事業報告について 2. 令和7年度 交通運輸部会 事業計画（案）について 3. 小田原箱根大博覧会2025実行委員推薦について 4. その他

## (7) その他の会議

### ア 一般会議

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
6/13	特定退職金共済減額審査会	商工会議所	6	特定退職金共済減額審査会について
7/24	ハローワーク小田原雇用連絡協議会	小田原公共職業安定所	7	1. 令和5年度年間行事实施状況について 2. 令和6年度年間行事予定について 3. その他
9/12	特定退職金共済減額審査会	商工会議所	5	特定退職金共済減額審査会について
11/12	特定退職金共済減額審査会	さがみ信用金庫 本部	5	特定退職金共済減額審査会について

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
11/28	特定退職金共済減額審査会	商工会議所	5	特定退職金共済減額審査会について

イ 小田原箱根大博覧会会議

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
4/24	第2回実行委員会 ※第1回は令和5年度に開催	商工会議所 オンライン	17	1. 大博覧会事業企画について 2. その他
5/28	第3回実行委員会	商工会議所 オンライン	11	1. 大博覧会事業企画について 2. その他
6/25	第4回実行委員会	商工会議所 オンライン	10	1. 大博覧会事業企画について 2. その他
7/23	第5回実行委員会	商工会議所 オンライン	13	1. 大博覧会事業企画について 2. その他
8/27	第6回実行委員会	商工会議所 オンライン	11	1. 大博覧会事業企画について 2. その他
9/24	第7回実行委員会	商工会議所 オンライン	11	1. 大博覧会事業企画について 2. その他
10/29	第8回実行委員会	商工会議所	11	1. 大博覧会事業企画について 2. その他
12/3	第9回実行委員会	商工会議所	11	1. 大博覧会事業企画について 2. その他
1/28	第10回実行委員会	商工会議所	8	1. 大博覧会事業企画について 2. その他
2/6	小田原箱根大博覧会 2025 企画運営委員会 打ち合わせ会	商工会議所	7	1. 実行委員長挨拶 2. 自己紹介 3. 大博覧会2024事業について 4. 大博覧会2025事業について 5. その他
2/17	小田原箱根大博覧会 2025 企画運営委員会 打ち合わせ会	商工会議所	6	1. 実行委員長挨拶 2. 大博覧会2025事業について 3. その他
2/25	第11回実行委員会	商工会議所	7	1. 大博覧会事業企画について 2. その他
3/6	小田原箱根大博覧会 2025 企画運営委員会 打ち合わせ会	商工会議所	6	1. 実行委員長挨拶 2. 大博覧会2025事業について 3. その他

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
3 / 24	第12回実行委員会	商工会議所	8	1. 大博覧会事業企画について 2. その他
3 / 24	小田原箱根大博覧会 2 0 2 5 企画運営委員会 打ち合わせ会	カトマンズ キッチン	6	1. 実行委員長挨拶 2. 大博覧会2025事業について 3. その他

## (8) 委員会

### ア 会員増強委員会

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
8 / 7	委 員 会	商工会議所	6	1. 現在の会員状況について 2. 会員満足度調査結果について 3. 会員増強のための取り組みについて 4. その他

### イ 防災委員会

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
6 / 3	防 災 委 員 会	商工会議所	12	1. 令和5年度事業報告について 2. 防災セミナーの実施について 3. 研修会の実施について 4. 災害時における協力に関するアンケート結果について 5. その他
7 / 12	防 災 セ ミ ナ ー	商工会議所	38	テーマ：大地震が発生した際の対応と備え 簡易版BCPの策定について 講師：藤田千晴氏
12 / 6	災害時支援協定締結 3 商 工 会 議 所 情 報 交 換 会	掛 川 商工会議所	6	災害時支援協定について
2 / 25	正 副 委 員 長 会 議	商工会議所	3	1. 令和7年度事業計画（案）について 2. その他
3 / 6	工 場 見 学 及 び 地 元 自 治 会 と の 防 災 に 関 す る 意 見 交 換 会	柴 橋 商 会	9	(株)柴橋商会小田原工場の見学と地元自治会との防災に関する意見交換会を実施
3 / 1 ~31	災害時における協力 に関する会員向け アンケート調査	会員事業所	175	防災委員会より小田原市内会員事業所にアンケート調査を送信し、175事業所より回答を頂く

ウ 地域経済循環委員会

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
3/27	委員会	田むら 銀かつ亭	7	1. 地域経済循環推進条例の理解と普及 2. 地域経済循環とエネルギーの関係

エ DX推進委員会

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
4/25	DXセミナー	商工会議所 オンライン	18	テーマ：ゼロから始めるDXセミナー 講師：小田原箱根商工会議所 DX推進委員会委員長・常議員 サンネット(株) 代表取締役社長 市川 聡 氏
3/5	委員会	商工会議所 オンライン	7	1. 令和6年度事業について 2. 令和7年度事業について 3. その他

(9) 創業・事業承継に関する会議・事業

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
5/25	起業スクール 第1回	商工会議所	36	経営者の心構え、ビジネスコミュニケーション
6/1	起業スクール 第2回	商工会議所	36	マーケティング
6/15	起業スクール 第3回	商工会議所	35	収支計画書の作成、必要資金の検討
6/29	起業スクール 第4回	商工会議所	34	ビジネス展開
7/13	起業スクール 第5回	商工会議所	34	ビジネス展開、個別相談
7/27	起業スクール 第6回	A R U Y O ODAWARA	32	ビジネスプランの発表会
10/12	個別相談会・ フォローアップセミナー	商工会議所	21	起業スクール卒業生向けに個別相談会及び「早期に事業を軌道に乗せる為のポイント」をテーマとしたセミナーを実施
10/12	起業スクール 運営会議	商工会議所	5	次年度小田原箱根起業スクールカリキュラムについて
11/19	小田原箱根事業承継 マッチング事業 ～樺をつなぐ～連絡会	商工会議所	6	各提携機関の事業承継に関する取り組みの報告と今後の展開について情報交換
2/16	プレ創業セミナー	おだわら イノベーション ラボ	13	創業に必要な基礎的な知識を得るため、講義とワークショップを行った

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
3/17	小田原箱根事業承継 マッチング事業 ～樺をつなぐ～連絡会	商工会議所	6	各提携機関の事業承継に関する取り組みの 報告と今後の展開について情報交換

#### (10) リカレントスクール

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
9/4	リカレントスクール 第 1 回	商工会議所	9	企業とは、経営者の役割とは何かについて 学ぶ
9/18	リカレントスクール 第 2 回	商工会議所	10	自社の財務を理解し、数字の活かし方について学ぶ
10/2	リカレントスクール 第 3 回	商工会議所	9	経営戦略の立案の仕方について学ぶ
10/16	リカレントスクール 第 4 回	商工会議所	5	仕事の取組みの基本的なスキルについて 学ぶ
11/6	リカレントスクール 第 5 回	商工会議所	6	長期経営計画の立て方と実行の仕方について学ぶ
11/20	リカレントスクール 第 6 回	商工会議所	8	長期経営計画の発表
2/13	リカレントスクール アフターフォロー 懇談会	商工会議所	7	長期経営計画後の近況報告と交流

#### (11) タスクフォース

##### ア 気候変動

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
6/3	委員会	商工会議所 オンライン	9	1. 事業開始にあたって 2. 本年度の取組について 3. その他
8/21	委員会	商工会議所 オンライン	14	1. 気候変動アワードについて 2. シンボリックアクションについて 3. その他
10/25	顕彰事業表彰	湯本富士屋 ホテル	246	会員表彰式内で顕彰事業（第3回小田原箱 根気候変動アワード）の表彰を行った
2/17	委員会 情報交換会	田むら 銀かつ亭	22	1. シンボリックアクションについて 2. その他
3/13	委員会	商工会議所 オンライン	4	1. シンボリックアクションについて 2. その他

イ スポーツによるまちづくり

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
4/10	委員会	商工会議所	12	1. アスリートのセカンドキャリアについて 2. ベルマーレフットサルクラブとの社会貢献事業の連携について 3. ラグビー・関東大学対抗戦の活用方法について 4. その他
6/6	委員会	商工会議所	9	1. アスリートのセカンドキャリアについて 2. ベルマーレフットサルクラブとの社会貢献事業の連携について 3. ラグビー・関東大学対抗戦の活用方法について 4. 小田原箱根大博覧会ゴルフイベントについて 5. その他
9/28 ～29	関東大学ラグビー 秋季大会との 連携事業	城山 陸上競技場	—	小田原箱根大博覧会事業「水れもんバル」 チケットを会場内にブースを設置して販売
1/28 ～ 2/21	B-SHINE	真鶴 地域情報 センター	16	計2回（全4日間）のセッションでチーム ビルディングやプレゼンテーション、体験 等で学びながら真鶴町の課題について提言 を実施

ウ ECHO

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
4/10	第1回エネルギー アクションプラン ワーキング グループ	商工会議所	7	1. 現状のエネルギー需要把握について 2. その他
5/14	第2回エネルギー アクションプラン ワーキング グループ	商工会議所	7	1. 業種の類型パターンに関する資料につ いて 2. 小田原エネルギーアクションプラン推 進計画（案）について 3. 小田原エネルギーアクションプラン推 進検討概要について 4. 今後の進め方について 5. その他

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
6/5	第3回エネルギーアクションプランワーキンググループ	商工会議所	7	1. 現状のエネルギー需要把握方法について 2. その他
6/10	委員会	商工会議所	10	1. 小田原市のエネルギーに関する取り組みについて 2. 小田原市のエネルギー計画に関するアクションプランについて 3. その他
7/4	委員会	商工会議所	9	1. 事業者向け太陽光発電設置に関する広報について 2. 小田原市脱炭素先行地域について 3. その他
7/9	第4回エネルギーアクションプランワーキンググループ	商工会議所	6	1. 現状のエネルギー需要把握方法について 2. その他
8/14	第5回エネルギーアクションプランワーキンググループ	商工会議所	6	1. 現状のエネルギー需要把握方法について 2. その他
8/23	委員会	商工会議所	11	1. 事業者向け太陽光発電設置推進方法について 2. エネルギーアクションプランワーキンググループについて 3. 地域経済循環×カーボンニュートラルセミナーの概要 4. その他
9/13	第6回エネルギーアクションプランワーキンググループ	商工会議所	5	1. 現状のエネルギー需要把握方法について 2. その他
10/16	第7回エネルギーアクションプランワーキンググループ	商工会議所	6	1. 現状のエネルギー需要把握方法について 2. その他
11/7	委員会	商工会議所	10	1. 日本商工会議所への意見書提出について 2. 日本商工会議所「エネルギー基本計画」の見直しに対する意見書について

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
				3. エネルギーアクションプランワーキンググループについて 4. 電力地産地消プラットフォーム構築及び運営に関する連携協定について 5. 小田原市脱炭素先行地域について 6. その他
11/15	第8回エネルギーアクションプランワーキンググループ	商工会議所	5	1. 現状のエネルギー需要把握方法について 2. その他
1/16	第9回エネルギーアクションプランワーキンググループ	商工会議所	5	1. 現状のエネルギー需要把握方法について 2. その他
3/4	委 員 会	商工会議所	11	1. 小田原市のエネルギー計画について 2. エネルギーアクションプランワーキンググループの進捗について 3. その他
3/26	第10回エネルギーアクションプランワーキンググループ	商工会議所	5	1. 現状のエネルギー需要把握方法について 2. その他

(12) 省エネお助け隊に関する会議・事業

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
—	省エネ診断事業	—	—	省エネ診断・支援実績6件

### (13) 副業人材（人財）活用事業

#### ア 人事制度改革プロジェクト

プロデューサー 木村 亮 氏

月 日	会 議 名	開催場所	出席者数	内 容
4 / 1	新人事制度説明会	商工会議所	15	
4 / 10	第 1 回 打 合 せ	商工会議所	3	<ul style="list-style-type: none"><li>・人事制度運用ツール改良</li><li>・今後の運用スケジュール設計</li><li>・1 on 1 Mtg&amp;コミュニケーション研修内容すり合わせ</li></ul>
4 / 22	第 2 回 打 合 せ	商工会議所	6	<ul style="list-style-type: none"><li>・1 on 1 Mtg&amp;コミュニケーション研修内容</li></ul>
5 / 9	第 3 回 打 合 せ	商工会議所	3	<ul style="list-style-type: none"><li>・今年度目標案の確認</li><li>・視点のすり合わせと今後の進め方</li><li>・フィードバック方法</li></ul>
5 / 13	第 4 回 打 合 せ	商工会議所	6	<ul style="list-style-type: none"><li>・管理職目標設定会議</li><li>各部・課・個人の目標案の妥当性</li><li>今後の進め方</li></ul>
5 / 20	第 5 回 打 合 せ	商工会議所	3	<ul style="list-style-type: none"><li>・評価制度と報酬制度の関係性</li><li>・目標の難易度</li><li>・賞与の構造明確化</li><li>・最上位目標を何とするか</li><li>・上司評価に部下の目標達成度を反映させるか</li><li>・目標の共有範囲</li></ul>
5 / 28	第 6 回 打 合 せ	商工会議所	6	<ul style="list-style-type: none"><li>・管理職対象目標設計会議</li><li>各部・課・個人の目標案の妥当性</li><li>今後の進め方</li></ul>
6 / 5	新人事制度説明会	商工会議所	17	
6 / 17	第 7 回 打 合 せ	商工会議所	6	<ul style="list-style-type: none"><li>・管理職対象目標設計会議</li><li>各グレードに求めること目の線合わせ</li><li>各課メンバーの目標案の妥当性</li></ul>
7 / 2	第 8 回 打 合 せ	商工会議所	4	<ul style="list-style-type: none"><li>・新人事制度の目標設計の進捗確認</li><li>・人事システム導入に関する提案</li></ul>
7 / 22	第 9 回 打 合 せ	商工会議所	5	<ul style="list-style-type: none"><li>・人事システム要件定義</li><li>・新人事制度の目標設計と今後の進め方</li></ul>
8 / 5	第 10 回 打 合 せ	商工会議所	8	<ul style="list-style-type: none"><li>・目標設定の難易度、ルール</li><li>・1 on 1 Mtgの進め方</li></ul>
8 / 26	第 11 回 打 合 せ	商工会議所	8	<ul style="list-style-type: none"><li>・1 on 1 Mtgの目的、フィードバック方法</li></ul>
10 / 1	第 12 回 打 合 せ	商工会議所	7	<ul style="list-style-type: none"><li>・個人別シートを目線合わせ</li></ul>
10 / 7	第 13 回 打 合 せ	商工会議所	7	<ul style="list-style-type: none"><li>・個人別シートを目線合わせ</li></ul>
10 / 21	第 14 回 打 合 せ	商工会議所	5	<ul style="list-style-type: none"><li>・個人別シートを目線合わせ</li></ul>

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の進め方と留意点</li> <li>・システム化のスケジュール</li> </ul>
11/20	第15回打合せ	商工会議所	3	・新制度運用開始後の課題整理
12/16	第16回打合せ	商工会議所	3	・新制度運用開始後の課題に対する対策検討
12/24	第17回打合せ	商工会議所	8	・新制度運用変更点等合意形成
1/15	第18回打合せ	商工会議所	8	・評価会議
1/22	第19回打合せ	商工会議所	3	・評価会議（管理職）
2/12	第20回打合せ	商工会議所	5	・評価システム開発に関する打ち合わせ
2/21	第21回打合せ	商工会議所	5	・評価システム開発に関する打ち合わせ
3/10	第22回打合せ	商工会議所	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2024年度評価の総括と課題の洗い出し</li> <li>・今後検討課題について</li> </ul>
3/28	第23回打合せ	商工会議所	5	・評価システム開発に関する打ち合わせ

イ デジタルマーケティング戦略プロジェクト  
プロデューサー 谷垣 基氏

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
9/9	第1回打合せ	商工会議所	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GWS初期設定の確認</li> <li>・事業報告書準拠の共有フォルダ作成</li> </ul>
9/24	第2回打合せ	商工会議所	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GWS設定変更</li> <li>・外部共有ドライブの設定</li> </ul>
10/7	第3回打合せ	商工会議所	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代替メールサーバーの検討</li> <li>・サービス利用実態の把握</li> </ul>
10/28	第4回打合せ	商工会議所	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループウェア稼働検証</li> <li>・サービス利用実態の把握</li> </ul>
11/8	第5回打合せ	商工会議所	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代替メールサーバーの決定</li> <li>・サービス利用履歴のユースケース深堀</li> </ul>
11/26	第6回打合せ	商工会議所	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス利用履歴集計方法検討</li> <li>・メールサーバー変更準備</li> </ul>
12/16	第7回打合せ	商工会議所	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス利用履歴集計方法検討</li> <li>・既存メールデータ移行手段の検証</li> </ul>
1/11	第8回打合せ	商工会議所	3	・既存メールデータ移行作業
1/14	第9回打合せ	商工会議所	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存メールデータ移行作業</li> <li>・サービス利用履歴表示システムの試作</li> </ul>
1/20	第10回打合せ	商工会議所	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存メールデータ移行作業</li> <li>・サービス利用履歴表示内容の精査</li> </ul>
1/27	第11回打合せ	商工会議所	3	・サービス利用履歴表示内容の修正
2/11	第12回打合せ	商工会議所	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所内共有ドライブの運用ルール検討</li> <li>・サービス利用履歴表示システムの実装</li> </ul>

#### (14) 教育旅行に関する会議・事業

月日	会議名	開催場所	出席者数	内容
7/2	西さがみ教育旅行誘致推進協議会	商工会議所	5	1. 令和5年度 事業報告・収支決算報告について 2. 令和6年度 事業計画(案)・収支予算(案)について 3. その他

## 6. 事業

### (1) 各種事業活動

#### ア 一般事業

月日	事業名	開催場所	出席者数	内容
4/4	合同入社式	小田原お堀端 コンベンション ホール	124	1. 入社式 2. 新入社員セミナー・交流会
4/12	健康経営フォーラム	鈴廣かまぼこ	21	アクサ生命との共催 1. 健康経営の推進について 2. 健康経営優良法人認定事業所の取組発表 (1) ㈱デコリア (2) ㈱オーディーシー (3) ㈱ミクニ小田原事業所 3. 健康経営優良法人認定の現況とアクササポート 4. 情報交換会
5/10 ～ 6/28	会員満足度調査 アンケート	会員事業所	—	会員事業所向けに会員満足度調査アンケートを実施
5/14	就職情報交換会	小田原お堀端 コンベンション ホール	—	参加学校10校、参加事業所22社
5/15	会員大会	湯本富士屋 ホテル	107	1. 会頭所信と活動計画の発表 2. シンポジウム 「スポーツによるまちづくり」 (1) 基調講演 テーマ：ラグビーに学ぶ チームマネジメントと人材育成 講師：元ラグビー日本代表 吉田義人氏 (2) パネルディスカッション パネリスト：

月 日	事 業 名	開催場所	出席者数	内 容
				元ラグビー日本代表 吉田義人氏 (株)湘南ベルマーレフットサルクラブ 代表取締役社長 佐藤伸也氏 (株)木下テーブルテニスクラブ 代表取締役社長 梶原 健氏 おだわラグビー 塗師世菜氏 小田原市ラグビーフットボール協会 副会長 生田久貴氏 3. 会員交流会
6 / 6	合同企業説明会	小田原お堀端 コンベンション ホ ー ル	31	会員事業所36社が参加
6 / 15	保護者のための 就活セミナー	おだわら 市民交流 センター UMECO	15	テーマ：若者世代の就職活動について 講師：(株)リクルート就職みらい研究所 所長 栗田貴祥氏
7 / 4 ～ 29	企業従事者 健康診断	小田原卸 商業団地・ 仙石原文化 センター	645	企業従事者労働安全衛生規則法定検診及び 特別検診
7 / 5 ～ 9 / 15	福利厚生向上事業 会員割引チケット	—	—	大磯ロングビーチ 6月に募集し153事業所が利用
7 / 5 ～ 12 / 31	福利厚生向上事業 会員割引チケット	—	—	箱根小涌園 ユネッサン 6月に募集し129事業所が利用
7 / 8 ～ 10 / 31	企業従事者 健康診断	小田原箱根 健 診 クリニック	415	企業従事者労働安全衛生規則法定検診及び 特別検診
8 / 24	第60回小田原 珠算競技大会	商工会議所	41	第60回小田原珠算競技大会を開催
10 / 1 ～ 2 / 28	福利厚生向上事業 会員割引チケット	—	—	伊豆・三津シーパラダイス 9月に募集し23事業所が利用
10 / 4	会員親睦 チャリティー ゴルフコンペ	小田原湯本 カントリー ク ラ ブ	57	優勝 野村 尚廣 (箱根登山バス(株)) 2位 大森 美喜 (家安) 3位 鈴木 和男 (株)吉池旅館) 湘南ベルマーレフットサルクラブと連携事 業。参加者からチャリティーを募り、湘南 ベルマーレフットサルクラブの観戦チケッ

月 日	事 業 名	開催場所	出席者数	内 容
				トヤグッズなどをゆりかご園に寄贈した。
10/9	合同入社式同期会	小田原お堀端 コンベンション ホ ー ル	35	1. フォローアップ研修 2. 交流会
10/25	会 員 表 彰 式	湯本富士屋 ホ テ ル	246	1. 会員表彰式 優良従業員表彰 54事業所224名 優良産業人表彰 3名 優良小売店舗表彰 6店 会員増強功労者表彰 8名 功労役員・議員特別表彰 5名 2. 祝賀会・抽選会
11/18	「地域経済の好循環は エネルギーから」提出	日 本 商工会議所	3	政府の総合経済対策についての意見交換
11/28	労 働 講 座	おだわら 市民交流 センター UMECO	25	テーマ：「あなたの職場の身近な話題」 講 師：大石 浩氏（社会保険労務士）
1/8	新 年 会 員 賀 詞 交 歓 会	小田原お堀端 コンベンション ホ ー ル	294	会員の招福と賀詞交歓会
1/23	議 員 例 会	商工会議所	46	テーマ：世界と日本の貿易・投資動向 ～不確実性高まる国際経済の潮流～ 講 師：日本貿易振興機構（ジェトロ） 調査部国際経済課課長代理 北見 創氏  テーマ：小田原箱根商工会議所とジェトロの 今後の連携を踏まえた海外展開事業 講 師：日本貿易振興機構（ジェトロ） 横浜貿易情報センター所長 田中一史氏
1/23	議 員 新 年 会	だるま料理店	40	
2/10	小 田 原 政 労 使 フ ォ ー ラ ム	小田原お堀端 コンベンション ホ ー ル	70	テーマ：人材獲得難の時代。どんな小田原 をつくっていくのか 講 師：リクルートワークス研究所 主任研究員 古屋星斗氏
2/19 ～20	西湘地区就職面接会	小田原公共 職業安定所	39	16社が参加
3/6	小田原市・小田原 箱根商工会議所及び	小 田 原 市 役 所	9	小田原市・小田原箱根商工会議所及び独立 行政法人国立印刷局小田原工場と

月 日	事 業 名	開催場所	出席者数	内 容
	独立行政法人国立印刷局小田原工場との包括連携協定式			(1) 地域活性化に関すること (2) 若者の活躍に関すること (3) 防災対策に関すること (4) その他、目的達成のため必要な事項に関すること について包括連携協定を締結
3/11	ジョブスタディ	おだわら市民交流センター UMECO	37	市内高校2年生を対象に採用担当者からのアドバイスの第1部と、企業人事担当者との交流会を開催
3/12	合同企業説明会	小田原お堀端コンベンションホール	48	会員事業所37社が参加

#### イ 小田原箱根大博覧会事業

月 日	事 業 名	開催場所	出席者数	内 容
7/20 ～ 8/31	なりわい体験	市内・町内各所	—	産業の紹介（仕事の説明・事業所見学等）と体験を組み合わせることにより、来街者や地元住民に対して、小田原箱根地域の36事業所（48コース）をPRをし、産業観光の振興にも繋げた
7/28	未来に繋ぐバスツアー	市内・町内各所	46	青年部の企画により、16～29歳の若者が管内の事業所をバスで巡り、事業内容の見学・体験を通じて経営課題への提案を行い、地域への関心と理解を深めた
9/28 ・29	小田原国際水れもんバル	小田原駅周辺	—	観光飲食部会の企画により、街なかの回遊促進、地域の飲食店の認知度向上を目的に、城山陸上競技場で行われたラグビーの大学対抗戦に時期をあわせ、小田原駅周辺の46店舗参画のバルイベントを開催した
10/12	箱根ネイチャーフェスタ	箱根園	—	観光飲食部会の企画により、芦ノ湖を臨むロケーションに包まれて、来場するすべての人たちが、箱根の自然の素晴らしさを心と体で感じながら楽しめるアウトドアイベントを開催した
11/1 ～ 12/12	仙石原スタンプラリー	仙石原商店会	—	観光飲食部会の企画により、仙石原地区の観光資源や事業者のPRのため、仙石原商店会と協力し商店会加盟28店舗を巡るスタンプラリーの期間イベントを実施した

月日	事業名	開催場所	出席者数	内容
11/11	なんでも経営相談会	商工会議所	23	金融庶業部会の企画により、事業所向け無料経営相談会を実施
11/17	箱根ゴルフフェスティバル	箱根湖畔ゴルフコース	170	青年部の企画により、ゴルフ場を地域資源として捉え、ゴルフコンペの他に、未経験者向けレッスンや地元産業体験を通じて、地域の魅力を広く発信し交流人口の拡大を図った
11/23	まちづくりおしごとフェア	ダイナシティウエスト広場	約1,000	建設・不動産部会の企画により、建設重機など「働くのりもの」の展示・試乗体験、企画ブースの展開等により、建設業、不動産業のなりわいを周知するとともに、将来の担い手である子供たちに各業界と触れ合う機会を提供した
11/26 ・ 12/5	箱根宮ノ下「なりわい」さんぽツアー	宮ノ下周辺	延べ48	観光飲食部会の企画により、箱根宮ノ下商店会と協力し、地域の商店のPRを目的に、地域の観光スポットやレトロな雰囲気を楽しんでいただきながら各店舗をめぐるまち歩きツアーを実施した

#### ウ 箱根支部事業

月日	事業名	開催場所	出席者数	内容
6/4	公的融資相談会	箱根支部	10	日本政策金融公庫・神奈川県信用保証協会による融資相談会を開催
11/15	公的融資相談会	箱根支部	12	日本政策金融公庫・神奈川県信用保証協会による融資相談会を開催
2/15 ～16	F M ヨ コ ハ マ 箱根観光展 inみなとみらい	クイーンズスクエア横浜	—	F M ヨ コ ハ マ箱根観光展inみなとみらいにて箱根観光をPR
3/8 ～9	日本ドールハウス協会フェスタ	産業貿易センター 浜松町館	2	日本ドールハウス協会フェスタにて箱根の観光をPR
3/15 ～16	交通会館マルシェ	東京交通会館	3	交通会館マルシェにて、箱根ジオパーク特産品をPR

エ 部会事業

(ア)商業部会

月日	事業名	開催場所	出席者数	内容
5/22	講演会	商工会議所	24	テーマ:「どんな相手でもストレスゼロ! カスタマーハラスメント対応術」 講師:クレーム・コンサルタント 谷 厚志 氏
10/28	小田原市優良産業 勤労者表彰並びに 技能者表彰表彰式	小 田 原 三 の 丸 ホ ー ル	8	部会推薦により8名受賞 菊地 都 (株)小田原百貨店) 山口真知子 (株)小田原百貨店) 青木 繁 (株)小田原百貨店) 戸田 隆 (株)ハシモト) 小澤澄生 (有)三星小澤商店) 村上さゆり (有)小田原肉の宝屋) 楳田崇晴 (小田原中央青果(株)) 長 由貴代 (山岸(株))
11/20	部会員親睦旅行会	東京方面	46	「麻布台ヒルズ」「豊洲 千客万来」「東京都庭 園美術館」「ホテル雅叙園東京 (百段階段)」 の旅行会を実施
11/26	神奈川県優良 小売店舗表彰式	神奈川県庁	2	2店舗受賞 小田原 すぎせい あやばん
12/14	小田原市主要 商店街流動客調査	小田原駅 周辺各所	—	小田原駅周辺各所に12時～18時で流動客調 査を実施
2/3	神奈川県 優良産業人表彰	横浜情報 文化センター	2	部会推薦により2名受賞 佐宗栄一 (株)稲妻屋) 伊達 寛 (有)ナカザト電気商会)
2/4	部 会 員 新 年 懇 親 会	商工会議所	55	部会員新年懇親会を開催 「中村紳幸氏」による講談、福引き抽選を 実施

(イ)工業ものづくり部会

月日	事業名	開催場所	出席者数	内容
4/25	会計監査	株)阿部製作所	1	会計監査を実施
10/28	小田原市優良産業 勤労者表彰並びに 技能者表彰表彰式	小 田 原 三 の 丸 ホ ー ル	13	部会推薦により13名表彰 浅野義春 (株)鈴廣蒲鉾本店) 鶴井玲子 (ライオン(株)小田原工場) 川口隆久 (極東精機(株)) 小林岳晴 (極東精機(株)) 花田静香 (花王(株)小田原事業場)

月 日	事 業 名	開催場所	出席者数	内 容
				山岸 智 (第一三共ケミカルファーマ(株) 小田原工場) 山本正秀 (株山安) 船津陽一郎 (小田原ガス(株)) 野原達也 (株古川) 清水信二郎 (株太田機械) 細川 歩 (Meiji Seikaファルマテック(株)) 宮川一明 (相日防災(株)) 露木清高 (株露木木工所)
11/12	管 外 視 察 会	(株)由紀精密	9	宇宙航空部品を製造する茅ヶ崎市の(株)由紀精密に伺う。
11/16 ~17	小 田 原・ 箱 根 木・ 技・ 匠の祭典	小 田 原 三 の 丸 ホ ー ル	—	工芸事業として協力
12/4	忘 年 会	小田原お堀端 コンベンション ホ ー ル	41	会員相互の親睦を図る忘年会を開催
1月	ものづくり企業 ガイド発行	—	300部	ビジネスマッチングに寄与することを目的 に当所会員の中小企業の技術紹介を行うガ イドブックを発行
2/3	神 奈 川 県 優良産業人表彰	横浜情報 文化センター	2	部会推薦により2名受賞 福永憲司 (極東精機(株)) 杉崎泰一 (有すぎ)
2/5 ~7	テクニカルショウ ヨコハマ2025 共同出展	パシフィコ 横 浜	6社	共同出展を行い、管内製造業のPRを行っ た。

(ウ)観光飲食部会

月 日	事 業 名	開催場所	出席者数	内 容
5/22	役 員 視 察 会	千客万来	12	最新観光施設である千客万来を視察
9/28	小田原箱根大博覧会 小 田 原 国 際 水 れ も ん バ ル	小田原駅周辺	—	街なかの回遊促進、地域の飲食店の認知度 向上を目的に、城山陸上競技場で行われた ラグビーの大学対抗戦に時期をあわせ、小 田原駅周辺の46店舗参画のバルイベントを 開催した
10/12	小田原箱根大博覧会 箱 根 ネ イ チ ャ ー フ ェ ス タ	箱 根 園	—	芦ノ湖を臨むロケーションに包まれて、来 場するすべての人たちが、箱根の自然の素 晴らしさを心と体で感じながら楽しめるア ウトドアイベントを開催した

月日	事業名	開催場所	出席者数	内 容
10/28	小田原市優良産業 勤労者表彰並びに 技能者表彰表彰式	小 田 原 三 の 丸 ホ ー ル	4	部会推薦により4名受賞 石川信子 (尙寿庵) 飯塚直也 (㈱しいの食品) 廣田 覚 (鈴廣かまぼこ㈱) 小蔦祐介 (㈱東華軒)
11/1 ～ 12/12	小田原箱根大博覧会 仙 石 原 スタンプラリー	仙 石 原 商 店 会	—	仙石原地区の観光資源や事業者のPRのため、仙石原商店会と協力し商店会加盟28店舗を巡るスタンプラリーの期間イベントを実施した
11/26	神 奈 川 県 優 良 小売店舗表彰式	神奈川県庁	2	2店舗受賞 小田原 すぎせい あやばん
11/26 ・ 12/5	小田原箱根大博覧会 箱根宮ノ下「なりわい」 さんぽツアー	宮ノ下周辺	延べ48	箱根宮ノ下商店会と協力し、地域の商店のPRを目的に、地域の観光スポットやレトロな雰囲気を楽しんでいただきながら各店舗をめぐるまち歩きツアーを実施した
2/3	神 奈 川 県 優良産業人表彰	横浜情報 文化センター	1	部会推薦により1名受賞 西久保英山 (㈱東華軒)

(エ)建設・不動産部会

月日	事業名	開催場所	出席者数	内 容
8/3	部会員親睦花火 鑑 賞 会	酒 匂 川 ス ポ ー ツ 広 場	41	酒匂川花火大会の鑑賞会を開催
10/28	小田原市優良産業 勤労者表彰並びに 技能者表彰表彰式	小 田 原 三 の 丸 ホ ー ル	3	部会推薦により3名表彰 遠藤ゆみ子 (㈱ヤマトトータルサービス) 酒井信彦 (㈱東海ビルメンテナンス) 高橋純一 (アソー熱工業㈱)
11/23	小田原箱根大博覧会 ま ち づ くり おしごとフェア	ダイナシティ ウエスト広場	1,000	協 力：小田原左官業組合、(公社)神奈川県宅地建物取引業協会小田原支部、(一社)湘南建設業協会、神奈川県県西土木事務所小田原土木センター、小田原市消防本部、神奈川県警察小田原警察署
1/27	全国街道交流会議 第14回全国大会 プレシンポジウム	小 田 原 三 の 丸 ホ ー ル	—	伊豆湘南道路のPRを行う
2/3	神 奈 川 県 優良産業人表彰	横浜情報 文化センター	1	部会推薦により1名受賞 池田 武 (㈱東海ビルメンテナンス)
2/18	新 年 会	だるま料理店	36	会員相互の親睦を図る新年会を開催

月 日	事 業 名	開催場所	出席者数	内 容
3 / 7	成功事例から学ぶ 公民連携セミナー	商工会議所	46	第一部 テーマ：エリアビジョンから育てる公民連携 ～シビックプライドを育むまちづくり～ 講 師：(株)ブルースタジオ 建築家・クリエイティブディレクター 大島芳彦氏 第二部 テーマ：P F I を活用したホテルと市庁舎 の新造事例 講 師：(株)カンデオ・ホスピタリティ・ マネジメント 代表取締役会長兼社長 穂積輝明氏
3 / 18	親睦ゴルフ大会	小田原湯本 カントリー ク ラ ブ	9	優 勝 宮島尚行氏 (株)フジタ交通事業部) 準優勝 谷津倉泉氏 (株)西湘機材) 3 位 鈴木達之氏 (司建設(株))

(オ)金融庶業部会

月 日	事 業 名	開催場所	出席者数	内 容
6 / 15	講 演 会	商工会議所	40	テーマ：イメージアップ、売上アップに役 立つ！ビジネスに効果的な色彩活 用法 講 師：カラーセラピスト 石井亜由美氏
7 / 17	親睦ボウリング大会	小田原コロナ キャット ボ ウ ル	60	団体 優 勝 税理士法人エナリBチーム 準優勝 税理士法人エナリAチーム 第3位 小田原第一信用組合Bチーム 個人 優 勝 中村新吾 (三井住友信託銀行) 準優勝 田中崇人 (野村証券(株)) 第3位 長谷川和馬 (野村証券(株))
10 / 28	小田原市優良産業 勤労者表彰並びに 技能者表彰表彰式	小 田 原 三 の 丸 ホ ー ル	3	部会推薦により3名受賞 奈良賢次 (奈良治療院) 横堀裕士 (税理士法人エナリ) 石川たま子 (医療法人社団渡邊内科クリニック)
11 / 11	小田原箱根大博覧会 なんでも経営相談会	商工会議所	23	事業所向け無料経営相談会を実施
2 / 3	神 奈 川 県 優 良 産 業 人 表 彰	横 浜 情 報 文化センター	1	部会推薦により1名受賞 山田泰廣 (山田針灸院)
2 / 14	講 演 会 親 睦 会	商工会議所	44	テーマ：小田原の文学風土と作家たち 講 師：小泉政治氏

## (カ)交通運輸部会

月 日	事 業 名	開催場所	出席者数	内 容
9/12	はんだるクラブ コンペ	箱根湖畔 ゴルフコース	10	優 勝 服部純一 (ブリヂストンタイヤサービス東日本(株)) 準優勝 菊川鉄也 (有)菊川運送) 3 位 秋山 実 (有)小田原ドライビングスクール)
10/21 ・22	視 察 研 修 会	名古屋方面	17	名古屋城、リニア・鉄道館等を視察
11/1	小田原市優良産業 勤労者表彰並びに 技能者表彰表彰式	小 田 原 三 の 丸 ホ ー ル	4	部会推薦により4名受賞 遠藤 守 (株)小田急箱根) 加藤雅範 (株)小田急箱根) 岸部 悟 (相原興業(株)) 深澤昌也 (株)まるだい運輸倉庫)
11/19	はんだるクラブ コンペ	フェニックス カントリー ク ラ ブ	8	優 勝 秋山 実 (有)小田原ドライビングスクール) 準優勝 水上秀博 (株)小田急箱根) 3 位 長峯昭彦 (株)小田急箱根)
2/3	神 奈 川 県 優 良 産 業 人 表 彰	横 浜 情 報 文 化 セ ン タ ー	1	部会推薦により1名受賞 関 智之 (株)まるだい運輸倉庫)
2/21	新 年 懇 談 会	幸 繁	15	新年懇談会を実施

## オ 青年部

月 日	事 業 名	開催場所	出席者数	内 容
4/18	通 常 総 会	小田原お堀端 コンベンション ホ ー ル	71 委任状 18	1. 令和5年度事業報告(案)承認の件 2. 令和5年度収支決算(案)承認の件 監査報告 3. 令和6年度事業計画(案)承認の件 4. 周年事業等積立金より取り崩し(案) の件 5. 令和6年度収支予算(案)承認の件
5/16	5 月 例 会 Y E G 経 営 塾	生涯学習 センター け や き	57	テーマ: ビジネス革命の第一歩 マーケティングの力 講 師: 小畑陽一氏
6/5 ～ 7/11	市 内 小 学 校 小田原ちょうちん 製作教室 運営支援	市 内 各 小 学 校	50	小田原ちょうちん製作ボランティアの会お よび小田原市観光協会と連携し、市内24校 の小学校において実施。地域文化である小 田原ちょうちんの製作を通じて、伝統の継 承と次世代を担う子どもたちとの交流を 図った

月日	事業名	開催場所	出席者数	内容
6/7	豊かな森林づくり事業 お玉ヶ池地区 町有林樹下植栽	箱根町	7	箱根町の豊かな森林づくり事業に参加した
6/8	6月例会 創立10周年記念事業 食と音楽と花火で彩る 「ハッピービーチ フェスティバル 2024」	御幸の浜 海岸	83	73名の出演者による多彩なステージパフォーマンスに加え、14台のキッチンカーが出店し、「循環型の消費」を促進する花火大会を開催した
7/28	7月例会 小田原箱根大博覧会 未来に繋ぐバスツアー	小田原市内 各所、箱根 町内各所	38	16歳から29歳までの若者を対象に、管内の事業所をバスで巡るツアーを開催し、若者の視点による意見を経営に活かす取り組みを実施した
8/22	8月例会 Y E G 経営塾	おだわら 市民交流 センター UMECO	53	テーマ：自事業の価値を見出せ！ 講師：小畑陽一氏
9/21	9月例会 Y E G 式交流ドライブ ～そうだ、みんなの 事業所発見させて もらえませんか？～	小田原箱根 エリア周辺	44	新入会員の事業所をめぐり、会員相互の交流と親睦を深める事業を行った
10/2	10月例会 事前勉強会	おだわら 市民交流 センター UMECO	18	10月例会の理解を深めるため、生成AIについて事前の勉強会を開催した
10/17	10月例会 Y E G 経営塾	商工会議所	51	テーマ：生成AIわかったつもりでいませんか？ 講師：ソフィアブレイン 代表 小宮山真吾氏
10/26	第44回関東 ブロック大会 ぐんま富岡大会	かぶら文化 ホール、 Yokowoシルク アリーナ富岡、 富岡市内	30	記念式典に出席後、第3分科会 なっから 食うんべー伊勢崎グルメツアーに参加 小田原・箱根エリアにおけるホスピタリ ティの在り方を見つめ直し、改めてその重 要性を学ぶ機会を得た
11/17	11月例会 小田原箱根大博覧会 箱根ゴルフ フェスティバル	箱根湖畔 ゴルフコース	42	ゴルフ場を地域資源として捉え、ゴルフプ レーヤー以外でもゴルフ場を楽しめるイベ ント会場として活用する取り組みを実施し た
11/20	10周年記念式典 に向けた「ちょっ	おだわら 市民交流	24	創立10周年記念式典の際に発表するビジョ ンを作成するための会議を開催した

月 日	事 業 名	開催場所	出席者数	内 容
	と先の物語」発表 (仮) 全体会議	センター UMECO		
12/7	12 月 例 会 創立10周年記念式典 祝 賀 会	湯本富士屋 ホ テ ル	63	創立10周年を記念し、式典と祝賀会を開催した
1/16	臨 時 総 会 令和7年賀詞交歓会	鈴 廣 かまぼこの里 (鈴の音ホール)	59 委任状 51	1. 令和7年度 会長選任(案)の件 2. 令和7年度 役員選任(案)の件 3. 規約改定(案)の件
2/14 ~15	第44回全国大会 ほとめきFUKUOKA くるめ大会への参画	福 岡 県 内 各 地	27	記念講演 講 師：経済ジャーナリスト 須田慎一郎氏
2/20	2 月 例 会 Y E G 経 営 塾	商工会議所	48	テーマ：夢を追いかける勇気が、未来を切り拓く 講 師：寿FPコンサルティング(株) 高橋成壽氏 講 師：さがみ信用金庫 田代祐樹氏
3/6	3 月 例 会 卒 業 式 ・ 納 会 ~つぼみの軌跡未来 (ビジョン)へ続く道~	湯本富士屋 ホ テ ル	67	令和6年度卒業生13名の卒業式と、今年度を締めくくる納会を開催した
5月より 3月まで 隔月発行	THE 青年「TSUBOMI team project C・B」	商工会議所	—	青年部活動を対外的に周知する広報誌を年6回発行した

(2) 意見活動

令和6年度 小田原市予算・政策に関する要望について  
(小田原市へ8月30日提出)

【個社支援・経営基盤強化】

項 目	理 由
<p>1. 工芸技術所による工芸技術者への継続的な支援と、創業支援や後継者育成における連携、工芸技術所の更なる機能強化についての働きかけについて</p>	<p>専門的な知識と機械を所有する工芸技術所は、ものづくりに必要な機器の貸出や、技術指導、若手工芸技術者の交流の場の提供、創業予定者又は後継者等を対象に所内に共同で利用できるスペースを提供していると認識しております。</p> <p>当所では市、町とともに「小田原箱根起業スクール」を開講するとともに、当所主催で「小田原・箱根ビジネスリカレントスクール」も開講し、創業支援や後継者育成を積極的に行っております。地場産業の発展は更なる地域活性化にもつながると考えますので、工芸技術所と相互に連携を取り合いながら手厚い創業支援や後継者育成を進めていかれるよう働きかけをお願いいたします。</p> <p>また、木工業のランドマーク的存在である工芸技術所による工芸技術者への継続的な支援と、小田原・箱根の木工業の発展に大いに寄与する工芸技術所の更なる機能強化についても県に働き掛けてくださいますよう要望いたします。</p>
<p>2. 民間建築物小田原産木材利用促進事業費補助金の予算額拡充について</p>	<p>市の森林の多くを占めるスギ・ヒノキの人工林を健全に保つために、間伐材等の森林整備に伴って生産された木材を積極的に利活用することは大変重要であると考えます。市は小田原産木材を使用した建築・木質化により木材を積極的かつ効果的に活用する取り組みを促進するため、民間建築物小田原産木材利用促進事業費補助金を令和5年度に創設しております。</p> <p>当所も創業支援や店舗改装の支援につなげるため、当補助金の情報提供及び申請書の作成支援等を行っております。しかしながら、令和5年度予算400万円に対し計4件で予算に達し、令和6年度も同額予算となっており、なかなか希望する全ての事業者・創業者に申請機会を提供できないのが実情です。</p> <p>小田原産木材を使用することで、地域貢献、社会貢献につながり、地域でお金を回す一助にもなると考えます。また、木材資源の徹底活用は市としても喫緊の課題であることから、同補助金の予算額の拡充を要望いたします。</p>
<p>3. 市内製造業等の拡大再投資への支援策について</p>	<p>市では、市内製造業等に対し、拡大再投資する際に助成や奨励金を交付する等の支援を行っておりますが、対象となる企業の掘り起こしや認知度はまだ不十分と考えます。</p>

項 目	理 由
	<p>地元企業の市内での拡大再投資を後押しすることは、地域の経済循環を促すとともに市内製造業の市外への流出を防ぐ効果もあることから、持続的な産業の振興につながると認識しております。</p> <p>つきましては、事業拡大を図り、より広い工業用地を求める地元企業や、増築等により事業拡大を図る市内製造業等に対し、企業誘致の情報を掲載している既存のホームページやパンフレットの充実による周知の強化と、当所や金融機関等と連携した情報発信の強化を要望いたします。</p>
<p>4. 事業用E Vの導入に係る助成金・補助金等の支援について</p>	<p>カーボンニュートラルの実現等のために国が推進する脱炭素化に向け、全国でE Vの普及が求められており、市でも「小田原市E Vを活用した地域エネルギーマネジメントモデル事業」に関する協定を締結する等、E V化を推進されているところと存じます。しかしながら、タクシーやバスといった地域の交通インフラを担う事業者は、まだまだコロナ禍の観光需要の大幅な落ち込みにより受けた打撃の取返しを図っている状況にあります。</p> <p>県により「令和6年度神奈川県事業用等E V導入費補助金」の公募が行われているところではございますが、地域内でのE V導入の実現に向け、市におきましても、県による支援策と併用できるような交通事業者向けの事業用E V導入（基地設備整備を含む）の助成金・補助金等による導入支援を要望いたします。</p>
<p>5. 燃料費高騰によるコスト上昇分の補填となる支援施策の実施について</p>	<p>県により、地域経済を支える重要な社会インフラである物流を維持するための「貨物運送事業者への燃料価格高騰に対する支援金」の公募が行われていたところではございますが、地域交通や観光インフラを担うバス事業者も同様に燃料価格高騰による打撃を強く受けております。</p> <p>市におかれましても、それら交通事業者向けに県による支援策と併用できるような燃料価格高騰に対する支援施策の実施を要望いたします。</p>
<p>6. 創業支援事業ならびに事業承継への支援について</p>	<p>当所では、地域のステークホルダーと連携し創業支援事業ならびに事業承継への支援を強化しております。代表的な事業としては、小田原箱根起業スクール、小田原・箱根ビジネスリカレントスクール、オープンネームでの事業承継支援「relay」との連携などを実施しておりますが、運営には事業経費が必要になります。</p> <p>つきましては、現状としても、小田原市から補助を受けて実施をしておりますが、地域経済の拡大・維持のために引き続き予算措置をいただきたく要望いたします。</p>

項 目	理 由
7. 副業人材活用支援事業について	<p>当所では、地域事業者の人材不足に対する課題に対応するため、様々な副業人材活用支援を展開しております。</p> <p>若年層やフリーランスが登録する副業人材マッチングプラットフォームの「Skill Shift」、地域大手企業である「ライオン㈱」従事者との副業マッチング、商社や金融機関OBが所属する「ABIC」との副業マッチングなど事業者のニーズに応じて副業人材活用を支援しております。</p> <p>つきましては、既に「Skill Shift」との連携事業については市から補助を受けて事業を実施しておりますが、地域の人材不足に対する課題解決に対応できるよう引き続き予算措置をいただくとともに、他の事業についても予算措置などご支援いただきたく要望いたします。</p>
8. 小田原市における大型工事・建設設計業務の発注、公募型プロポーザルについて	<p>市の大型工事・建設設計業務の発注、公募型プロポーザルについて、「小田原市地域経済好循環推進条例」が施行されておりますが、域内経済循環の確立のためにも、あらためて以下のとおり要望いたします。</p> <p>(1) 大型工事・建設設計業務の発注について</p> <p>市は、「小田原市市内事業者優先発注に係る実施方針」を定めており、全ての公共調達において、地域経済の好循環に資するため、市内事業者でできるものはできる限り市内事業者に発注するよう努めておられることと認識しておりますが、地域経済の活性化と地元企業育成のためにも市内業者の対応が難しい大型事業であっても、分離・分割発注を行うなど地元企業ができうる限り受注できますよう、引き続き取り組んでくださいますよう要望いたします。</p> <p>(2) 公募型プロポーザルの地元加点の一層の充実について</p> <p>市では、「小田原市市内事業者優先発注に係る実施方針」に基づく、各所管課が実施するプロポーザル方式の手続きを定めたガイドラインにより、市内業者の受注機会確保に向けた内容を明記していただいていること認識しておりますが、公平性、透明性及び客観性を担保しつつも、地元企業の更なる受注機会の確保と市内事業者の育成を更に強く推進するため、プロポーザルの地元加点の一層の充実を図られることを引き続き要望いたします。</p>
9. 公共工事の物価変動への柔軟な対応について	<p>公共工事の請負契約において、賃金水準や物価水準の変動に対応するため、スライド制度を設けられておりますが、スライド条項を柔軟に適用していただくこと、また交渉や調査などの場面におい</p>

項 目	理 由
	て、請負業者に過度な負担がかからないよう運用していただきますよう、要望いたします。

【まちづくり等】

項 目	理 由
10. 小田原駅周辺路上駐輪対策による歩行者等の安全確保について	<p>EPO、アプリの閉店後錦通り商店街、ダイヤ街商店会を中心に歩道に駐輪された自転車が数多く見受けられ、車両の往来および歩行者の安全を脅かし、商店街回遊の妨げともなっております。駐輪の場所としては、小田原駅東口自転車駐車場（東通り駐輪場）および小田原駅東口駐車場内の駐輪スペースがございますが、どちらも稼働率は70%台と伺っております。</p> <p>そこで小田原駅周辺へ自転車を利用して買い物をされる際には、自転車駐輪場の活用を促していただくため、駅周辺での案内の強化や短時間の買い物の際には無料で活用できるようにするなどの対策を実施していただきたい。</p> <p>また東口自転車駐輪場は、路上駐輪をされている場所から距離があるため、無料であっても駐輪場をあえて使わない自転車利用者も想定されます。現在錦通り商店街、ダイヤ街商店会にて建設が始まっていない民有地を一時的に借り上げるなどしていただき、短時間の買い物客専用の駐輪スペースとして利用するなど、買い物客の利便性向上と路上駐車抑制による安全確保に取り組めるよう、対応をしていただきたく要望いたします。</p>
11. 小田原地下街の民間移管について	<p>小田原地下街の経営体制については、当所より民間事業者への移管する方針と伺っており、平成31年度小田原市予算・政策に関する要望にて、今後の経営移管のスケジュールをお示しいただきたく要望させていただいた際には、今後中心市街地を取り巻く環境が変化していく中、将来的な検討事項の一つと認識されている、とのご回答を頂いております。</p> <p>要望から6年が経過し、その期間中には新型コロナウイルスの影響やミナカ小田原の開業など中心市街地の人流に大きな影響を与える事象がございました。また、今後小田原駅東口、西口ともに大型の再開発案件があり、ますます中心市街地を取り巻く環境は変化していくと考えております。</p> <p>これらの変化を踏まえ、小田原地下街の民間事業者への経営移管も含めた将来の経営体制の展望につきまして、時間軸も含めたスケジュールをあらためてお示ししていただきたく要望いたします。</p>

項 目	理 由
12. 防災連携協定の更なる推進について	<p>市では、小田原市自治会総連合及び小田原箱根商工会議所の三者間において、平常時の災害への備えにより、災害発生時において相互に連携を滞りなく行えるよう、包括的な連携協定を締結しております。</p> <p>この締結により市内各所で防災連携協定の締結が進んでおりますが、未だ数多くの地域で協定を締結していない空白地域が存在しております。災害発生時には地域ごとに異なる条件を勘案したアクションプランが必要になることと併せ、市内全域が被災することも予想されることから地域間の連携と協力も必要となります。</p> <p>つきましては、協定の空白地域の解消に向け三者間において連携を強化するとともに、協定締結をより一層推進していただくよう要望いたします。</p>
13. 海を活かしたまちづくりについて	<p>市では、早川エリア周辺の関連する詳細施策の「地域特性を生かしたまちづくり」として「水産市場の再整備」「美食のまち」の事業化を見据え「エリアブランディング構想」を令和6年3月に公表されました。</p> <p>地域の様々なステークホルダーで策定した同構想を実現することは早川地区のみならず市内の観光振興に大きく寄与すると考えております。</p> <p>つきましては、同構想の実現に向け今後どのような体制やスケジュールで事業を進めていただけるのかお示しくくださいますよう要望いたします。</p>
14. スポーツによるまちづくり・地域活性化について	<p>市におかれましては、既存スポーツ施設の適切な管理運営や新たなスポーツ施設の整備について公民連携の視点も踏まえた小田原市スポーツ施設整備基本計画を令和7年3月末までに策定されると伺っております。</p> <p>また、当所では小田原市体育協会、小田原市観光協会と連携し、スポーツ振興による地域活性化、まちづくりにおけるプラットフォームとしてのスポーツコミッション設立を目指し、手始めに小田原市体育協会では各種競技団体の大会開催時に歓迎を表す旗を掲げることや三者が連携したスポーツ情報の発信といった取り組みを実施し、スポーツによる経済振興を図るべく活動しております。</p> <p>つきましては、今後スポーツ施設等のハード面の推進のみならず、スポーツイベントやスポーツの振興によるまちづくりの推進といったソフト面の充実を図るべく、スポーツコミッション設立に向けた各種取り組みを推進して頂きますよう要望いたします。</p>

項 目	理 由
15. エネルギー政策における地域経済循環について	<p>市におかれましては、環境省の「脱炭素先行地域」へ東京電力パワーグリッド株式会社小田原支社と共同提案して選定され、その計画において太陽光発電の導入推進、市内の電力地産地消プラットフォーム（AEMS）構築、EV充電器導入による「EV宿場町」の推進といった事業を進められ、各事業においてはその適性にあった小田原市内外の民間事業者が選定されていると存じます。</p> <p>EV宿場町については、「小田原市EV宿場町コンソーシアム」を設立され地元事業者もコンソーシアムに参加して事業を進められておりますが、主要企業は市外の企業であり、地元企業が参加しづらい状況が見受けられます。</p> <p>事業内容によっては地元事業者では受けきれない内容もあることは承知しておりますが、今後は地元事業者が主体となって推進可能な事業については地元事業者を中心に推進していただくとともに、域外事業者でなければ事業推進が困難な事業であっても、導入後の運営管理については地元事業者が参加できるようにするなどしていただき、エネルギー施策に関しても地域経済循環を実現できるよう要望いたします。</p>
16. デジタルに関する要望について	<p>市では、令和4年に小田原市DX推進計画を策定し、デジタル技術の活用による地域経済の好循環、地域課題の解決を目指しておられます。</p> <p>その中では、『民間の力を取り入れた』デジタル技術の活用を積極的に展開する」と述べられており、その一環として小田原市デジタルイノベーション協議会等を設立されているものと理解しております。</p> <p>つきましては、今後「実力あるデジタル都市」を目指される際にも政策を具体化する前の段階において同協議会を活用するなど、民間等の知見を積極的に引き出し、政策に反映するような取り組みを進めていただきますよう、要望いたします。</p>
17. 伊豆湘南道路の早期具現化等について	<p>当所は平成10年発足当時から伊豆湘南道路建設促進期成同盟会等に参加し、伊豆湘南道路の早期事業化に向けた活動を行っております。</p> <p>令和5年度は2月に伊豆湘南道路シンポジウム実行委員会主催、伊豆湘南道路建設促進期成同盟会の共催としてシンポジウムが開催され、多くの聴衆が集まったところでございます。</p> <p>また、県の委員会は、令和5年5月31日に開催され、広域道路ネットワークにおける位置づけの整理や技術的な課題等への対応などが、今後の検討の進め方として示されました。</p>

項 目	理 由
	<p>つきましては、県に対し、課題を早急に整理し、国へ早期具現化を働きかけるよう促していただくことを要望いたします。</p> <p>また、勃発的に発生する災害に対し一刻も早くその整備効果を上げていく必要があることから、並行する「広域農道小田原湯河原線」については早期整備を県に強く働きかけていただくよう併せて要望いたします。</p>
<p>18. 県西地域一体となった移住促進策について</p>	<p>現在、県西地域における各市町で移住政策が取り組まれており、小田原市においても空き家バンクの運用やシティプロモーションのためのホームページサイトの開設など様々な取り組みがなされています。</p> <p>県西地域2市8町の行政による移住政策について、より効果的な移住・定住促進を図るためには広域での連携協力が必要だと思われまます。</p> <p>つきましては、県西地域全体で一致協力した移住促進策を進めていただきますよう要望いたします。</p> <p>また、広域的な空き家の有効活用等を通じ市町の活性化を図ることを目的に運営している「県西空き家バンク連絡会」への協力を要望いたします。</p>
<p>19. PPP／PFIなど民間提案の手法を活用した官民一体の取り組みの一層の推進について</p>	<p>公共施設等の整備等に関する事業について、民間事業者の側から公共施設等の管理者等に対し提案できる制度がPFI法において設けられております。</p> <p>PFIなどPPPのスキームを活用した官民連携手法は、市にとっては公共施設等の有効活用やコストの削減が期待でき、事業者にとっては事業機会の確保、地域への主体的な貢献に繋がるなど、今後の地域経済の持続的な発展に資するものと考えますので、以下のとおり要望いたします。</p> <p>(1) 小田原市新しい学校づくり推進基本方針や小田原市学校施設中長期整備計画で示されている学校施設の改修、改築の場面などにおいても有用な手法と考えますので、幅広い分野において提案・立案ができる環境整備を積極的に推進していただき、民間の創意工夫等を活用するよう要望いたします。</p> <p>(2) PPPの一種である包括管理業務において、市保有の公共施設に係る保守管理業務を包括的に委託することによる、公共施設の管理における業務水準の向上と維持修繕工事の優先度付けのための点検データの集積を目的として、公共施設包括管理業務委託プロポーザルを実施されております。</p>

項 目	理 由
	<p>選考時には提案事業者の地域貢献や市内事業者の活用等も重視されていたこと認識しておりますので、今後も他業務において包括管理を検討しているようであれば、事前に地元企業及び協同組合等の意見収集を行ったうえで、地域でお金を回す地域循環を十分配慮いただき、地元企業や協同組合ができる限り受注できるように工夫していただきますよう、引き続き要望いたします。</p>

令和6年度 箱根町予算・政策に関する要望について  
(箱根町へ8月21日提出)

項 目	理 由
<p>1. 伝統工芸の担い手に対する一層の支援について</p>	<p>町は箱根寄木細工を町内外に広く宣伝し、地場産業の活性化、地域の魅力向上及び誘客促進を図るため、箱根寄木細工を購入し、広告宣伝活動を行う者に対し、箱根寄木細工を購入した経費の一部を補助する箱根寄木細工PR補助金を公募されていることを認識しております。</p> <p>また、箱根寄木細工の魅力を広く周知するプロモーションムービーを公開する等、持続可能なブランド化に向けて積極的に取り組んでおられます。</p> <p>しかしながら、箱根寄木細工を購入し、広告宣伝活動を行う者に対する補助金もさることながら、伝統工芸の担い手がいなければ、更なる木工業の発展は叶いません。</p> <p>つきましては、リアル・オンライン問わず展示会・販売会への出展費用や製造機械購入の補助など、伝統工芸の担い手に対する一層の手厚い支援を要望いたします。</p>
<p>2. 燃料費高騰によるコスト上昇分の補填となる支援施策の実施について</p>	<p>県により、地域経済を支える重要な社会インフラである物流を維持するための「貨物運送事業者への燃料価格高騰に対する支援金」の公募が行われていたところではございますが、地域公共交通や観光インフラを担うバス事業者も同様に燃料価格高騰による打撃を強く受けております。</p> <p>町におかれましても、それら交通事業者向けに県による支援策と併用できるような燃料価格高騰に対する支援施策の実施を要望いたします。</p>

項 目	理 由
<p>3. 伊豆湘南道路の早期具現化について</p>	<p>当所は平成10年発足当時から伊豆湘南道路建設促進期成同盟会等に参加し、伊豆湘南道路の早期事業化に向けた活動を行っております。</p> <p>令和5年度は2月に伊豆湘南道路シンポジウム実行委員会主催、伊豆湘南道路建設促進期成同盟会の共催としてシンポジウムが開催され、多くの聴衆が集まったところでございます。</p> <p>また、県の委員会は、令和5年5月31日に開催され、広域道路ネットワークにおける位置づけの整理や技術的な課題等への対応などが、今後の検討の進め方として示されました。</p> <p>つきましては、隣接する市町と連携し、県に対し、課題を早急に整理し、国へ早期具現化を働きかけるよう促していただくことを要望いたします。</p>
<p>4. 公共工事に係る地元業者受注機会の確保及び地元業者育成について</p>	<p>毎年箱根町におかれましては、公共工事の発注を地元業者に格段の配慮をいただき、ありがとうございます。</p> <p>地域経済の活性化と地元企業育成のために以下のとおり要望いたします。</p> <p>(1) 引き続き、大型案件等の対応につきましては、第二次事業者ではなく、分離・分割発注など発注方式の工夫により地元業者の受注機会の確保を図っていただくとともに事業量を拡大していただきたい。</p> <p>(2) ここ数年の極めて厳しい物価高騰のなか、工事における物品等に影響があった場合、柔軟な物価高騰対策について進めていただきたい。</p> <p>(3) 地域の担い手確保のため、人口減少を防ぐ様々な対策を進め、地元企業の人材が確保できるよう、ご協力いただきたい。</p>

令和6年度神奈川県予算・政策に関する要望  
(神奈川県商工会議所連合会を通じて神奈川県に10月30日提出)

I 中小企業・小規模事業者支援及び地域活性化施策の充実・強化

我が国の中小企業・小規模事業者は、全企業数の99.7%を占め、雇用の約7割を担い、地域に密着した経営を行っております。地域経済の活性化と県内経済の発展・成長のためには、中小企業の活力強化、持続的発展が不可欠です。

そのためには、原材料や労務費のコストアップ分の価格転嫁を可能にする大企業等との下請取引の適正化を図るなど、公正なビジネス環境の整備促進が求められます。また、引き続き原油・原材料・物価高騰の影響に直面する事業者への支援も必要です。

コロナ禍後の需要回復に伴う人手不足が深刻な状況となっています。産業人材のマッチングに加え、女性活躍の推進や外国人材の積極的な受入れ、高度な技能を持つ産業人材の育成による労働力確保が求められます。

中小企業が、生産性向上を通じた付加価値拡大など自己変革を遂げるためには、デジタル化の推進や、創業・新たなビジネスの創出・事業再構築、事業承継などに挑戦し続けることが必要であり、こうした挑戦を積極的に後押ししていくことが求められます。

観光は、関連する産業の裾野が広く、需要拡大や雇用創出など地域経済の活性化に大いに寄与します。訪日客数の過去最高記録の更新が続く中、本格的な需要の回復が期待される一方で、一部ではオーバーツーリズムの問題も顕在化しており、今後は地域経済の活性化と両立する持続可能な観光地域づくりが求められます。

脱炭素社会の実現に向けて、中小企業の約7割が取組みを進めていますが、資金面での課題は大きく、取組みの加速化のために更なる支援が求められます。また、中小企業を取組みを広げていくためには、脱炭素化の必要性や取組み内容についての更なる普及啓発が必要です。

2027年に開催される「GREEN×EXPO2027」は、我が国で37年ぶりとなる最上位A1クラスの国際園芸博覧会です。その成功に向けては、広く県民を巻き込んだ機運醸成が求められます。そこで、県におかれては、本要望に盛り込んだ項目について、積極的かつ強力な後押しをお願いします。

【重点要望】

1 公正なビジネス環境の整備促進

- (1) パートナシップ構築宣言の実効性向上に向けた支援
- (2) 下請取引の適正化に向けた支援の拡充・強化
- (3) 価格転嫁に関する消費者の理解促進

2 原油・原材料・物価高騰の影響に直面する事業者への支援

- (1) 原油・原材料・物価高騰の影響を強く受けた事業者への支援
- (2) 中小企業・小規模事業者の売上回復に向けた支援

3 多様な人材の確保・育成のための支援

- (1) 人材確保のための支援の拡充・強化
- (2) 女性及び外国人材の活躍推進と労働参画の加速化
- (3) 産業人材育成・確保のための取組みの拡充・強化

- 4 中小企業・小規模事業者の自己変革への挑戦支援
  - (1) デジタル活用による生産性向上への支援
  - (2) 創業・新たなビジネスの創出・事業再構築への支援
  - (3) 円滑な事業承継への支援
- 5 地域経済の活性化につながる観光地域づくりの推進
- 6 脱炭素社会の実現に向けた対応への支援
- 7 「GREEN×EXPO2027」の成功に向けた機運の醸成

#### 【要望項目】

- 8 災害発生時の事業継続力強化に向けた支援
- 9 神奈川県中小企業・小規模企業活性化推進計画（第4期）の着実な推進と小規模企業に特化した支援策の充実・強化
- 10 商店街の活性化・活力向上に向けた支援
- 11 納得感のある最低賃金水準の決定と制度の抜本的見直し等の国への働きかけ
- 12 公共事業費予算の確保と地域内企業への優先発注
- 13 地場産業の一層の振興に向けた支援策の充実・強化
- 14 産・学・公連携を推進する体制の充実・強化、知的財産の創造・活用の促進
- 15 企業誘致の一層の促進と支援策の充実・強化
- 16 特区制度の積極的活用による地域経済活性化施策の充実・強化
- 17 海洋ツーリズムの構築を目指す「相模湾からの経済活性化会議」への協力・支援

## II 産業活動の基盤となる道路・鉄道等の社会資本の整備・充実

中小企業・小規模事業者の産業活動が円滑に行われるためには、その基盤となる道路網や鉄道網等の社会資本の整備・充実、既存社会資本の再整備が欠かせないものとなっています。

道路は、社会経済の発展や災害時において大きな役割を果たしていますが、県内における道路整備状況は十分でなく、県内各所では広域交通による容量を超える流入や都市交通の集中による激しい交通渋滞が生じています。また、働き方改革関連法の施行により、2024年4月から自動車運転手の時間外労働時間の上限規制が開始され、より一層の物流の効率化が求められていることから、幹線道路網の更なる整備促進が不可欠です。交通渋滞の解消と未来に向けた交通網の整備は、社会経済を支える重要なインフラとして進めていく必要があります。

更に、鉄道網の整備は道路網の整備と並んで、社会資本整備の基本であり、環境面の負荷も少なく、大量で高速の人・モノの移動を可能にする鉄道網の整備、ネットワーク化に関して今後も着実な推進が必要です。

県では法人二税の超過課税延長に伴う財源を活用し、県内経済の持続的な発展に向けた幹線道路の整備を推進するとしていますが、更なる社会資本の整備・充実に向けて、次の項目について要望します。

#### 【要望項目】

- 1 主要幹線道路網の整備及びネットワーク化の促進
  - (1) 首都圏中央連絡自動車道（神奈川県区間の高速横浜環状南線・横浜湘南道路）及びアクセス道

## 路の整備促進

- (2) 新東名高速道路、厚木秦野道路の早期建設とアクセス道路となる主要地方道の渋滞区間や危険箇所の改善
- 2 頻発・激甚化する大規模自然災害の予防・減災のための社会資本の再整備の促進
- 3 鉄道網の整備及びネットワーク化の促進
  - (1) リニア中央新幹線・神奈川県駅（仮称）整備の促進
  - (2) 交通政策審議会答申「東京圏における今後の都市鉄道のあり方」（平成28年4月）対象プロジェクト路線（本県関係6路線）の早期実現
  - (3) 東海道新幹線新駅の設置促進とツインシティ構想の早期実現
  - (4) 相模線複線化の早期実現

## Ⅲ 商工会議所の中小企業・小規模事業者に対する経営支援体制の充実・強化

中小企業が、経営の革新や改善、持続的発展を遂げていくには、何よりも身近に“良き相談相手”が必要です。この役割を担うのが、商工会議所等に配置されている「経営指導員」であり、地域振興事業費補助金として予算措置されています。

現在、県内14商工会議所では、この補助金等を活用し、約140名の経営指導員が、中小企業のニーズに応え、年間72,000件を超える日常相談・指導を行うなど、経営支援の中核を担うとともに、商店街振興、観光振興等の地域振興の支援にも関わり実績を上げています。

そうした中、その業務密度は年々高まり、特に、平成26年度の小規模事業者支援法の改正により、従来の経営改善普及指導に加え、新たに経営発達支援が業務となるなど、よりきめ細かく事業者に寄り添った伴走型支援を実施しています。また、令和元年7月からは中小企業強靱化法に基づく中小企業の事業継続力強化支援が新たに業務とされ、経営指導の現場は慢性的なマンパワー不足にあります。

こうした中、我が国経済は、新型コロナウイルス感染症5類移行後、約30年ぶりの物価上昇と賃上げという「停滞から成長」への転換局面を迎え、中小企業は生産性向上など自己変革の岐路に立たされています。こうした中小企業をきめ細かく支えていくために、商工会議所の伴走支援体制の拡充が必要です。

県においては、地域振興事業費補助金の担う役割を十分に考慮のうえ、経営指導員の経営支援がより積極的に展開できるよう、商工会議所の経営指導員体制の拡充に向け、同補助金の確保・充実に要望します。

このほか、経営指導員による中小企業に対する商工会議所の経営支援体制の充実強化に向けて、平成23年度に設置したかながわ中小企業成長支援ステーションの商工会議所支援機能の強化や、地域連携推進事業費補助金の継続・充実、地域県政総合センターと商工会議所等の更なる機関連携強化と体制整備などについても要望します。

### 【重点要望】

- 1 経営指導員の役割、多様化・増大する業務等に対応した「地域振興事業費補助金」の確保・充実

### 【要望項目】

- 2 商工会議所の経営支援力の強化に向けた一層の支援（かながわ中小企業支援ステーションの商工

会議所支援機能の強化)

- 3 地域連携推進事業費補助金の継続・充実
- 4 地域県政総合センターと商工会議所等との更なる機関連携強化と体制整備
- 5 経営発達支援計画の認定・報告手続きの簡素化及び実行を促す支援策の拡充の国への働きかけ
- 6 商工会議所会館整備への財政支援の継続・拡充

【個別要望】

項 目	理 由
1. 工芸技術所による工芸技術者への継続的な支援と、創業支援や後継者育成における連携、工芸技術所の更なる機能強化について	<p>専門的な知識と機械を所有する工芸技術所は、ものづくりに必要な機器の貸出や、技術指導、若手工芸技術者に交流の場を提供しています。また、創業予定者や後継者等を対象に、所内に共同で利用できるスペースを提供していると認識しております。</p> <p>当所でも「小田原箱根起業スクール」や「小田原・箱根ビジネスリカレントスクール」を開催し、創業支援や後継者育成を積極的に行っております。地場産業の発展は更なる地域活性化にもつながると考えますので、相互に連携を取り合いながら手厚い創業支援や後継者育成を進めていかれるよう配慮をお願いいたします。</p> <p>また、木工業のランドマーク的存在である工芸技術所による工芸技術者への継続的な支援を引き続きお願いするとともに、小田原・箱根の木工業の発展のためにも、専門的な知識を持った職員の配置についてご高配いただき、展示会・販売会への出展支援や技術指導、デザイン指導などの専門的な知識と機械を所有する工芸技術所の更なる機能強化も併せて要望いたします。</p>
2. 伊豆湘南道路の早期具現化等について	<p>当所は平成10年発足当時から伊豆湘南道路建設促進期成同盟会に参加し、また、昭和56年に発足した小田原真鶴道路建設促進協議会、令和3年7月に名称改称された「伊豆湘南道路神奈川県西湘地区建設促進協議会」などを通じ、伊豆湘南道路の早期事業化に向けた活動を行っております。</p> <p>令和5年度は2月に伊豆湘南道路シンポジウム実行委員会主催、伊豆湘南道路建設促進期成同盟会の共催としてシンポジウムが開催され、多くの聴衆が集まったところでございます。</p> <p>また、県の委員会は、令和5年5月31日に開催され、広域道路ネットワークにおける位置づけの整理や技術的な課題等への対応などが今後の検討の進め方として示されました。</p> <p>つきましては、課題を早急に整理し、国に対し早期具現化を働きかけるよう要望いたします。</p> <p>また、勃発的に発生する災害に対し、一刻も早くその整備効果を上げていく必要があることから、並行する「広域農道小田原湯河原線」などの整備も合わせ、部分開通などの手法もご検討くださるよう要望いたします。</p>

項 目	理 由
<p>3. 小田原土木センターの機能強化等について</p>	<p>県西地域における開発許可及び建築確認申請等の許認可業務について、審査体制の強化や業務効率化の観点から県西土木事務所（足柄上郡開成町）に集中させているとの方針は以前より伺っているところではございます。</p> <p>実際に利用している事業者の視点から小田原土木センター利便性の高い拠点としていただくために、以下のとおり要望いたします。</p> <p>(1) 令和6年度要望（令和5年度提出）において小田原土木センター（以下、センター）について、「引き続き、県民の皆様への利便性の維持向上に努めてまいります。」との回答をいただいておりますが、事前予約制の窓口や電話やメール等による相談対応では、利便性があるとは言えないと考えております。</p> <p>つきましては、センターの利便性について、県としてどのような具体的方策により維持向上を図る考えなのかお示しいただきますよう要望いたします。</p> <p>(2) 県の建設行政における許認可申請手続きのDX化を推進し、建築確認等各種手続きを電子申請にて対応していただきたい。</p> <p>また、要望するセンターの機能を補完するという意味でも県西土木事務所が判定した道路種別の情報をインターネットで閲覧できるシステムの構築を早急に進めていただきますよう要望いたします。</p>
<p>4. 商工業者に関する施策の連携と情報提供体制の強化について</p>	<p>県におかれましては、商工業者に対する施策を多くの部局より実施していただけることと存じます。その中で産業労働局管轄の商工業者に関する施策につきましても、連携しての取り組みや策定にあたって意見を汲んでいただいている上、事前に情報提供いただいております。商工業者へのタイムリーな情報提供や十分な申請等のサポートを実施することができております。しかし、他部局が実施する商工業者に関連する施策については連携や情報提供が十分になされていない状況が見受けられます。</p> <p>つきましては、商工業者全般を総合的に支援する商工会議所として県にて実施される商工業者に関する重要な施策について、実施部局にかかわらず商工会議所との連携および事前に情報提供いただくなどの体制を強化していただきますよう要望いたします。</p>
<p>5. 燃料費高騰によるコスト上昇分の補填となる支援</p>	<p>県では、地域経済を支える重要な社会インフラである物流を維持するため「貨物運送事業者への燃料価格高騰に対する支援金」の公</p>

項 目	理 由
施策の実施	募が行われていたところではございますが、貨物運送事業者のみならず、地域公共交通や観光インフラを担うバス事業者も同様に燃料価格高騰による打撃を強く受けていることから、それら交通事業者向けにも燃料価格高騰に対する支援施策の実施を要望いたします。

令和6年度税制改正に関する要望  
(牧島かれん衆議院議員へ11月20日提出)

中小企業の「稼ぐ力」の強化に向けた税財政支援を！

2024年11月  
小田原箱根商工会議所  
日本商工会議所

1. 昨年度の補正予算を上回る規模の中小企業対策予算の確保
 

中小企業は、物価高や金利上昇、人手不足などに直面し、賃上げ実施企業の約6割が防衛的賃上げという厳しい状況。賃上げの原資確保には生産性向上が急務。

➤昨年度の補正予算を上回る規模の中小企業対策予算の確保を
2. 中小企業の設備投資を後押しする税制の確実な延長・拡充
 

中小企業の「稼ぐ力」の強化を後押しする税制は、確実に延長・拡充すべき。

➤中小企業経営強化税制の延長と控除率引上げ、対象設備拡充（建物を追加）を

➤中小企業投資促進税制の延長を

➤償却資産に係る固定資産税は本来廃止すべき。即刻廃止できないのであれば、廃止までの間、現行の負担軽減措置の延長・拡充や新たな措置の創設により税負担の軽減を
3. 中小法人の軽減税率は税率15%のまま延長・恒久化
 

中小企業の資金繰り負担を緩和するとともに、財務基盤の強化と前向きな成長投資を支える重要な税制。税負担の増加は新たな成長投資に水を差す。

➤中小法人の法人税率の軽減措置（19%⇒15%）の延長・恒久化を
4. 事業承継税制の延長・恒久化、役員就任要件の撤廃・見直し
 

現行の特例措置は、地域経済を牽引する“地域貢献企業”の円滑な経営承継・事業継続や、若返りを契機とした生産性向上・付加価値拡大に貢献する。中小企業の経営承継は永続的な課題であり、恒久化が望ましい。

➤事業承継税制一般措置の拡充を

(対象株式制限(2/3)の撤廃、猶予割合の100%への引上げ等)

➤役員就任要件(3年)の撤廃・見直しを

#### 5. 地域における民間投資拡大に資する税制の延長・拡充

地域の稼ぐ力を強化するうえで、産業基盤の強化や新たな産業創出・転換が必要。

➤地域未来投資促進税制の延長と控除率の引き上げを

地域に貢献したい企業と地方自治体が一体となって地方創生を実現する。

➤地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)の延長と拡充(本社所在地自治体への寄附の対象化)を

### (3) 調査・研究

ア	件名	第52回・第53回景況調査
	実施期間	令和6年8月、令和7年2月
	内容の概要	管内商工業者の景況状況を把握するための資料とする (1) 景況感についての調査 (2) 経営状況についての調査 (3) 経営上の問題点についての調査
	調査発表	当所会報令和6年11月号同封物にて発表(第52回) 当所会報令和7年5月号同封物にて発表(第53回)
イ	件名	第80回小田原市主要商店街流動客調査
	実施期間	令和6年12月14日(土)
	内容の概要	小田原市中心部主要商店街及び小田原駅東西自由連絡通路の流動客の状況を把握し、商業施設及び中小商業の経営改善対策の資料とする (1) 市内主要地点における時間帯別流動状況の調査
	調査発表	調査の集計・分布結果を関係機関・団体等に配布する他、当所会報令和7年2月号付録にて発表
ウ	件名	LOBO調査
	実施期間	毎月(7業種7事業所)
	内容の概要	業況・売上・採算・仕入単価・販売単価・従業員・資金繰りの状況などを調査

### (4) 広報

ア 刊行

- (ア) 定期刊行
- ・会報「商工小田原箱根」発行
  - 刊行期日 毎月1回20日発行／1月15日新春特別号
  - 掲載内容 経済問題、諸制度、諸事業、経営指導など
  - 発行部数 3,200部

- 配付先 会員、特定商工業者、関係諸団体、各地商工会議所等に配付
- ・PRペーパー「商工会議所通信」発行
    - 刊行期日 毎月1回1日発行
    - 掲載内容 セミナー、講習会、イベントなど
    - 発行部数 500部
    - 配布先 税務署、県、市等に配布
  - ・メールマガジン
    - 刊行期日 毎月第2・第4月曜日配信
    - 掲載内容 セミナー、講習会、イベントなど
    - 配信数 1,000件
    - 配信先 会員に配信

イ 会頭記者会見 会頭による記者会見  
令和6年4月19日

## (5) 証明・鑑定・検査

ア 証明

(ア) 貿易関係証明（該当国のみ）

国名	品名	食料品	食料品以外	合計
中華人民共和国		0	18	18
台湾		82	0	82
タイ		0	5	5
マレーシア		0	4	4
アラブ首長国連邦 (UAE)		1	0	1
カナダ		17	0	17
合計		100	27	127

- (イ) 衛生証明 33件
- (ウ) サイン証明 0件
- (エ) その他貿易関係証明書 2件
- (オ) 国内取引関係証明 0件
- (カ) 会員証明 0件
- (キ) 特定退職金共済制度加入証明 54件

## (6) 信用調査

ア 信用調査 他商工会議所より当地方業者に対する調査 なし  
当所より他商工会議所に対する調査 なし

## (7) 各種行事

### ア 一般行事

行事の名称	主催者	開催日	会場等	
からくり箱フェスタ2024	からくり創作研究会	4 / 1 ~ 3 / 31	小田原市内・箱根町内	後援
小田原おでんサミット2024	小田原おでん会	4 / 6 ~ 7	小田原城二の丸広場	後援
神静民報社ゴルフ大会	(株)神静民報社	5 / 9	富士屋ホテル 仙石原ゴルフコース	協賛
QCサークル関東支部神奈川地区行事 QCサークル関東支部神奈川地区		5月~11月	神奈川県内	後援
第11回ビジネスマッチングwithかながわ8信金 神奈川信用金庫協会 他		6 / 5	大さん橋ホール	後援
若年者雇用支援事業「保護者のための就活セミナー」 小田原市		6 / 15	おだわら市民交流 センターUMECO	共催
第27回「園児たちの夢の七夕2024」 お堀端商店街振興組合		6 / 29 ~ 7 / 9	お堀端通り	後援
第18回西さがみ俳句大会	(株)神静民報社	7月~9月	公募・表彰	協賛
第39回箱根馬子唄日本一全国大会 箱根馬子唄保存会		7 / 7	横浜市保土ヶ谷公会堂	後援
中小企業シンポジウム	神奈川県弁護士会	7 / 19	神奈川県弁護士会館 及びオンライン	後援
第15回温泉ソムリエ認定セミナー 箱根プロモーションフォーラム		7 / 24	小田急山のホテル	後援
温泉ソムリエ地域活性化マスター 箱根プロモーションフォーラム		7 / 25	小田急山のホテル	後援
第31回小田原みなとまつり 小田原みなとまつり実行委員会		7 / 31	小田原漁港	協賛
はたらく女子会@ラボ VOL.6 ~女性起業家交流会~ 小田原市		8 / 3	おだわら イノベーションラボ	共催
第61回小田原地方官公庁親睦野球大会 (株)神静民報社		8 / 24 ~ 10 / 12	上府中公園小田原球場 酒匂川スポーツ広場 その他	後援
令和6年度特定課題講座 神奈川県かながわ労働センター湘南支所		8 / 30	おだわら市民交流 センターUMECO	後援
第7回小田原藩龍馬塾 小田原藩龍馬会		8 / 30 ~ 9 / 1	報徳二宮神社	後援
第20回外郎売の口上まつり 外郎売の口上研究会		9 / 1	小田原三の丸ホール	協賛

行事の名称 主催者	開催日	会場等	
HAKONATURE2024年度 プロモーションイベント「HOME FOREST」 小田急電鉄(株)エリア事業創造部	9/7~29	箱根エリア各地	後援
テクノ・オペラショウ「裸の金次郎」 小田原オペラ オペラ季節館	9/8	小田原三の丸ホール	後援
第2回 2024 OUR KANAGAWA 私たちの神奈川 展示・商談会 Our Kanagawa 実行委員会	10/3	横浜産貿ホール	後援
小田原おでん祭り2024 小田原おでん会	10/5~6	小田原城二の丸広場	後援
二宮金次郎・尊徳翁ご生誕祭237年祭 二宮金次郎ご生誕祭237年実行委員会	10/9	多古しらさぎ会館	後援
第57氷彫刻技術コンクール小田原大会 (一社)全日本司厨士協会関東総合地方本部 神奈川県本部小田原支部	10/14	お堀端通り	後援
インバウンドセミナー 日本政策金融公庫小田原支店	10/18	おだわら市民交流 センターUMECO	後援
第63回外国人による日本語弁論大会 小田原市	10/19	小田原三の丸ホール	後援
星槎箱根フェスティバル2024 星槎箱根仙石原総合型地域スポーツクラブ	10/19~20	星槎箱根キャンパス	後援
おだわらハロウィン2024 小田原市商店街連合会	10/26	ハルネ小田原内 特設会場	後援
小田原・箱根「木・技・匠」の祭典 小田原・箱根「木・技・匠」の祭典実行委員会	11/16~17	小田原三の丸ホール	後援
小田原男声合唱団 第53回定期演奏会 小田原男声合唱団	11/22	小田原三の丸ホール	後援
トラック運送事業者向け原価計算セミナー 東京海上日動火災保険(株)	11/25	小田原合同庁舎	後援
労働講座「あなたの職場の身近な話題」 小田原市	11/28	おだわら市民交流 センターUMECO	共催
外国人材雇用促進のマッチングin HAKONE 箱根DMO (一般財団法人 箱根町観光協会)	11/28	湯本富士屋ホテル	後援
ODAWARAえっさホイおどり2024 ODAWARAえっさホイおどり実行委員会	11/30~12/1	小田原三の丸ホール ミナカ小田原 小田原駅周辺各所	後援
国際シンポジウム 小田原海外市民交流会	1/25	小田原三の丸ホール	後援
国際フェスティバルIN星槎 星槎箱根仙石原総合型スポーツクラブ	1/26	星槎箱根キャンパス	後援

行 事 の 名 称 主 催 者	開 催 日	会 場 等	
令和6年度女性活躍推進講演会 小田原市	2 / 4	オンライン	共催
第61回小田原梅まつり俳句大会 小田原俳句協会	2 / 9	おだわら市民交流 センターUMECO	協賛
小田原城アートNOW2025 小田原文化芸術協会	2 / 19 ~ 3 / 2	小田原三の丸ホール (展示室)	後援
エスカレーターマナーアップキャンペーン (有) 足柄リハビリテーションサービス (一社) 神奈川県西地区リハビリテーション協議会	2 / 15	ダイナシティ ウエスト	後援
箱根スイーツコレクション2025 小田急箱根ホールディングス	2 / 28 ~ 4 / 23	箱根エリアの美術館、 ホテル、飲食店等	後援
U12 CHAMPION SHIP IN 箱根 星槎箱根仙石原総合型スポーツクラブ	3 / 8 ~ 9	星槎レイクアリーナ箱根	後援
第38回小田原尊徳マラソン大会 (公財) 小田原市体育協会	3 / 9	小田原アリーナ	協賛
令和6年度若年者雇用支援事業「ジョブスタディ」 小田原市	3 / 11	おだわら市民交流 センターUMECO	共催
第29回小田原かまぼこ桜まつり 小田原蒲鉾協同組合	3 / 29 ~ 30	小田原城二の丸広場	後援

#### イ 観光関係

行 事 の 名 称 主 催 者	開 催 日	会 場 等	
第60回小田原北條五代祭り (一社) 小田原市観光協会	5 / 3	小田原城址公園 小田原三の丸ホール 市内パレード	後援
第35回小田原酒匂川花火大会 (一社) 小田原市観光協会	8 / 3	酒匂川スポーツ広場	後援
第33回小田原ちょうちんまつり (一社) 小田原市観光協会	10 / 14	小田原城址公園 小田原市観光交流センター	後援
第40回一夜城祭り (一社) 小田原市観光協会	10 / 27	石垣山一夜城 小田原城二の丸広場	後援
第74回小田原城菊花展 (一社) 小田原市観光協会 小田原清香会	11 / 2 ~ 17	小田原城址公園本丸広場	後援
第55回小田原梅まつり (一社) 小田原市観光協会 曾我別所梅まつり観光協会	2 / 1 ~ 24	曾我梅林 小田原城址公園	後援

(8) 技術・技能の普及検定

ア 検 定

(ア) 珠 算

回 数	期日・会場	級別		1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	9級・10級	合計
		人数											
231回	R6. 6. 23 商工会議所	受験者数		7	8	9	4	3	5	3	0	3	42
		合格者数		1	0	2	1	1	2	2	0	3	12
232回	R6. 10. 27 商工会議所	受験者数		4	10	7	5	4	6	1	2	1	42
		合格者数		1	3	4	2	2	5	1	2	1	21
233回	R7. 2. 9 商工会議所	受験者数		6	8	6	4	3	1	3	2	6	39
		合格者数		0	1	5	1	0	0	2	2	6	17
合計		受験者数		17	26	22	13	10	12	7	4	10	121
		合格者数		2	4	13	4	3	7	5	4	10	52

(イ) 簿 記

回 数	期日・会場	級別		1級	2級	3級	合計
		人数					
167回	R6. 6. 9 商工会議所	受 験 者 数		6	26	37	69
		合 格 者 数		0	4	16	20
168回	R6. 11. 17 商工会議所	受 験 者 数		6	24	36	66
		合 格 者 数		0	4	9	13
169回	R7. 2. 23 商工会議所	受 験 者 数			15	43	58
		合 格 者 数			4	7	11
合計		受 験 者 数		12	65	116	193
		合 格 者 数		0	12	32	44
		合 格 率		0	18.4	27.5	22.7

(ウ) 日商ネット試験

回数・期日	試 験 名	受験者数	合格者数
随 時	日商P C	5	2
	原価計算初級	2	2
	簿記初級	262	112
	リテールマーケティング	13	8

認定会場：P Cアカデミーオーシャン、パソコン教室 岸、パソコンくらぶおぐぼそ

**(9) 取引紹介（照会を含む）あっせん**

- ア 国内取引 90件
- イ 国外取引 なし

**(10) 取引紛争のあっせん**

- ア 取引紛争のあっせん なし
- イ 調停 なし
- ウ 仲裁 なし

**(11) 相談・指導・あっせん等**

下請あっせん相談（相談機関・公益財団法人神奈川産業振興センター） 2件

**(12) 会員の増強対策**

会員増強委員会で実施計画・目標数を設定し、役員・議員・会員挙げて会員増強運動を展開した  
年度中増強実績 140件

**(13) 経営改善普及事業（経営支援部）**

ア 巡回指導

業種別	対象 企業数	経営 革新	経営 一般	情報化	創業	金融	税務	労働	取引	環境 対策	その他	計
製造業	77	164	0	3	0	7	0	4	6	3	0	187
建設業	61	79	0	0	0	15	0	3	1	1	0	99
小売業	112	195	0	0	0	22	2	1	4	2	1	227
卸売業	36	71	0	0	0	8	0	1	3	3	1	87
サービス業	302	509	0	0	0	60	4	8	12	2	4	599
その他	14	25	0	0	0	5	0	0	0	0	0	30
計	602	1,043	0	3	0	117	6	17	26	11	6	1,229

イ 窓口指導

業種別	対象 企業数	経営 革新	経営 一般	情報化	創業	金融	税務	労働	取引	環境 対策	その他	計
製造業	79	213	0	0	0	11	1	10	14	13	15	277
建設業	83	131	0	1	0	73	0	10	1	2	2	220
小売業	109	233	0	1	0	40	4	7	6	9	3	303
卸売業	37	74	0	0	0	16	0	2	3	4	1	100
サービス業	381	940	1	3	0	135	7	10	36	9	13	1,154
その他	18	59	0	0	0	15	1	1	4	1	6	87
計	707	1,650	1	5	0	290	13	40	64	38	40	2,141

ウ 講習会の開催による指導

(ア) 集団指導

区分	経営革新	経営一般	情報化	創業	金融	税務	労働	環境対策	取引	その他	計
回数	12	0	1	8	0	3	3	0	0	0	27
人数	160	0	23	241	0	59	70	0	0	0	553

(イ) 個別指導

区分	経営革新	経営一般	情報化	創業	金融	税務	労働	環境対策	取引	その他	計
回数	6	0	0	0	4	0	0	0	0	0	10
人数	24	0	0	0	45	0	0	0	0	0	69

(ウ) 講習会開催状況表（青年部・女性会を除く）

月日	場所	参加人員	講演テーマ	講師		講演内容	種別
				職業	氏名		
4/8	商工会議所	42	新入社員安全衛生セミナー	労働安全 コンサルタント	竹内春樹	安全衛生の基本の習得とグループワーク	労働
4/9	商工会議所	15	新入社員安全衛生セミナー	労働安全 コンサルタント	竹内春樹	安全衛生の基本の習得とグループワーク	労働
5/25	商工会議所	36	起業スクール	税理士 税理士 中小企業診断士 中小企業診断士	猪熊正美 黒石陽子 伊藤裕美子 天満正俊	経営者の心構え、ビジネスコミュニケーション	創業
6/1	商工会議所	36	起業スクール	税理士 税理士 中小企業診断士 中小企業診断士	猪熊正美 黒石陽子 伊藤裕美子 天満正俊	マーケティング	創業
6/15	商工会議所 オンライン	35	起業スクール	税理士 税理士 中小企業診断士 中小企業診断士	猪熊正美 黒石陽子 伊藤裕美子 天満正俊	収支計画書の作成、必要資金の検討	創業
6/29	商工会議所	34	起業スクール	税理士 税理士 中小企業診断士 中小企業診断士 ホームページコンサルタント	猪熊正美 黒石陽子 伊藤裕美子 天満正俊 永友一朗	ビジネス展開	創業
7/12	商工会議所	38	防災セミナー	中小企業診断士	藤田千晴	大地震が発生した際の対応と備え、簡易版BCPの策定について	経営革新

月日	場所	参加 人員	講 演 テ ー マ	講 師		講演内容	種別
				職 業	氏 名		
7/13	商工会議所	34	起業スクール	税 理 士 税 理 士 中小企業診断士 中小企業診断士 ホームページコンサルタント	猪熊正美 黒石陽子 伊藤裕美子 天満正俊 永友一朗	ビジネス展開、個別相談	創業
7/27	商工会議所	32	起業スクール	税 理 士 税 理 士 中小企業診断士 中小企業診断士	猪熊正美 黒石陽子 伊藤裕美子 天満正俊	ビジネスプランの発表会	創業
8/1	商工会議所	11	神奈川県中小企業生産性向上促進事業費補助金講習会	中小企業診断士	高久 広	補助金および事業計画の策定について説明	経営革新
8/20	商工会議所	20	価格転嫁実践セミナー	中小企業診断士	幸田年雄	価格転嫁の実践的な内容や成功事例について教示	経営革新
8/26	商工会議所	18	インボイス・電子帳簿保存法解説セミナー	税 理 士	押田吉真	インボイス制度と電子帳簿保存法について解説	税務
9/4	商工会議所	9	ビジネスリカレントスクール	中小企業診断士	佐々木文安	経営管理	経営革新
9/11	商工会議所	20	財務体質強化のための決算書の見方講習会	税 理 士	黒石陽子	法人事業主向けの決算書の見方の解説	税務
9/18	商工会議所	10	ビジネスリカレントスクール	中小企業診断士	佐々木文安	財務管理	経営革新
10/2	商工会議所	9	ビジネスリカレントスクール	中小企業診断士	佐々木文安	経営戦略	経営革新
10/12	商工会議所	21	起業スクール	税 理 士 中小企業診断士 中小企業診断士	猪熊正美 伊藤裕美子 天満正俊	起業スクール卒業生に対する知識補完	創業
10/16	商工会議所	5	ビジネスリカレントスクール	中小企業診断士	佐々木文安	仕事の基本的なスキル	経営革新
10/28	商工会議所	21	インボイス制度・電子帳簿保存法解説セミナー	税 理 士	押田吉真	インボイス制度導入に向けた対応、各種支援策等	税務
11/6	商工会議所	6	ビジネスリカレントスクール	中小企業診断士	佐々木文安	実行計画書とリーダーシップ	経営革新
11/13	商工会議所	18	経営力を向上させる事業計画と補助金セミナー	中小企業診断士	湯山 隆	生産性向上に向けた各種補助金・支援策の周知等	経営革新

月日	場所	参加 人員	講 演 テ ー マ	講 師		講演内容	種別
				職 業	氏 名		
11/20	商工会議所	8	ビ ジ ネ ス リカレントスクール	中小企業診断士	佐々木文安	経営計画書の発表	経営 革新
11/21	商工会議所	13	パ ワ ー ハ ラ ス メ ン ト 対 策 セ ミ ナ ー	社会保険労務士	濱 本 志 帆	働き方改革関連法などの 労働法制	労働
12/10	商工会議所	23	WEB集客サービス 活用セミナー	中小企業診断士	高 久 広	デジタル対応	情報 化
1/15	商工会議所	18	S N S ・ W E B 集客術セミナー	ホームページコンサルタント	永 友 一 朗	デジタル化に向けた対策 及び各種制度の周知	経営 革新
2/13	商工会議所	7	ビ ジ ネ ス リカレントスクール	中小企業診断士	佐々木文安	アフターフォロー懇談会	経営 革新
2/16	商工会議所	13	創 業 準 備 セ ミ ナ ー	中小企業診断士 中小企業診断士	伊藤裕美子 天満正俊	創業予定者の経営支援	創業

エ 巡回・個別指導

月 日	時 間	参加 人数	内 容	講師・担当等	
				職 業	氏 名
4/12	9:00～ 17:00	9	宮ノ下・仙石原地区他 巡回指導	商工会議所	高 橋 進
4/12	13:00～ 16:00	8	鴨宮・南鴨宮地区等 巡回指導	商工会議所	飯 田 順 彦
4/17	9:00～ 17:00	4	補助金個別相談会	中小企業診断士	有 松 竜 文
4/16	11:00～ 16:00	7	中里地区等巡回指導	商工会議所	樋 口 裕 紀
4/17	13:00～ 17:00	7	栄町3丁目地区等 巡回指導	商工会議所	井 上 経
4/18	13:00～ 17:00	8	湖尻地区等巡回指導	商工会議所	内 田 信 也
4/25	14:00～ 19:00	7	久野地区等巡回指導	商工会議所	小 林 大 悟
4/26	9:00～ 17:00	4	補助金個別相談会	中小企業診断士	天 満 正 俊
5/8	15:00～ 18:00	8	寿町地区等巡回指導	商工会議所	小 林 大 悟
5/8	13:00～ 17:00	7	成田地区等巡回指導	商工会議所	井 上 経
5/10	9:00～ 17:00	4	補助金等個別相談会	中小企業診断士	有 松 竜 文
5/13	9:00～ 17:00	4	補助金等個別相談会	中小企業診断士	古 木 直 人

月 日	時 間	参加 人数	内 容	講師・担当等	
				職 業	氏 名
5 / 17	9:00～ 17:00	4	補助金等個別相談会	中小企業診断士	門 馬 秀 憲
5 / 17	11:00～ 15:00	7	扇町地区巡回指導	商工会議所	樋 口 裕 紀
5 / 20	9:00～ 17:00	4	補助金等個別相談会	中小企業診断士	天 満 正 俊
5 / 24	11:00～ 16:00	8	仙石原地区等巡回指導	商工会議所	内 田 信 也
5 / 30	13:30～ 16:00	7	本町地区等巡回指導	商工会議所	飯 田 順 彦
6 / 3	9:00～ 13:00	7	曾我・鬼柳地区等 巡回指導	商工会議所	小 林 大 悟
6 / 4	10:00～ 16:00	10	公的融資相談会（箱根）	商工会議所 日本政策金融公庫 信用保証協会	
6 / 7	10:00～ 16:00	6	公的融資相談会（小田原）	商工会議所 日本政策金融公庫 信用保証協会 小 田 原 市	
6 / 10	10:00～ 17:00	7	副業人材活用事業 巡回指導	商工会議所	井 上 経
6 / 11	14:00～ 18:00	7	栄町1丁目・その他地区 巡回指導	商工会議所	藤 田 遥
6 / 24	11:00～ 16:00	8	宮ノ下地区等巡回指導	商工会議所	内 田 信 也
6 / 25	13:00～ 16:00	7	城山地区等巡回指導	商工会議所	飯 田 順 彦
6 / 26	9:00～ 17:00	10	湯本・仙石原地区他 巡回指導	商工会議所	高 橋 進
7 / 8	13:30～ 16:00	7	荻窪地区巡回指導	商工会議所	飯 田 順 彦
7 / 11	9:00～ 17:00	9	宮ノ下・宮城野地区他 巡回指導	商工会議所	高 橋 進
7 / 16	10:00～ 16:00	8	永塚地区等巡回指導	商工会議所	小 林 大 悟
7 / 23	13:00～ 17:00	7	栄町3丁目地区等 巡回指導	商工会議所	井 上 経
7 / 23	13:00～ 16:00	7	湖尻地区等巡回指導	商工会議所	内 田 信 也
7 / 25	10:00～ 15:00	7	栄町1丁目・中町地区等 巡回指導	商工会議所	藤 田 遥

月 日	時 間	参加 人数	内 容	講師・担当等	
				職 業	氏 名
7/30	11:00～ 17:00	7	早川・板橋地区等巡回指導	商工会議所	藤田 遥
8/5	10:00～ 16:00	9	曾我・鬼柳・永塚地区等巡回指導	商工会議所	小林 大悟
8/7	10:00～ 17:00	7	栄町2・3丁目地区等巡回指導	商工会議所	井上 経
8/7	9:00～ 17:00	8	強羅・仙石原地区他巡回指導	商工会議所	高橋 進
8/20	13:00～ 16:00	7	宮ノ下地区等巡回指導	商工会議所	内田 信也
8/22	13:00～ 16:00	7	南鴨宮地区巡回指導	商工会議所	飯田 順彦
9/9	13:30～ 16:00	7	上新田地区等巡回指導	商工会議所	飯田 順彦
9/10	15:00～ 19:00	7	寿町地区等巡回指導	商工会議所	小林 大悟
9/24	13:00～ 16:00	7	宮ノ下地区等巡回指導	商工会議所	内田 信也
9/25	9:00～ 17:00	8	仙石原地区他巡回指導	商工会議所	高橋 進
10/1	17:00～ 19:00	7	栄町地区等巡回指導	商工会議所	小林 大悟
10/12	15:00～ 17:35	21	起業スクー ル個別相談会・フ ォロアー ア ッ プ セ ミ ナ ー	税 理 士 税 理 士 中小企業診断士 中小企業診断士	猪熊 正美 黒石 陽子 伊藤 裕美子 天満 正俊
10/16	11:00～ 15:00	7	小八幡地区等巡回指導	商工会議所	樋口 裕紀
10/17	10:00～ 17:00	7	成田・桑原地区等巡回指導	商工会議所	井上 経
10/28	13:00～ 16:30	8	湖尻地区等巡回指導	商工会議所	内田 信也
10/30	9:00～ 17:00	10	仙石原地区他巡回指導	商工会議所	高橋 進
10/31	13:30～ 17:00	7	補助金等申請支援先 巡回指導	商工会議所	飯田 順彦
11/1	10:00～ 14:00	7	久野地区等巡回指導	商工会議所	小林 大悟
11/11	10:00～ 17:00	7	栄町3丁目地区等巡回指導	商工会議所	井上 経
11/13	13:00～ 16:00	10	中町地区等巡回指導	商工会議所	藤田 遥

月 日	時 間	参加人数	内 容	講師・担当等	
				職 業	氏 名
11/14	10:00～ 16:00	17	公的融資相談会（小田原）	商工会議所 日本政策金融公庫 信用保証協会 小田原市	
11/15	10:00～ 16:00	12	公的融資相談会（箱根）	商工会議所 日本政策金融公庫 信用保証協会	
11/20	13:00～ 16:00	7	飯泉地区等巡回指導	商工会議所	飯田順彦
11/22	9:00～ 17:00	9	箱根・元箱根地区他巡回指導	商工会議所	高橋進
11/27	13:00～ 17:00	8	仙石原地区巡回指導	商工会議所	内田信也
12/5	13:00～ 17:00	8	仙石原地区巡回指導	商工会議所	内田信也
12/11	13:00～ 17:00	11	南町・板橋地区巡回指導	商工会議所	藤田遥
12/19	15:00～ 18:00	7	曾我・永塚地区等巡回指導	商工会議所	小林大悟
12/20	9:00～ 17:00	8	畑宿・元箱根地区他巡回指導	商工会議所	高橋進
12/20	10:00～ 17:00	7	栄町3丁目地区等巡回指導	商工会議所	井上経
12/20	15:00～ 17:15	7	南町・その他地区巡回指導	商工会議所	藤田遥
1/14	10:00～ 17:00	7	鬼柳地区等巡回指導	商工会議所	樋口裕紀
1/14	13:30～ 17:30	7	本町地区	商工会議所	小林大悟
1/20	13:00～ 15:00	7	早川地区巡回指導	商工会議所	藤田遥
1/22	11:00～ 16:00	8	本町地区等巡回指導	商工会議所	飯田順彦
1/24	9:00～ 17:00	11	仙石原地区他巡回指導	商工会議所	高橋進
1/29	9:00～ 17:00	7	城山・栄町3丁目地区等巡回指導	商工会議所	井上経
2/3	11:00～ 16:30	11	仙石原地区巡回指導	商工会議所	内田信也
2/4	9:00～ 13:00	7	成田地区等巡回指導	商工会議所	小林大悟
2/6	9:00～ 17:00	7	早川地区等巡回指導	商工会議所	井上経

月 日	時 間	参加 人数	内 容	講師・担当等	
				職 業	氏 名
2/14	13:00～ 16:30	7	箱根地区巡回指導	商工会議所	内田信也
2/14	10:00～ 16:30	7	箱根地区他巡回指導	商工会議所	高橋進
2/20	11:00～ 16:00	7	鴨宮・南鴨宮地区等巡回指導	商工会議所	飯田順彦
2/26	13:00～ 16:00	10	中曽根・堀之内・その他地区 巡回指導	商工会議所	藤田遥
3/5	10:00～ 16:00	7	曾我・千代地区巡回指導	商工会議所	小林大悟
3/11	10:00～ 16:00	7	桑原地区等巡回指導	商工会議所	樋口裕紀
3/18	13:00～ 17:00	7	栄町3丁目地区等巡回指導	商工会議所	井上経
3/18	13:00～ 16:30	7	補助金等申請支援先 巡回指導	商工会議所	飯田順彦
3/18	10:00～ 16:30	8	湯本地区他巡回指導	商工会議所	高橋進
3/28	15:00～ 17:15	7	畑宿地区等巡回指導	商工会議所	内田信也

オ 金融のあっせん

単位：千円

金融機関名	あっせん延件数	貸付決定延件数	あっせん総額	貸付決定総額
日本政策金融公庫	25	20	178,930	123,600
小規模事業者 経営改善資金	82	82	583,900	583,900
神奈川県 <small>の</small> 資金	7	7	44,500	43,000
小田原市 <small>の</small> 資金	0	0	0	0
その他金融機関	0	0	0	0
計	114	109	807,330	750,500

カ 小規模企業専門相談員

(ア) 窓口指導

相 談 件 数									
指導対象企業数	窓口指導（通信、通話等によるものを含む）								
	金融	税務	経理	経営	労働	取引	特許	法律	計
指導件数	0	0	0	0	0	0	15	11	26

(イ) 派遣（巡回）指導

相 談 件 数									
指 導 対 象 企 業 数	派 遣（ 巡 回 ） 指 導								
	金融	税務	経理	経営	労働	取引	特許	法律	計
指 導 件 数	0	0	0	3	0	0	0	0	3

キ 社会保険、共済制度等に関する事務代行

- (ア) 労働保険事務組合 委託事業者数 168事業所 対象従業員数 980名
- (イ) 小規模企業共済制度 対象者数 241名
- (ウ) 特定退職金共済制度 加入事業者数 247事業所 対象従業員数 1,532名
- (エ) 中小企業倒産防止共済制度 加入件数 78件
- (オ) 神奈川県民共済 加入者数 1,633名
- (カ) 情報漏えい賠償責任保険制度 加入件数 12件
- (キ) 休業補償プラン 加入件数 196件
- (ク) 業務災害補償プラン 加入件数 386件
- (ケ) 中小企業海外PL保険制度 加入件数 3件
- (コ) ビジネス総合保険制度 加入件数 368件
- (サ) 生命共済制度 加入事業者数 38事業所 対象従業員数 151名

## 7. 登 録

### (1) 法定台帳

- ア 作 成 年 月 日 令和6年4月1日
- イ 登 録 業 者 数 1,900事業所
- ウ 負担金賦課の許可 令和5年4月7日・神奈川県指令企支第1004号をもって次のとおり負担金の賦課について神奈川県知事より許可を得た。  
負担金 1,500円（1業者）
- エ 管 理 運 用 特定商工業者より登録した法定台帳は、既登録業者分については内容の点検・修正を行い、新規登録業者分については法定台帳調査表の提出を求め随時補正を行い、地区別に収録し利用の便宜を計っている。管理運用に当っては常に善良な管理者の注意をもって対処している。
- オ 利 用 の 周 知 当所会報への利用勧奨記事の掲載、一般広報（情報関係誌）への掲示などにより周知を図っている。

### (2) 任意台帳

当所会員の所在を明らかにし、取引や事業面に利用するため、地区別に事業所名、営業種目等の事項につき台帳の整備を行い活用を図っている。

## 8. 会館・事務所等

### (1) 会館

ア 土地

(ア) 所在地 小田原市本町4丁目2番39号

(イ) 面積 敷地面積 697.38㎡

(ウ) 所有状況 当所所有

イ 建物

(ア) 構造 鉄筋コンクリート地上6階

(イ) 延床面積 2,166.92㎡

(ウ) 事務室 115.64㎡

(エ) 入館団体機関

階層	入居団体名	面積(坪)
3	日本政策金融公庫	94.51
4	神奈川県信用保証協会小田原支店	51.30
4	公益財団法人神奈川産業振興センター	6.08
6	小田原市商店街連合会	10.90
6	アクサ生命保険株式会社	24.50
6	東京地方税理士会小田原支部	10.04

ウ 設備

(ア) 貸室 大会議室 198.28㎡ 収容人数117人

### (2) 旧会館

ア 土地

(ア) 所在地 小田原市城内1番21号

(イ) 面積 敷地面積 992.00㎡

(ウ) 所有状況 小田原市有地の借地

イ 建物

(ア) 構造 鉄筋コンクリート造地下1階・地上5階・塔屋1階

(イ) 延床面積 2,842.28㎡

## 9. 関係団体への加入及び連携

### (1) 日本商工会議所

ア 当所の地位 会員

イ 所属委員会名

観光委員会、中小企業委員会、情報化委員会

ウ 会議・事業等出席状況

月日	会議等の名称	場所	出席者
4/9	観光・インバウンド専門委員会	オンライン	鈴木会頭
5/23~24	第76回全国商工会議所専務理事・事務局長会議	シャトレーゼ ホテル長野	古川事務局長

月 日	会 議 等 の 名 称	場 所	出席者
7/17	夏季政策懇談会	オンライン	鈴木会頭
9/3	3 専門委員会合同勉強会	東 商 カンファレンス ル ー ム	鈴木会頭 山本専務理事
9/19	第139回通常会員総会	帝国ホテル東京	鈴木会頭 山本専務理事
11/1	観光・インバウンド専門委員会	東 京 国 際 フ ォ ー ラ ム	鈴木会頭
1/28~30	全国商工会議所 観光振興大会2025in長崎	出島メッセ長崎	鈴木会頭 山本専務理事
3/19	第140回通常会員総会	帝国ホテル東京	鈴木会頭 山本専務理事

## (2) 関東商工会議所連合会

ア 当所の地位 会員

イ 会議・事業等出席状況

月 日	会 議 等 の 名 称	場 所	出席者
5/30~31	総会・理事会	箱 根 町	鈴木会頭 岩瀬副会頭 山本専務理事
3/6~7	運営研究会	高 崎 市	山本専務理事

## (3) 神奈川県商工会議所連合会

ア 当所の地位 会員

イ 会議・事業等出席状況

月 日	会 議 等 の 名 称	場 所	出席者
4/23~24	4月専務理事会議	箱 根	山本専務理事
5/10	中小企業相談部（所）長会議	横浜商工会議所	井 上 部 長
5/28	5月専務理事会議	オンライン	山本専務理事 古川事務局長
6/17	事務局長会議	横浜商工会議所	古川事務局長
6/24	令和6年度定時総会	ロイヤルホール ヨ コ ハ マ	鈴木会頭 山本専務理事
7/23	7月専務理事会議・政策委員会	横浜商工会議所	山本専務理事
9/13	事務局長会議	三浦商工会議所	古川事務局長
10/22	10月専務理事会議	横浜商工会議所	山本専務理事
11/11	令和6年度臨時総会 会頭会議 県予算要望・意見交換会	県 民 ホ ー ル	鈴木会頭 山本専務理事

月 日	会 議 等 の 名 称	場 所	出席者
11/26	神奈川県優良小売店舗表彰式	神奈川県庁	山本専務理事
11/26	11月専務理事会議	横浜商工会議所	山本専務理事
12/11	中小企業相談部（所）長会議	横浜商工会議所	井上部長
12/19～20	事務局長会議県外視察	高崎市、富岡市	古川事務局長
1/27	1月専務理事会議	ローズホテル 横浜	山本専務理事
2/3	神奈川県優良産業人表彰	横浜情報文化 センター	山本専務理事
2/12	中小企業相談部（所）長会議	横浜商工会議所	井上部長
2/27	中小企業相談部（所）長会議	オンライン	井上部長
3/26	令和6年度臨時総会	ロイヤルホール ヨコハマ	鈴木会頭 山本専務理事

## 10. 研修

### (1) 経営指導員・補助員研修

月 日	研 修 内 容	主 催	出席者
6/21	傾聴と対話 経営デザインシートおよびローカルベンチマーク・お金のブロックパズルを活用した支援方法と事例（ワークを含む） ～元経営指導員から見た小規模事業者を支援するための在り方考え方～	神奈川県 商工会議所連合会	井上
7/3	押さえない！創業支援のポイント研修	神奈川県 商工会議所連合会	井上 小林 東
7/18	2024 中小企業白書・小規模企業白書の概要 事業承継の進め方	オンライン	小林 田中
8/1	経営力再構築伴走支援の進め方	神奈川県 商工会議所連合会	井上 飯田 小林
8/20 ～ 9/13	中小企業支援担当者等研修 基礎研修「税務・財務診断」	中小企業大学校 東京校	藤田
8/28	財務の基本と経営分析の進め方	オンライン	樋口
9/11	中小企業・小規模事業者における価格転嫁対策について	神奈川県 商工会議所連合会	井上 飯田
9/25	経営計画策定支援の進め方	神奈川県 商工会議所連合会	樋口 小林 東
10/17	販路開拓支援の進め方・売り上げアップの最新ノウハウ ～AI時代の経営支援～	神奈川県 商工会議所連合会	飯田 内田 田中

月 日	研 修 内 容	主 催	出席者
11/8	中小企業における文書生成AI活用の進め方 ～選択肢を増やして、支援現場で活用へ～ AIを経営指導に効果的に活用できる手法とその他最新 ITツール	オンライン	飯 田 内 田
11/26	知財のハードルを下げて知財に気づく 中小企業の労務管理支援のポイント3	神 奈 川 県 商工会議所連合会	樋 口
12/9	中小企業支援担当者等研修専門課程 「伴走型支援に役立つ傾聴力と質問力」第1回 (オンライン講座)	中小企業大学校 東 京 校	内 田
12/16	中小企業支援担当者等研修専門課程 「伴走型支援に役立つ傾聴力と質問力」第2回 (オンライン講座)	中小企業大学校 東 京 校	内 田
1/7 ～ 1/10	中小企業支援担当者等研修 専門研修「事業再構築支援の進め方」	中小企業大学校 東 京 校	高 橋
2/5	指導員等視察研修会 第46回工業技術見本市「テクニカルショウヨコハマ2025」	神 奈 川 産 業 振 興 セ ン タ ー	樋 口

## (2) 職員研修等

月 日	研 修 内 容	主 催	出席者
4/10	令和6年度総コンシステム年度更新説明会	(社)全国労働保険 事務組合連合会 神 奈 川 支 部 Z O O M	大 川 門 松 長 田
7/9 ・19	国内向けプレスリリース作成セミナー	日本商工会議所	全職員
8/9 ・10	2024年度全国商工会議所・保険担当者研修会	日本商工会議所	門 松
9/11	健康経営優良法人申請のための直前対策セミナー	アクサ生命保険	松 下
9/20	令和6年度新人・若手研修会	神 奈 川 県 商工会議所連合会	門 松 東
9/30	労働保険事務組合連合会神奈川支部 令和6年度「労働保険未手続事業一掃推進員」研修会	(社)全国労働保険 事務組合連合会 神 奈 川 支 部	大 川
10/8	コンプライアンス研修「個人情報の取り扱いについて」	所 内 研 修	全職員
10/11	(社)全国労働保険事務組合連合会 神奈川支部労働保険事務組合 職員研修会(基礎)	小田原箱根 商工会議所 Z O O M	門 松
10/16 ～18	仕事の基本とビジネスマナー	所 内 研 修	佐々木

月 日	研 修 内 容	主 催	出席者
11/21	パワーハラスメント対策セミナー	小田原箱根商工会議所	古川 松下
10/29 11/25 12/5 ・6	新任職員研修会	日本商工会議所	佐々木 門松
11/8	(社)全国労働保険事務組合連合会 神奈川支部労働保険事務組合 職員研修会(実務)	万国橋 会議センター	長田
12/9 ・10	共済・保険担当者研修	日本商工会議所	門松
1/14	全国労保事務組合連合会神奈川支部 西湘地区協議会 視察研修会	(社)全国労働保険 事務組合連合会 神奈川支部 西湘地区協議会	長田
2/12	全国労保事務組合連合会神奈川支部 労働保険事務組合 代表者・担当者研修会	(社)全国労働保険 事務組合連合会 神奈川支部	長田
2/27	全国労保事務組合連合会神奈川支部 労働保険事務組合 総合コンピューター操作に関する説明会	(社)全国労働保険 事務組合連合会 神奈川支部 Z O O M	大川 門松 長田
3/19	全国労保事務組合連合会神奈川支部 労働保険事務組合 令和7年度年度更新説明会	(社)全国労働保険 事務組合連合会 神奈川支部	長田

## 11. 関係団体

小田原箱根商工会議所内に事務所を有し、事務代行を行っている団体は次の通り。

1. 小田原箱根商工会議所労働保険事務組合
2. 小田原市地場産業振興協議会
3. 箱根町商店連絡協議会
4. 小田原地区産業廃棄物対策協議会
5. 小田原市大型店連絡協議会
6. 西湘異業種研究会
7. 日本珠算連盟小田原支部
8. 西さがみ教育旅行誘致推進協議会
9. 県西地域経済懇話会
10. 相模湾からの経済活性化会議



令和 6 年度

収 支 決 算 書



# 令和6年度収支決算書総括表

(単位=円)

会 計 別	繰越金 (A)	収 入 (B)	支 出 (C)	収支残高 (A+B-C)= (D)	会計間の振替額 (支出は△印) (E)	差引収支 残 高 (D+E) = (F)	備 考
一 般 会 計	15,115,403	239,198,681	210,188,278	44,125,806	△ 28,911,930	15,213,876	収支剰余金 次年度へ繰越
会 館 管 理 特 別 会 計	8,539,872	35,727,724	36,311,837	7,955,759	△ 1,264,384	6,691,375	〃
共 済 事 業 特 別 会 計	4,864,674	27,954,422	28,089,448	4,729,648	△ 1,776,016	2,953,632	〃
特 定 退 職 金 共 済 事 業 特 別 会 計	706,312	281,929,574	281,865,709	770,177	△ 293,046	477,131	〃
運 営 資 金 積 立 金 特 別 会 計	136,954,624	80,625	0	137,035,249	15,000,000	152,035,249	〃
退 職 給 与 資 金 特 別 会 計	19,848,145	78,769	4,245,376	15,681,538	5,245,376	20,926,914	〃
会 館 建 設 資 金 特 別 会 計	229,456,015	23,648	0	229,479,663	12,000,000	241,479,663	〃
<b>合 計</b>	<b>415,485,045</b>	<b>584,993,443</b>	<b>560,700,648</b>	<b>439,777,840</b>	<b>0</b>	<b>439,777,840</b>	

- ・ (A) ……前年度からの繰越金
- ・ (B) ……収支決算書の収入の部の合計から前年度繰越額・他会計からの繰入金を除いた額
- ・ (C) ……収支決算書の支出の部の合計から他会計への繰入金・次年度への繰越金を除いた額
- ・ 差引収支残高と収支剰余金は同額となり次年度へ繰越

令和6年度 一般会計収支決算書

収入の部

(単位=円 以下同じ)

勘定科目	決算額	予算額	比較増減(△)	備考
款 項 目				
<b>1 会 費</b>	<b>76,606,000</b>	<b>76,828,000</b>	<b>△ 222,000</b>	
1 会 費	73,406,000	73,568,000	△ 162,000	
2 特別会費	3,200,000	3,260,000	△ 60,000	役員特別会費
<b>2 負担金</b>	<b>2,889,000</b>	<b>2,879,000</b>	<b>10,000</b>	
1 負担金	2,889,000	2,879,000	10,000	特定商工業者負担金
<b>3 事業収入</b>	<b>66,413,199</b>	<b>45,778,000</b>	<b>20,635,199</b>	
1 検定事業収入	1,585,084	1,800,000	△ 214,916	珠算・簿記・PC検定
2 部会事業収入	3,695,933	0	3,695,933	6部会事業収入
3 使用料手数料	521,435	700,000	△ 178,565	事務機器使用料他
4 受講料収入	14,535,700	12,500,000	2,035,700	パソコン教室受講料
5 青年部収入	32,043,138	16,778,000	15,265,138	
6 その他の事業収入	14,031,909	14,000,000	31,909	従業員健康診断、会報広告料、事業参加費他
<b>4 交付金</b>	<b>92,364,051</b>	<b>92,985,000</b>	<b>△ 620,949</b>	
1 県補助金	57,801,000	57,801,000	0	神奈川県
2 市補助金	15,970,000	15,970,000	0	小田原市
3 町補助金	1,741,000	1,741,000	0	箱根町
4 県連補助金	6,034,500	6,500,000	△ 465,500	神奈川県商工会議所連合会
5 委託金	9,299,673	9,830,000	△ 530,327	日本商工会議所、事業環境変化、制度改正
6 負担金	661,723	290,000	371,723	流動客調査負担金、ジオパーク協議会
7 その他補助金	856,155	853,000	3,155	省エネお助け事業
<b>5 雑収入</b>	<b>926,431</b>	<b>650,000</b>	<b>276,431</b>	
1 雑収入	926,431	650,000	276,431	原産地証明書発行手数料他
<b>6 繰越金</b>	<b>15,115,403</b>	<b>12,323,000</b>	<b>2,792,403</b>	
1 繰越金	15,115,403	12,323,000	2,792,403	令和5年度より
<b>合 計</b>	<b>254,314,084</b>	<b>231,443,000</b>	<b>22,871,084</b>	

支出の部

勘定科目	決算額	予算額	比較増減(△)	備考
款項目				
<b>1 事業費</b>	<b>178,407,442</b>	<b>159,414,000</b>	<b>18,993,442</b>	
1 一般事業費	102,719,563	89,389,000	13,330,563	
1 商工振興費	35,565,060	35,881,000	△ 315,940	会員大会、会員表彰式、産業まつり、まちづくり、地域振興対策他
2 調査広報費	7,954,205	7,000,000	954,205	会報発行他
3 検定事業費	546,377	750,000	△ 203,623	珠算・簿記検定
4 部会事業費	8,158,205	6,080,000	2,078,205	6部会事業費
5 議員活動費	2,296,727	3,400,000	△ 1,103,273	議員総会、議員例会、石垣購読料他
6 会員福祉振興事業費	5,860,081	7,500,000	△ 1,639,919	従業員健康診断
7 パソコン教室運営費	13,948,615	12,000,000	1,948,615	パソコン教室運営費
8 青年部事業費	28,390,293	16,778,000	11,612,293	
2 法定台帳作成費 管理運用費	4,033,774	4,550,000	△ 516,226	
1 管理運用費	371,647	800,000	△ 428,353	管理費、印刷費、通信費、 車輛1台維持費他
2 俸給	2,880,000	2,880,000	0	契約職員1名
3 諸手当	280,000	330,000	△ 50,000	通勤費他
4 福利厚生費	502,127	540,000	△ 37,873	法定・一般福利厚生費
3 経営支援事業費	70,668,386	63,975,000	6,693,386	
1 指導事業費	9,309,347	11,476,000	△ 2,166,653	景気対策、講習会、金融指導、 創業相談、専門家相談他
2 俸給	30,023,391	25,318,000	4,705,391	職員11名
3 諸手当	9,990,426	8,163,000	1,827,426	調整・通勤費他
4 賞与	12,945,268	11,522,000	1,423,268	年2回
5 福利厚生費	8,399,954	7,496,000	903,954	法定・一般福利厚生費
4 会議費	985,719	1,500,000	△ 514,281	正副会頭会議、常議員会、委員会、 タスクフォース他
<b>2 管理費</b>	<b>29,157,260</b>	<b>40,791,000</b>	<b>△ 11,633,740</b>	
1 給与	12,579,875	23,498,000	△ 10,918,125	
1 俸給	10,452,356	17,439,000	△ 6,986,644	役員1名、職員1名、パート2名
2 諸手当	1,068,485	2,911,000	△ 1,842,515	調整・通勤費他
3 賞与	1,059,034	3,148,000	△ 2,088,966	年2回
2 福利厚生費	1,469,490	1,623,000	△ 153,510	法定・一般福利厚生費

勘定科目		決算額	予算額	比較増減(△)	備考
款項目					
3	旅費交通費	490,800	500,000	△ 9,200	役職員出張旅費
4	事務費	8,780,175	9,420,000	△ 639,825	
	1 通信運搬費	913,245	1,400,000	△ 486,755	電話、FAX、郵送料他
	2 什器備品費	85,250	300,000	△ 214,750	業務用シュレッダー
	3 修繕費	0	300,000	△ 300,000	
	4 消耗品費	1,143,423	750,000	393,423	事務消耗品代
	5 印刷費	1,181,085	1,500,000	△ 318,915	印刷費
	6 車輛維持費	238,510	400,000	△ 161,490	維持費、保険料他
	7 電算機事務費	1,991,059	2,000,000	△ 8,941	処理料、保守料他
	8 賃借料	86,824	200,000	△ 113,176	パソコン他リース料
	9 委託料	1,214,504	1,260,000	△ 45,496	副業人財活用事業
	10 事務諸費	1,926,275	1,310,000	616,275	支払手数料他
5	渉外費	1,333,970	1,300,000	33,970	
	1 一般渉外費	665,050	700,000	△ 34,950	慶弔費他
	2 役員渉外費	668,920	600,000	68,920	役員・議員慶弔費他
6	公課分担金	4,502,950	4,450,000	52,950	
	1 公課	791,950	650,000	141,950	消費税他
	2 分担金	3,711,000	3,800,000	△ 89,000	日商、県連、関商連他
3	繰出金	28,911,930	29,038,000	△ 126,070	
	1 運営資金会計繰出金	26,000,000	26,000,000	0	
	2 退職給与会計繰出金	2,911,930	3,038,000	△ 126,070	
4	リース債務返済支出	2,623,576	2,200,000	423,576	
	1 リース債務返済支出	2,623,576	2,200,000	423,576	印刷機、パソコン他リース料
5	繰越金	15,213,876	0	15,213,876	
	1 繰越金	15,213,876	0	15,213,876	令和7年度へ
合計		254,314,084	231,443,000	22,871,084	

# 令和6年度 会館管理特別会計収支決算書

## 収入の部

(単位＝円 以下同じ)

勘定科目	決算額	予算額	比較増減(△)	備考
款項目				
<b>1 貸室収入</b>	<b>30,385,275</b>	<b>29,114,000</b>	<b>1,271,275</b>	
1 貸室使用料	24,154,044	24,154,000	44	入居6団体
2 会議室使用料	996,440	1,000,000	△ 3,560	会議室使用料
3 その他付帯収入	5,234,791	3,960,000	1,274,791	入居団体より電気使用料、 携帯基地局設置料
<b>2 共益費収入</b>	<b>4,941,696</b>	<b>4,941,000</b>	<b>696</b>	
1 共益費収入	4,941,696	4,941,000	696	入居団体より
<b>3 雑収入</b>	<b>400,753</b>	<b>323,000</b>	<b>77,753</b>	
1 雑収入	400,753	323,000	77,753	自販機手数料、駐車場管理費他
<b>4 繰越金</b>	<b>8,539,872</b>	<b>7,726,480</b>	<b>813,392</b>	
1 繰越金	8,539,872	7,726,480	813,392	令和5年度より
<b>合計</b>	<b>44,267,596</b>	<b>42,104,480</b>	<b>2,163,116</b>	

## 支出の部

勘定科目	決算額	予算額	比較増減(△)	備考
款項目				
<b>1 維持費</b>	<b>16,177,721</b>	<b>15,969,000</b>	<b>208,721</b>	
1 保守料	2,422,750	3,175,000	△ 752,250	会館整備保守
2 委託費	642,032	634,000	8,032	警備委託料
3 保険料	362,220	500,000	△ 137,780	火災共済、施設賠償責任保険
4 水道光熱費	5,833,019	4,200,000	1,633,019	電気、水道
5 清掃料	5,557,200	5,680,000	△ 122,800	貸室・会議室等清掃他
6 修繕費	280,500	700,000	△ 419,500	3階防犯カメラ、5階天井雨漏り補修
7 使用料	1,080,000	1,080,000	0	来館者用駐車場使用料

勘定科目	決算額	予算額	比較増減(△)	備考
款項目				
<b>2 管理費</b>	<b>15,886,432</b>	<b>15,366,000</b>	<b>520,432</b>	
1 給与	5,428,758	4,365,000	1,063,758	職員1名、パート2名
2 諸手当	1,400,357	976,000	424,357	調整・通勤費他
3 賞与	1,448,786	1,366,000	82,786	年2回
4 福利厚生費	1,346,700	989,000	357,700	法定・一般福利厚生費
5 通信運搬費	222,385	300,000	△ 77,615	電話料、郵送料、貸室Wi-Fi回線料
6 什器備品費	236,500	500,000	△ 263,500	
7 消耗品費	124,393	500,000	△ 375,607	貸室用備品、トイレ用品他
8 公課分担金	5,505,100	5,670,000	△ 164,900	消費税、法人税、固定資産税
9 事務諸費	173,453	700,000	△ 526,547	振込手数料他
<b>3 繰出金</b>	<b>1,264,384</b>	<b>1,249,000</b>	<b>15,384</b>	
1 運営資金会計繰出金	1,000,000	1,000,000	0	
2 退職給与会計繰出金	264,384	249,000	15,384	
<b>4 リース債務返済支出</b>	<b>247,684</b>	<b>240,000</b>	<b>7,684</b>	
1 リース債務返済支出	247,684	240,000	7,684	パソコン他リース料
<b>5 積立預金支出</b>	<b>4,000,000</b>	<b>4,000,000</b>	<b>0</b>	
1 積立預金支出	4,000,000	4,000,000	0	修繕積立金
<b>6 繰越金</b>	<b>6,691,375</b>	<b>5,280,480</b>	<b>1,410,895</b>	
1 繰越金	6,691,375	5,280,480	1,410,895	令和7年度へ
<b>合計</b>	<b>44,267,596</b>	<b>42,104,480</b>	<b>2,163,116</b>	

# 令和6年度 共済事業特別会計収支決算書

収入の部

(単位＝円 以下同じ)

勘 定 科 目	決 算 額	予 算 額	比 較 増 減(△)	備 考
款 項 目				
<b>1 取扱手数料</b>	<b>25,617,507</b>	<b>24,725,000</b>	<b>892,507</b>	
1 県連生命共済	1,014,492	1,275,000	△ 260,508	
1 制度運営費収入	957,036	1,200,000	△ 242,964	38事業所151人
2 取扱手数料	57,456	75,000	△ 17,544	
2 県民共済	1,802,479	2,050,000	△ 247,521	1,633件
3 経営者共済	557,960	600,000	△ 42,040	福祉共済協同組合
4 企業・個人保険	5,875,797	5,800,000	75,797	アクサ生命保険
5 日商保険制度	10,099,522	9,000,000	1,099,522	業務災害補償、ビジネス総合保険他
6 火災共済	696,889	750,000	△ 53,111	181件
7 労働保険手数料	3,084,950	2,850,000	234,950	168事業所
8 その他手数料	2,485,418	2,400,000	85,418	容器包装リサイクル、県民共済雑取他
<b>2 交付金</b>	<b>2,287,100</b>	<b>2,100,000</b>	<b>187,100</b>	
1 報奨金	2,287,100	2,100,000	187,100	労働保険事務組合
<b>3 雑収入</b>	<b>49,815</b>	<b>10,000</b>	<b>39,815</b>	
1 雑収入	49,815	10,000	39,815	預金利息他
<b>4 繰越金</b>	<b>4,864,674</b>	<b>3,589,000</b>	<b>1,275,674</b>	
1 繰越金	4,864,674	3,589,000	1,275,674	令和5年度より
<b>合 計</b>	<b>32,819,096</b>	<b>30,424,000</b>	<b>2,395,096</b>	

支出の部

勘定科目	決算額	予算額	比較増減(△)	備考
款 項 目				
<b>1 事業費</b>	<b>802,738</b>	<b>1,500,000</b>	<b>△ 697,262</b>	
1 事業推進費	216,407	800,000	△ 583,593	広報費用他
2 労働保険事業推進費	586,331	600,000	△ 13,669	電算処理料、郵送料他
3 見舞金等給付金	0	100,000	△ 100,000	
<b>2 管理費</b>	<b>26,792,108</b>	<b>26,871,000</b>	<b>△ 78,892</b>	
1 給 与	13,203,400	12,493,000	710,400	
1 俸 給	11,403,400	10,693,000	710,400	職員3名、嘱託1名、パート1名
2 労働保険俸給	1,800,000	1,800,000	0	労働保険事務人件費
2 諸 手 当	2,917,416	3,005,000	△ 87,584	調整・通勤費他
3 賞 与	4,168,948	4,115,000	53,948	年2回
4 福利厚生費	3,382,425	3,413,000	△ 30,575	法定・一般福利厚生費
5 旅費交通費	30,266	50,000	△ 19,734	会議旅費
6 通信運搬費	134,191	250,000	△ 115,809	電話料、郵送料
7 印刷費	80,000	120,000	△ 40,000	コピー代
8 消耗品費	3,438	10,000	△ 6,562	事務消耗品代、什器
9 会議費	27,500	50,000	△ 22,500	
10 車 輛 維 持 費	432,987	400,000	32,987	1台、保険料、燃料費
11 公課分担金	2,155,800	2,500,000	△ 344,200	消費税、法人税
12 事務諸費	255,737	465,000	△ 209,263	振込手数料、掛金回収手数料他
<b>3 繰 出 金</b>	<b>1,776,016</b>	<b>1,766,000</b>	<b>10,016</b>	
1 運営資金会計繰出金	1,000,000	1,000,000	0	
2 退職給与会計繰出金	776,016	766,000	10,016	
<b>4 リース債務返済支出</b>	<b>494,602</b>	<b>287,000</b>	<b>207,602</b>	
1 リース債務返済支出	494,602	287,000	207,602	パソコン他リース料
<b>5 繰 越 金</b>	<b>2,953,632</b>	<b>0</b>	<b>2,953,632</b>	
1 繰 越 金	2,953,632	0	2,953,632	令和7年度へ
<b>合 計</b>	<b>32,819,096</b>	<b>30,424,000</b>	<b>2,395,096</b>	

# 令和6年度 特定退職金共済事業特別会計収支決算書

収入の部

(単位＝円 以下同じ)

勘 定 科 目	決 算 額	予 算 額	比較増減(△)	備 考
款 項 目				
1 共済事業掛金収入	138,078,200	152,200,000	△ 14,121,800	
1 掛 金	138,078,200	152,200,000	△ 14,121,800	247事業所11,382口
2 共 済 事 業 事 務 費 収 入	6,931,990	7,610,000	△ 678,010	
1 事 務 費 収 入	6,931,990	7,610,000	△ 678,010	
3 企業年金契約 給 付 金 受 入	136,918,293	140,000,000	△ 3,081,707	
1 給 付 金 受 入	136,918,293	140,000,000	△ 3,081,707	
4 雑 収 入	1,091	1,000	91	
1 雑 収 入	1,091	1,000	91	預金利息他
5 繰 越 金	706,312	1,989,000	△ 1,282,688	
1 繰 越 金	706,312	1,989,000	△ 1,282,688	令和5年度より
合 計	282,635,886	301,800,000	△ 19,164,114	

支出の部

勘定科目	決算額	予算額	比較増減(△)	備考
款項目				
1 事業費	100,059	250,000	△ 149,941	
1 事業推進費	100,059	250,000	△ 149,941	広報費用他
2 共済事業給付金	136,918,293	140,000,000	△ 3,081,707	
1 退職金	136,918,293	140,000,000	△ 3,081,707	
3 管理費	6,769,157	9,150,000	△ 2,380,843	
1 給与	3,424,800	4,596,000	△ 1,171,200	職員1名、パート1名
2 諸手当	859,129	1,015,000	△ 155,871	調整・通勤費他
3 賞与	1,074,696	1,086,000	△ 11,304	年1回
4 福利厚生費	828,251	1,098,000	△ 269,749	法定・一般福利厚生費
5 通信運搬費	63,214	100,000	△ 36,786	郵送料
6 消耗品費	4,026	50,000	△ 45,974	封筒代
7 印刷費	91,995	30,000	61,995	コピー代
8 公課分担金	2,500	30,000	△ 27,500	消費税
9 事務諸費	420,546	1,145,000	△ 724,454	振込手数料、掛金回収手数料他
4 積立金	138,078,200	152,200,000	△ 14,121,800	
1 保険料積立金	138,078,200	152,200,000	△ 14,121,800	
5 繰出金	293,046	200,000	93,046	
1 退職給与会計繰出金	293,046	200,000	93,046	
6 繰越金	477,131	0	477,131	
1 繰越金	477,131	0	477,131	令和7年度へ
合計	282,635,886	301,800,000	△ 19,164,114	

## 令和6年度 運営資金積立金特別会計収支決算書

収入の部

(単位＝円 以下同じ)

勘定科目	決算額	予算額	比較増減(△)	備考
款項目				
1 雑収入	80,625	3,000	77,625	
1 雑収入	80,625	3,000	77,625	預金利息
2 繰入金	28,000,000	28,000,000	0	
1 一般会計繰入金	26,000,000	26,000,000	0	
2 会館管理会計繰入金	1,000,000	1,000,000	0	
3 共済事業会計繰入金	1,000,000	1,000,000	0	
3 繰越金	136,954,624	121,950,000	15,004,624	
1 繰越金	136,954,624	121,950,000	15,004,624	令和5年度より
合計	165,035,249	149,953,000	15,082,249	

支出の部

勘定科目	決算額	予算額	比較増減(△)	備考
款項目				
1 繰出金	13,000,000	13,000,000	0	
1 退職給与会計繰出金	1,000,000	1,000,000	0	
2 会館建設会計繰出金	12,000,000	12,000,000	0	
2 予備費	0	136,953,000	△ 136,953,000	
1 予備費	0	136,953,000	△ 136,953,000	
3 繰越金	152,035,249	0	152,035,249	
1 繰越金	152,035,249	0	152,035,249	令和7年度へ
合計	165,035,249	149,953,000	15,082,249	

## 令和6年度 退職給与資金特別会計収支決算書

収入の部

(単位＝円 以下同じ)

勘定科目	決算額	予算額	比較増減(△)	備考
款 項 目				
<b>1 退職共済金収入</b>	66,504	0	66,504	
1 退職共済金収入	66,504	0	66,504	全国商工会議所共済会
<b>2 雑収入</b>	12,265	1,000	11,265	
1 雑収入	12,265	1,000	11,265	預金利息
<b>3 繰入金</b>	5,245,376	5,253,000	△ 7,624	
1 一般会計繰入金	2,911,930	3,038,000	△ 126,070	
2 会館管理会計繰入金	264,384	249,000	15,384	
3 共済事業会計繰入金	776,016	766,000	10,016	
4 特定退職金共済事業会計繰入金	293,046	200,000	93,046	
5 運営資金会計繰入金	1,000,000	1,000,000	0	
<b>4 繰越金</b>	19,848,145	14,706,000	5,142,145	
1 繰越金	19,848,145	14,706,000	5,142,145	令和5年度より
<b>合 計</b>	<b>25,172,290</b>	<b>19,960,000</b>	<b>5,212,290</b>	

支出の部

勘定科目	決算額	予算額	比較増減(△)	備考
款 項 目				
<b>1 退職共済掛金</b>	4,245,376	4,253,000	△ 7,624	
1 退職共済掛金	4,245,376	4,253,000	△ 7,624	全国商工会議所共済会
<b>2 予備費</b>	0	15,707,000	△ 15,707,000	
1 予備費	0	15,707,000	△ 15,707,000	
<b>3 繰越金</b>	20,926,914	0	20,926,914	
1 繰越金	20,926,914	0	20,926,914	令和7年度へ
<b>合 計</b>	<b>25,172,290</b>	<b>19,960,000</b>	<b>5,212,290</b>	

## 令和6年度 会館建設資金特別会計収支決算書

収入の部

(単位＝円 以下同じ)

勘定科目	決算額	予算額	比較増減(△)	備考
款項目				
1 雑収入	23,648	5,000	18,648	
1 雑収入	23,648	5,000	18,648	預金利息
2 繰入金	12,000,000	12,000,000	0	
1 運営資金会計繰入金	12,000,000	12,000,000	0	
3 繰越金	229,456,015	219,451,000	10,005,015	
1 繰越金	229,456,015	219,451,000	10,005,015	令和5年度より
合計	241,479,663	231,456,000	10,023,663	

支出の部

勘定科目	決算額	予算額	比較増減(△)	備考
款項目				
1 繰越金	241,479,663	231,456,000	10,023,663	
1 繰越金	241,479,663	231,456,000	10,023,663	令和7年度へ
合計	241,479,663	231,456,000	10,023,663	

## 貸借対照表

令和7年3月31日現在

借 方		貸 方	
科目	金額	科目	金額
<b>〔資産の部〕</b>	円	<b>〔負債の部〕</b>	円
<b>流動資産</b>	<b>520,712,306</b>	<b>流動負債</b>	<b>80,934,466</b>
現金及び預金	440,645,189	未払金	68,839,791
未収金	79,359,051	前受金	11,966,176
前払金	708,066	預り金	128,499
<b>固定資産</b>	<b>2,367,652,693</b>	<b>固定負債</b>	<b>1,867,427,917</b>
(有形固定資産)	484,734,364	預り保証金	5,280,480
土地	144,399,494	退職給与引当金	54,092,472
建物	245,770,248	退職給付金準備金	1,803,671,795
建物付属設備	74,491,271	リース債務	4,383,170
構築物	2,537,519	<b>負債計</b>	<b>1,948,362,383</b>
車両運搬具	1,625,370		
什器備品	11,527,292	<b>〔正味財産の部〕</b>	
リース資産	4,383,170	<b>積立金</b>	<b>20,000,000</b>
(無形固定資産)	1,727,500	修繕費積立金	20,000,000
ソフトウェア	1,727,500	<b>剰余金</b>	<b>920,002,616</b>
(その他の固定資産)	1,881,190,829	固定財産	480,224,776
投資有価証券・出資金	3,376,562	一般会計収支剰余金	15,213,876
保証金	50,000	会館管理特別会計収支剰余金	6,691,375
退職給与資金特別会計資産	54,092,472	共済事業特別会計収支剰余金	2,953,632
保険料積立金	1,803,671,795	特定退職金共済特別会計収支剰余金	477,131
会館管理特別会計修繕費積立預金	20,000,000	運営資金積立金特別会計収支剰余金	152,035,249
		退職給与資金特別会計収支剰余金	20,926,914
		会館建設資金特別会計収支剰余金	241,479,663
		<b>正味財産計</b>	<b>940,002,616</b>
<b>合 計</b>	<b>2,888,364,999</b>	<b>合 計</b>	<b>2,888,364,999</b>

[注1] 固定資産の減価償却累計額 358,081,434円

[注2] 一般会計収支剰余金のうち青年部の額 3,652,845円

特定退職金共済事業特別会計 貸借対照表

令和7年3月31日現在

借 方		貸 方	
科目	金額	科目	金額
	円		円
<b>流 動 資 産</b>	<b>18,778,263</b>	<b>流 動 負 債</b>	<b>18,301,132</b>
現金及び預金	451,299	未払金	6,767,532
未収金	18,326,964	前受金	11,533,600
<b>固 定 資 産</b>	<b>1,803,671,795</b>	<b>固 定 負 債</b>	<b>1,803,671,795</b>
保険料積立金	1,803,671,795	退職給付金準備金	1,803,671,795
		<b>剰 余 金</b>	<b>477,131</b>
		本年度剰余金	477,131
<b>合 計</b>	<b>1,822,450,058</b>	<b>合 計</b>	<b>1,822,450,058</b>

〔注〕 保険年度(令和6年1月1日～令和6年12月31日)における保険料積立金等の状況

1. 保険年度 期首残高	1,840,710,552
2. 本年度払込	134,133,160 (共済掛金収入相当額)
3. 本年度取崩	△ 140,131,154 (共済給付金支払相当額)
4. 運用実績	10,464,267
5. 保険年度 期末残高	1,845,176,825
6. 保険年度 期末要支給残高	1,800,710,733
7. 差 引(5-6)	44,466,092

付属明細表(固定財産明細表)

令和7年3月31日現在

勘定科目	期首残高 (A)	当期増加額 (B)	当期減少額 (C)	当期減価 償却額 (D)	期末残高 (A+B-C-D)	備 考
<b>一般会計</b>						
<b>I 固定資産</b>						
車 両 運 搬 具	1,559,340			519,259	1,040,081	
什 器 備 品	139,701			30,174	109,527	
リ ー ス 資 産	2,916,167	2,936,496	556,490	2,067,086	3,229,087	
ソ フ ト ウ ェ ア	3,591,500			1,914,000	1,677,500	
投資有価証券・出資金	3,376,562				3,376,562	
保 証 金	50,000				50,000	
<b>II 固定負債</b>						
リ ー ス 債 務	2,916,167	2,936,496	556,490	2,067,086	3,229,087	
固定財産計(① = I - II)	8,717,103	0	0	2,463,433	6,253,670	
<b>会館管理特別会計</b>						
<b>I 固定資産</b>						
土 地	144,399,494				144,399,494	
建 物	253,153,639			7,383,391	245,770,248	
建 物 付 属 設 備	83,164,879			8,673,608	74,491,271	
構 築 物	2,972,520			435,001	2,537,519	
什 器 備 品	16,191,270	236,500		5,086,958	11,340,812	
リ ー ス 資 産	609,313		90,352	157,332	361,629	
ソ フ ト ウ ェ ア	110,000			60,000	50,000	
<b>II 固定負債</b>						
預 り 保 証 金	5,280,480				5,280,480	
リ ー ス 債 務	609,313	0	90,352	157,332	361,629	
固定財産計(② = I - II)	494,711,322	236,500	0	21,638,958	473,308,864	
<b>共済事業特別会計</b>						
<b>I 固定資産</b>						
車 両 運 搬 具	1,170,576			585,287	585,289	
什 器 備 品	121,636			44,683	76,953	
リ ー ス 資 産	406,112	880,944	180,688	313,914	792,454	
<b>II 固定負債</b>						
リ ー ス 債 務	406,112	880,944	180,688	313,914	792,454	
固定財産計(③ = I - II)	1,292,212	0	0	629,970	662,242	
<b>特定退職金共済事業特別会計</b>						
<b>I 固定資産</b>						
保 険 料 積 立 金	1,806,729,122	133,860,966	136,918,293		1,803,671,795	
<b>II 固定負債</b>						
退 職 給 付 金 準 備 金	1,806,729,122	133,860,966	136,918,293		1,803,671,795	
固定財産計(④ = I - II)	0	0	0	0	0	
<b>退職給与資金特別会計</b>						
<b>I 固定資産</b>						
退 職 給 与 積 立 金	49,809,568	4,282,904			54,092,472	
<b>II 固定負債</b>						
退 職 給 与 引 当 金	49,809,568	4,282,904			54,092,472	
固定財産計(⑤ = I - II)	0	0	0	0	0	
合 計 ( ① ~ ⑤ )	504,720,637	236,500	0	24,732,361	480,224,776	

付 属 明 細 表 ( 積 立 金 明 細 表 )

令和7年3月31日現在

勘定科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	備 考
			目的使用	その他		
<b>会館管理特別会計</b>						
修繕費積立預金	16,000,000	4,000,000	0	0	20,000,000	
合 計	16,000,000	4,000,000	0	0	20,000,000	

1. 重要な会計方針

- ①資金の範囲  
流動資産及び流動負債を資金の範囲としています。
- ②有価証券の評価基準および評価方法  
満期保有目的の債権・・・移動平均法による原価法を採用しております。  
その他の有価証券  
時価のないもの・・・移動平均法による原価法を採用しております。
- ③有形固定資産の減価償却の方法  
定率法によっております。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備・構築物については定額法によっております。
- ④リース資産の処理方法  
リース期間定額法によって減価償却を行っております。ただし、平成28年3月31日以前に契約したリース契約については、賃貸借取引に係る方法を採用しております。
- ⑤退職給与引当金の計上基準  
職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき、当該年度末において発生していると認められる額を計上しております。なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算しております。
- ⑥消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

## 財 産 目 録

令和7年3月31日現在

勘定科目	摘要	金額	金額
		円	円
<b>[資産の部]</b>			
<b>流動資産</b>			
現金及び預金	現金手許有高	67,906	
	当座預金	17,392,546	
	普通預金	190,899,806	
	定期預金	232,284,931	440,645,189
未収金	小田原市補助金他		79,359,051
前払金	ICカード保証料他		708,066
<b>固定資産</b>			
<b>(有形固定資産)</b>			
土地建物	697.38㎡(小田原市本町4-2-39) 取得価額	243,989,363	144,399,494
	償却累計額	△ 25,415,553	218,573,810
建物	取得価額	113,675,985	
	償却累計額	△ 86,479,547	27,196,438
建物付属設備	取得価額	234,659,535	
	償却累計額	△ 160,168,264	74,491,271
構築物	取得価額	4,350,022	
	償却累計額	△ 1,812,503	2,537,519
車両運搬具	乗用車4台 取得価額	5,918,859	
	償却累計額	△ 4,293,489	1,625,370
什器備品	事務機器、空調設備他 取得価額	67,598,616	
	償却累計額	△ 56,071,324	11,527,292
リース資産	コピー機、パソコン他 取得価額	20,081,424	
	償却累計額	△ 15,698,254	4,383,170
<b>(無形固定資産)</b>			
ソフトウェア	グループウェア他 取得価額	9,870,000	
	償却累計額	△ 8,142,500	1,727,500
<b>(その他の固定資産)</b>			
投資有価証券・出資金	アクサ保険ホールディングス(株) 株式	48,562	
	サンネット(株) 株式	1,228,000	
	FM小田原(株) 株式	2,000,000	
	神奈川県福祉共済協同組合 出資金	100,000	3,376,562
保証金	箱根支部借室保証金		50,000
退職給与積立金	全国商工会議所役職員退職年金共済		54,092,472
保険料積立金			1,803,671,795
会館管理特別会計修繕費積立預金			20,000,000
<b>資産の部合計</b>			<b>2,888,364,999</b>
<b>[負債の部]</b>			
<b>流動負債</b>			
未払金	消費税他		68,839,791
前受金	特定退職金共済掛金他		11,966,176
預り金	労働保険料		128,499
<b>固定負債</b>			
預り保証金	貸室保証金		5,280,480
退職給与引当金			54,092,472
退職給付金準備金			1,803,671,795
リース債務	コピー機、パソコン他		4,383,170
<b>負債の部合計</b>			<b>1,948,362,383</b>
<b>差引正味財産</b>			<b>940,002,616</b>

# 監 査 依 頼 書

令和6年度小田原箱根商工会議所事業報告書並びに一般会計、特別会計、貸借対照表及び財産目録について監査願いたく、関係書類を添えて提出いたします。

令和7年6月3日

小田原箱根商工会議所

監事 大田和俊彦 殿

監事 高田 喜好 殿

小田原箱根商工会議所

会 頭 鈴木 悌 介

# 監 査 報 告 書

令和6年度小田原箱根商工会議所事業報告書並びに一般会計、特別会計、貸借対照表及び財産目録を監査したところ、その内容は適正であると認めます。

令和7年6月3日

小田原箱根商工会議所

会 頭 鈴 木 悌 介 殿

小田原箱根商工会議所

監 事 大 田 和 俊 彦



監 事 高 田 喜 好





